

町田市
就労に関する実態調査
報告書

2023年3月

町田市地域福祉部障がい福祉課

町田市障がい者施策推進協議会 就労・生活支援部会

目次

第1章 調査の概要	3
1. 調査実施の目的	4
2. 調査の種類	4
3. 調査方法と回収状況	4
4. 調査対象の詳細	5
5. 調査項目	6
6. 調査結果の特徴的事項	6
7. 調査結果を見る上での注意事項	8
8. 用語の説明	9
第2章 町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査	10
1. 回収方法	11
2. 基本属性について	12
3. 就労支援について	14
4. 仕事・就職のことについて	23
5. 生活のことについて	41
6. センターへの意見	47
第3章 障がい者雇用に関する企業調査	55
1. 基本属性について	56
2. 障がい者雇用の有無について	61
3. 障がい者雇用をしている企業について	69
4. 障がい者雇用をしていない企業について	105
5. 採用活動について	109
6. 障がい者雇用についての意見	115
第4章 調査票	116
1. 町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査	117
2. 障がい者雇用に関する企業調査	125

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

町田市の障がい者施策に係る計画「町田市障がい者プラン21-26」における就労支援施策として、障がいがある人の一般就労と職場定着のために必要とされていることを把握するため、就労支援を利用している障がいがある人および市内企業※に対して調査を実施した。

※本書における「企業」とは、法人格をもつ事業者で、町田市役所も含む。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査	2022年4月1日現在、障がい者就労・生活支援センター等（町田市障がい者就労・生活支援センターりんく、町田市障がい者就労・生活支援センターLet's、就労支援センターらいむ）に登録がある市内在住者
2. 障がい者雇用に関する企業調査 ※1 ハローワーク町田との共同実施	2021年6月1日時点※2 で、市内に本社を有する、労働者数100名以上の企業

※1 企業情報の把握、回答率の向上、企業対応の円滑化のため、共同実施とした。

※2 東京労働局へ提出する障害者雇用状況報告の算定時点。

3. 調査方法と回収状況

調査方法：1. 町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査

郵送配布ー郵送回収、オンライン回答を併用

2. 障がい者雇用に関する企業調査

オンライン回答

調査期間：2022年6月20日（月）～7月29日（金）

<回収状況>

調査名	発送数	回収数		回収率
1. 町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査	538件	(郵送)	213件	56.1%
		(Web)	89件	
2. 障がい者雇用に関する企業調査	94件	(Web)	53件	56.4%

4. 調査対象の詳細

(1) 町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査

センター	障がい種別		発送数	合計	全体合計
町田市障がい者就労・生活支援センターりんく (主に身体障がい・知的障がい対象)	身体障がい	視覚障がい	4	238	
		聴覚障がい	17		
		肢体不自由 他	25		
	知的障がい		163		
	精神障がい		19		
	高次脳機能障がい		—		
	難病		4		
	その他		6		
町田市障がい者就労・生活支援センターLet's (主に精神障がい・発達障がい対象)	身体障がい	視覚障がい	—	167	538
		聴覚障がい	1		
		肢体不自由 他	2		
	知的障がい		2		
	精神障がい		145		
	高次脳機能障がい		10		
	難病		—		
	その他		7		
就労支援センターらいむ	身体障がい	視覚障がい	2	133	
		聴覚障がい	3		
		肢体不自由 他	11		
	知的障がい		57		
	精神障がい		59		
	高次脳機能障がい		1		
	難病		—		
	その他		—		

対象者は、各センター登録者のうち、2022年4月1日を基準として過去3年以内に支援した者538名とした。

※重複障がいにおいては、対象者が少数の障がい種別に当てはめた上で分類している。

※身体障がい・高次脳機能障がい・難病・その他(てんかん等)については少数であるため、該当する全員を対象としている。

※知的障がい・精神障がいの対象者については、数が多いため抽出を行っている。

※発達障がいについては、全ての対象者が愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持していたことから、知的障がい・精神障がいに含めている。

個人を特定しないために対象者と回答データの連携を行っていないこと、利用するセンターや障がい種別については複数回答・未回答があることから、回収率の分類は行わない。

(2) 障がい者雇用に関する企業調査

業種	発送数	合計
建設業	2	94
製造業	12	
電気・ガス業	2	
情報通信業	3	
運輸業	2	
卸売・小売業	16	
金融・保険業	0	
不動産業	2	
飲食店・宿泊業	2	
医療・福祉	34	
	(医療13、福祉21)	
教育・学習支援	9	
その他	10	

対象企業は、2021年6月1日時点で、市内に本社を有する、労働者数100名以上の企業94社とした。

※この表における業種は、2021年6月1日時点の障害者雇用状況報告の産業分類名に基づくものである。

5. 調査項目

調査名	調査項目
1. 町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査	1. 基本属性について 2. 就労支援について 3. 仕事・就職のことについて 4. 生活のことについて 5. センターへの意見
2. 障がい者雇用に関する企業調査	1. 基本属性について 2. 障がい者雇用の有無について 3. 障がい者雇用をしている企業について 4. 障がい者雇用をしていない企業について 5. 採用活動について 6. 障がい者雇用についての意見

6. 調査結果の特徴的事項

(1) 町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査

就労支援について

- ・支援センターを利用したきっかけは、「周囲や支援機関等から利用するように言われた」が52.3%、「仕事の悩みを相談したい」、「就職活動・転職活動に不安がある」が三割台になっている。【該当ページ15】
- ・利用頻度について、「年に1回くらい」「1年以内には利用していない」の合計が約半数を占めている。現在の利用頻度への感想は「ちょうどよい」が約半数だが、11.3%は「増やしたい」と回答している。【該当ページ18、19】
- ・就労移行支援事業所や就労定着支援事業所の利用は、「いいえ」が52.6%になっている。利用していない・利用しなかった理由は、「すぐに就職したかったから」が32.1%あるものの、「学校や会社から、りんく・レッツ・らいむに登録するように言われた」が29.6%、「就労移行や定着支援の施設を知らなかった」が16.4%あり、制度の周知不足がうかがえる。【該当ページ20、21】

仕事・就職のことについて

- ・雇用形態は「パート・アルバイト」、業務内容は「事務」が最も多い回答区分になっている。【該当ページ26、28】
- ・りんく・レッツ・らいむに相談できなかった困りごとについては、「特に困ったことはない」が、42.2%（就職している方）、25.3%（就職していない方）で最も多くなっている。相談できなかった困りごとの具体的項目でみると、就職している方においては「職場の人との関係」が15.9%と最も多い。【該当ページ31、35】
- ・りんく・レッツ・らいむ以外の相談先については、「家族」が67.4%（就職している方）、52.2%（就職していない方）でどちらも突出しているが、二番目に多い回答は異なり、就職している方は「職場の人やジョブコーチ」の42.7%、就職していない方は「病院」の22.7%となっている。一方で、就職している方・就職していない方ともに、約一割が「いない・相談先がわからない」と回答している。【該当ページ33、37】
- ・就職希望地は、「町田市内」が55.5%と突出している。【該当ページ39】

生活のことについて

- ・りんく・レッツ・らいむに相談できなかった困りごとについては、「特に困ったことはない」が、43.4%と突出している。ただ、就労状況別でみると、就職していない方の「体調」や「お金」、「生活リズム」の比率が高くなる。【該当ページ 41、43】
- ・りんく・レッツ・らいむ以外の相談先については、「家族」が67.2%と突出している。一方で、約1割が「いない・相談先がわからない」と回答している。【該当ページ 44】

(2) 障がい者雇用に関する企業調査

基本属性・障がい者雇用の有無について

- ・回答者の多くが「人事管理」担当（67.9%）であり、「現場担当」は3.8%となっている。【該当ページ 57】
- ・従業員数の規模は「101人から299人」が半数以上を占め、業種としては「医療・福祉」が43.4%となっている。【該当ページ 57、59】
- ・障がい者雇用の有無は、「現在障がい者雇用をしている」が88.7%と大半だが、そのうちの法定雇率の達成状況は「達成している」が48.9%、「達成していない」が51.1%となっている。【該当ページ 61、63】

障がい者雇用をしている企業について

- ・職場内での配慮は、大半の企業が「ある」（89.8%）と回答しており、内容は「業務量の配慮」（79.5%）、次いで「勤務時間の配慮」（56.8%）、「配置についての配慮」（47.7%）となっている。なお、過去3年で雇用した障がい種別でみると、「勤務時間の配慮」「作業指示の明確化」は知的障がい、精神障がいが多く、「面談による振り返り・相談対応」は精神障がい、「工程の単純化など職務内容への配慮」は知的障がいが多い傾向となっている。【該当ページ 88、89、91】
- ・採用前における課題は、「業務の創出・選定」が63.3%と最も多く、次いで「従業員の配置」（46.9%）及び「企業・職場内部の障がい理解」（46.9%）が四割台となっている。【該当ページ 94】
- ・採用後における課題は、「業務分担・仕事の創出」が55.1%と最も多く、次いで「体調管理」（49.0%）及び「人間関係」（44.9%）が四割台となっている。【該当ページ 97】
- ・助成制度については、「特定求職者雇用開発助成金」（46.9%）、「トライアル雇用助成金」（24.5%）、「キャリアアップ助成金」（22.4%）といったハローワークの助成金の活用が多い。【該当ページ 103】

障がい者雇用をしていない企業について

- ・対象企業は4件と少なく、そのうち、採用に向けて現在取り組んでいる企業も含まれている。【該当ページ 105】
- ・雇用しない（雇用できない）理由の回答では、「できる仕事がない」、「職場環境を整備できない」、「障がいがある人をどう雇用すればよいか分からない」、「新たに雇用する予算がない」、「指導員や支援する従業員を配置できない」、「手話通訳者等を配置できない」及び「通勤のサポートができない」といった、環境が整わない理由に集中している。【該当ページ 105】

- ・雇用の課題については、「業務の創出・選定」が75.0%、次いで「従業員の配置」、「企業・職場内部の障がい理解」、「制度設計や募集方法等の採用のノウハウ」、「サポートのノウハウ」、「関係機関との連携・相談体制」、「職場環境の整備」及び「通勤のサポート」がそれぞれ50.0%となっている。

【該当ページ108】

採用活動について

- ・今後の採用方針については、「現在雇用している状態を維持」が約半数を占め、次いで「雇用を拡大する」が28.3%となっている。なお、(1)町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査では、就職希望地を「町田市内」と回答した割合が半数以上を占めていることから、市内における障がい者雇用のニーズは高い。【該当ページ39、110】
- ・短時間雇用については、「障がい者雇用は行っているが、短時間雇用ではない」が71.7%と突出している。【該当ページ112】

7. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率(%)の計算は、「n」を基数として算出し、小数第2位を四捨五入し小数第1位まで表示した。このため、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。また、障がい種別や業種など複数回答になる設問の回答結果別を分析軸として用いているものについては、分析軸の項目における基数(n)を足し合わせても全体の基数(n)とは一致しない場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・「第2章 町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査」における就職者・未就職者別の回答については、就職者のみを対象とした問7から問10までの設問や、未就職者のみを対象とした問11から問13までの設問において、いずれも未回答または重複回答のため判別不可のものを「不明」として含めている。

8. 用語の説明

- ・町田市障がい者就労・生活支援センター等

就職活動のアドバイスや就職後のサポートを受けられる支援機関で、町田市では、主に身体・知的障がい対象の「りんく」、主に精神・発達障がい対象の「Let's」(レッツ)、障がい種別を問わない「らいむ」の3箇所で行っている。

- ・町田市障がい者支援センター

障がいに関する相談や手続きができる支援機関で、堺・忠生・鶴川・町田・南の5地域にセンターが設置されている。

- ・東京都立町田の丘学園

町田市にある特別支援学校で、肢体不自由部門と知的障がい部門に分かれている。就労支援や、企業就労した卒業生の支援も行っている。

- ・就労移行支援

企業等への就労を希望する方に、就労に必要な訓練を行う障害福祉サービス。就労後も一定期間支援を行う。

- ・就労定着支援

企業等へ就労した方に対し、働き続けるために必要な指導、助言、連絡調整を行う障害福祉サービス。就労移行支援と合わせて実施している事業所が多い。

- ・就労継続支援

企業等での就労が難しい方に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う障害福祉サービス。雇用契約を結ぶA型と、雇用契約は結ばず、工賃の支給があるB型に分かれている。

- ・自立訓練

自立した日常生活または社会生活が送れるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のための訓練を行う障害福祉サービス。

- ・職業訓練機関

障がいがある方が働く上で必要な知識や技能を身につけるための訓練を行う機関。障害者職業センター、職業リハビリテーションセンター、障害者職業能力開発校、東京しごと財団などがあり、訓練内容は機関により異なる。

- ・法定雇用率

地方公共団体、民間企業などが労働者を雇う場合には、「障害者の雇用の促進等に関する法律」(障害者雇用促進法)で、障がいがある人を一定数以上雇用する必要がある。障害者雇用促進法で定められた雇用率を法定雇用率という。

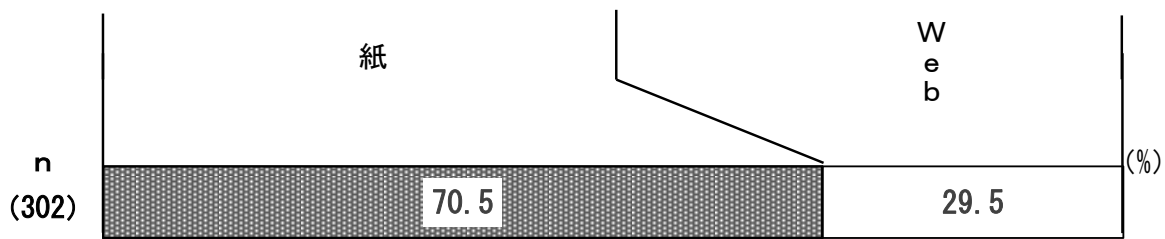
2023年3月時点の法定雇用率は、民間企業が2.3%、地方公共団体等が2.6%であり、43.5人規模以上の事業者(地方公共団体等は38.5人以上)は、この法律に基づき、障がいがある人を雇用する義務がある。この雇用率は、2024年4月に0.2ポイント、2026年7月にさらに0.2ポイントが段階的に引き上げられる。

- ・チャレンジ雇用

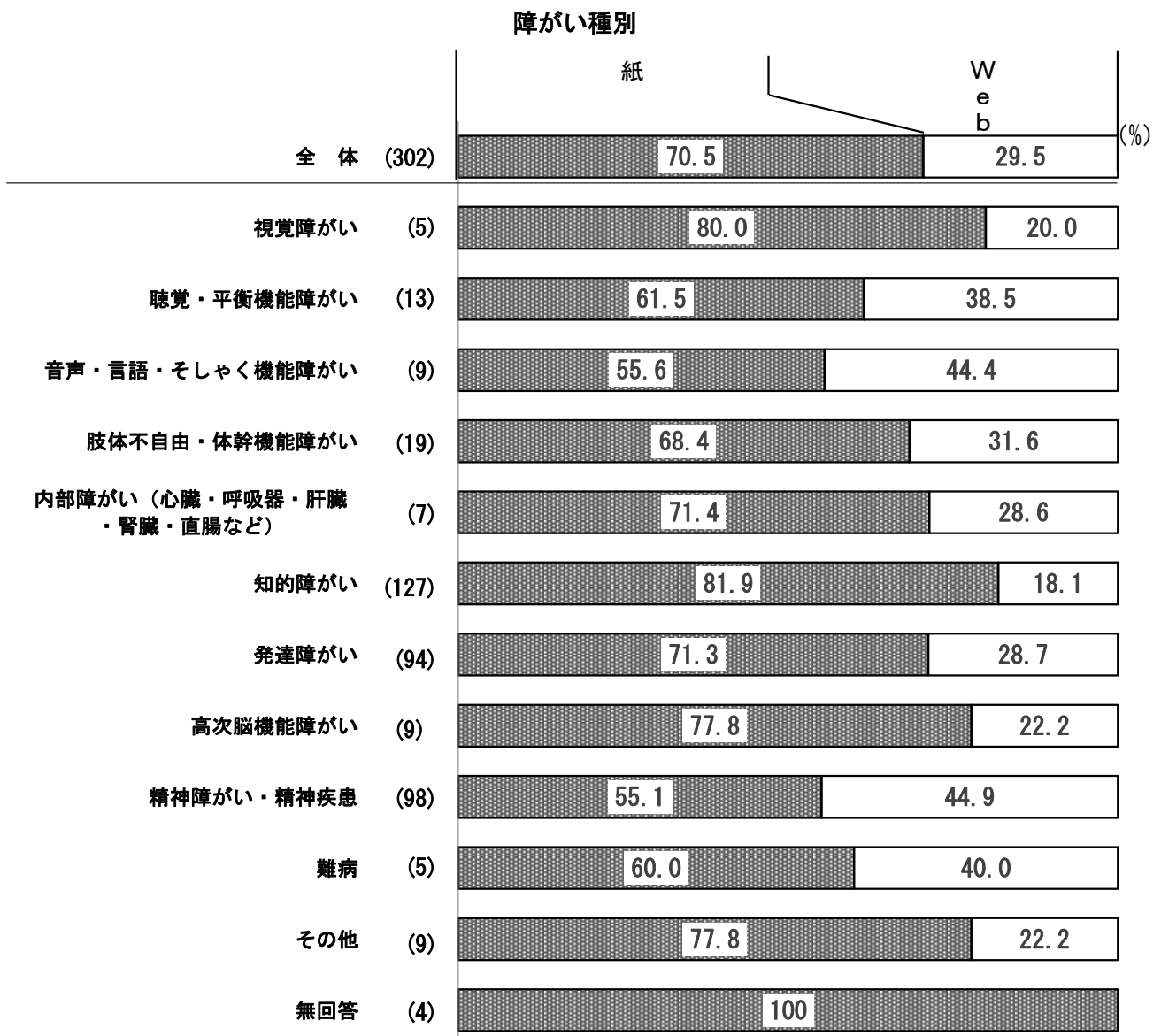
障がいがある方が企業就労へ向けた経験を積むため、行政機関や公立学校において、期限を定めて雇用する形態。

第2章 町田市障がい者就労・ 生活支援センター等に関する調査

1. 回収方法



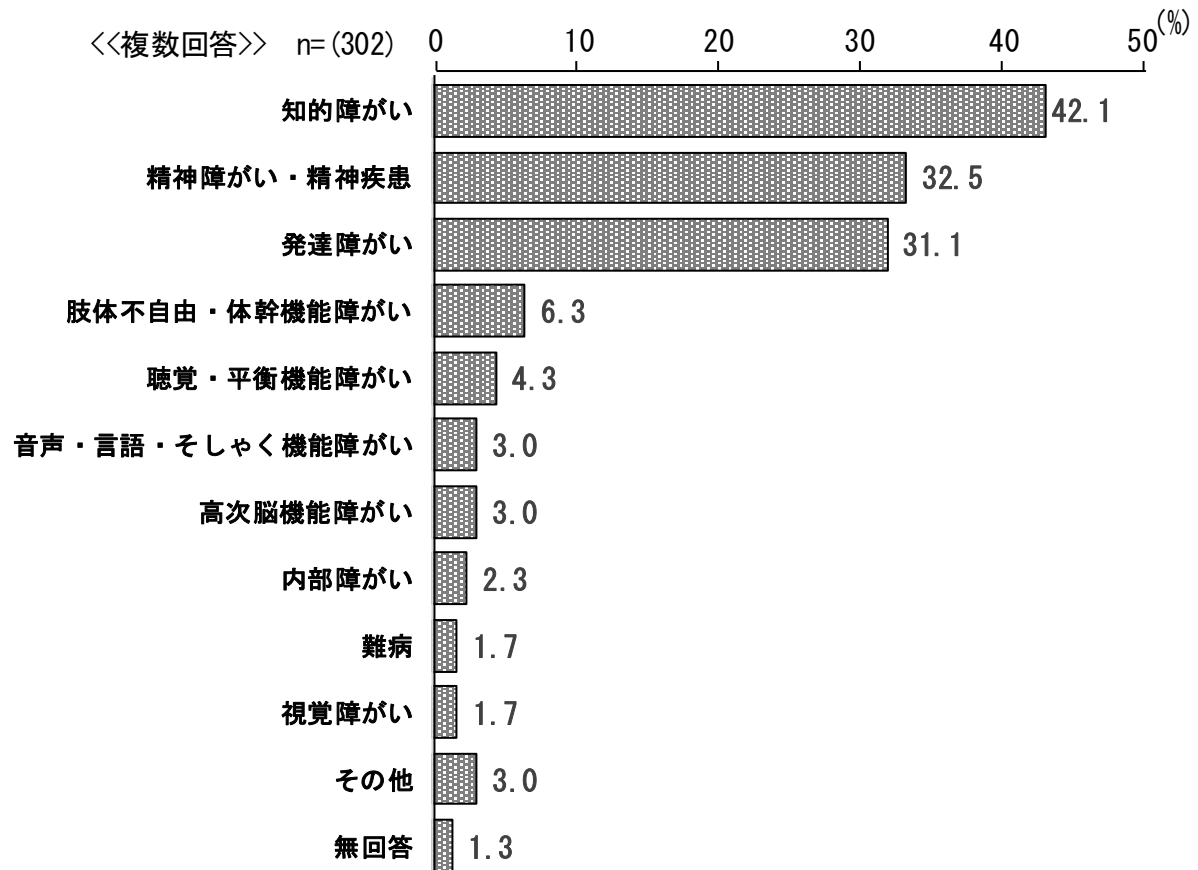
当調査では、538件の発送に対して302件の回収があり、回収率は56.1%であった。302件の回収方法内訳は「紙」での回答が70.5% (213件)、「Web」での回答が29.5% (89件)となっている。



障がい種別で見ると、いずれも「紙」の方が多いが、「Web」は精神障がい・精神疾患で44.9%、音声・言語・そしゃく機能障がいで44.4%、難病で40.0%となっている。

2. 基本属性について

問1 あなたの障がいの内容を、教えてください。(あてはまるものすべてに○)



障がいの内容は、「知的障がい」が42.1%、「精神障がい・精神疾患」が32.5%、「発達障がい」が31.1%などとなっている。

利用頻度別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	知的障がい	精神障がい・精神疾患	発達障がい	肢体不自由・体幹機能障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	高次脳機能障がい	内部障がい	難病	視覚障がい	その他	無回答
全 体	302	42.1	32.5	31.1	6.3	4.3	3.0	3.0	2.3	1.7	1.7	3.0	1.3
月に2回以上	16	50.0	31.3	31.3	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0
月に1回くらい	51	33.3	52.9	39.2	0.0	2.0	2.0	5.9	3.9	2.0	0.0	3.9	0.0
2～3ヶ月に1回くらい	58	24.1	43.1	32.8	5.2	3.4	3.4	3.4	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
半年に1回くらい	17	23.5	47.1	41.2	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0
年に1回くらい	34	58.8	23.5	29.4	2.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
1年以内には利用していない	120	51.7	20.8	27.5	9.2	5.8	3.3	3.3	2.5	0.8	0.8	3.3	0.8
無回答	6	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3

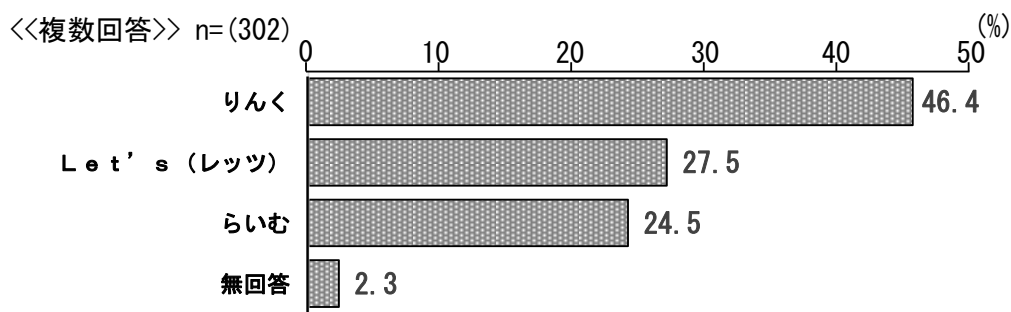
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

利用頻度別でみると、月に2回以上は、「知的障がい」が最も多い。月に1回くらい、2～3ヶ月に1回くらい及び半年に1回くらいは、「精神障がい・精神疾患」が最も多い。年に1回くらい及び1年以内には利用していないは、「知的障がい」が最も多い。

3. 就労支援について

(1) 利用している支援センター

問2 あなたが利用している支援センターを教えてください。(あてはまるものすべてに○)



利用している支援センターは、「りんく」が46.4%、「Let's (レッツ)」が27.5%、「らいむ」が24.5%となっている。

障がい種別

(単位:%)

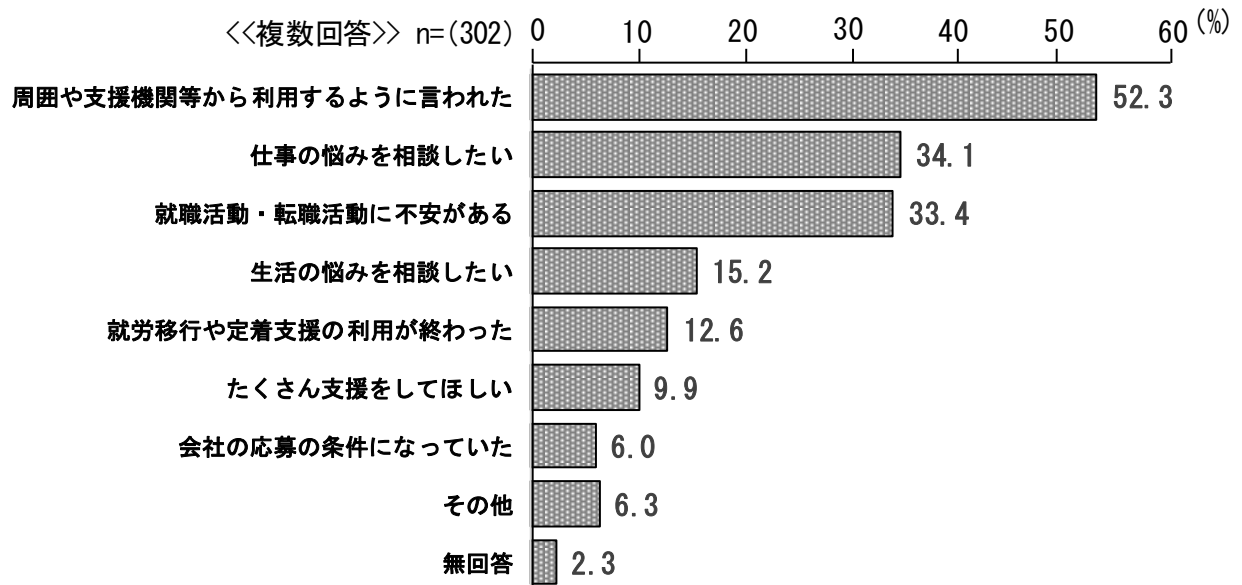
＜＜複数回答＞＞	n	りんく	Let's (レッツ)	らいむ	無回答
全 体	302	46.4	27.5	24.5	2.3
視覚障がい	5	40.0	0.0	60.0	0.0
聴覚・平衡機能障がい	13	69.2	7.7	15.4	7.7
音声・言語 ・そしゃく機能障がい	9	66.7	22.2	11.1	0.0
肢体不自由 ・体幹機能障がい	19	47.4	15.8	26.3	10.5
内部障がい	7	42.9	14.3	28.6	14.3
知的障がい	127	75.6	1.6	22.0	0.8
発達障がい	94	43.6	27.7	28.7	0.0
高次脳機能障がい	9	33.3	55.6	11.1	0.0
精神障がい・精神疾患	98	13.3	60.2	28.6	0.0
難病	5	60.0	0.0	20.0	20.0
その他	9	33.3	33.3	22.2	11.1
無回答	4	25.0	25.0	0.0	50.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「りんく」は知的障がいを中心に幅広く利用されている。「Let's (レッツ)」は精神障がい・精神疾患（60.2%）及び高次脳機能障がい（55.6%）で突出して多くなっている。「らいむ」はりんく同様に幅広い障がい種別の方に利用されている。

(2) 支援センター利用のきっかけ

問3 リンク・レッツ・らいむを利用したきっかけは何でしたか？（あてはまるものすべてに○）



支援センター利用のきっかけは、「周囲や支援機関等から利用するように言われた」が52.3%、次いで「仕事の悩みを相談したい」（34.1%）及び「就職活動・転職活動に不安がある」（33.4%）が三割台となっている。一方で、「会社の応募の条件になっていた」（6.0%）の回答は少ない。

障がい種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	周囲や支援機関等から利用するように言われた	仕事の悩みを相談したい	就職活動・転職活動に不安がある	生活の悩みを相談したい	就労移行や定着支援の利用が終わった	たくさん支援をしてほしい	会社の応募の条件になってきた	その他	無回答
全体	302	52.3	34.1	33.4	15.2	12.6	9.9	6.0	6.3	2.3
視覚障がい	5	40.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
聴覚・ 平衡機能障がい	13	46.2	30.8	15.4	0.0	15.4	15.4	7.7	23.1	7.7
音声・言語・ そしゃく機能障がい	9	77.8	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0
肢体不自由・ 体幹機能障がい	19	47.4	26.3	47.4	0.0	10.5	5.3	0.0	15.8	5.3
内部障がい (心臓・呼吸器・ 肝臓・腎臓・直腸など)	7	71.4	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
知的障がい	127	55.9	31.5	23.6	9.4	7.1	11.0	5.5	7.9	0.8
発達障がい	94	63.8	40.4	40.4	21.3	19.1	10.6	8.5	4.3	0.0
高次脳機能障がい	9	66.7	33.3	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
精神障がい・ 精神疾患	98	48.0	38.8	40.8	25.5	17.3	11.2	9.2	5.1	0.0
難病	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
その他	9	44.4	77.8	33.3	33.3	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0
無回答	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「周囲や支援機関等から利用するように言われた」はいずれの障がい種別でも多い。また、「就職活動・転職活動に不安がある」は視覚障がい（60.0%）、肢体不自由・体幹機能障がい（47.4%）及び難病（40.0%）で多い。

支援センター別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	周囲や支援機関等から利用するように言われた	仕事の悩みを相談したい	就職活動・転職活動に不安がある	生活の悩みを相談したい	就労移行や定着支援の利用が終わった	たくさん支援をしてほしい	会社の応募の条件になっていた	その他	無回答
全体	302	52.3	34.1	33.4	15.2	12.6	9.9	6.0	6.3	2.3
りんく	140	53.6	34.3	32.1	11.4	10.0	10.0	5.7	4.3	2.1
Let's (レッツ)	83	48.2	41.0	42.2	22.9	16.9	10.8	8.4	8.4	0.0
らいむ	74	59.5	27.0	27.0	14.9	13.5	9.5	6.8	6.8	0.0
無回答	7	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1

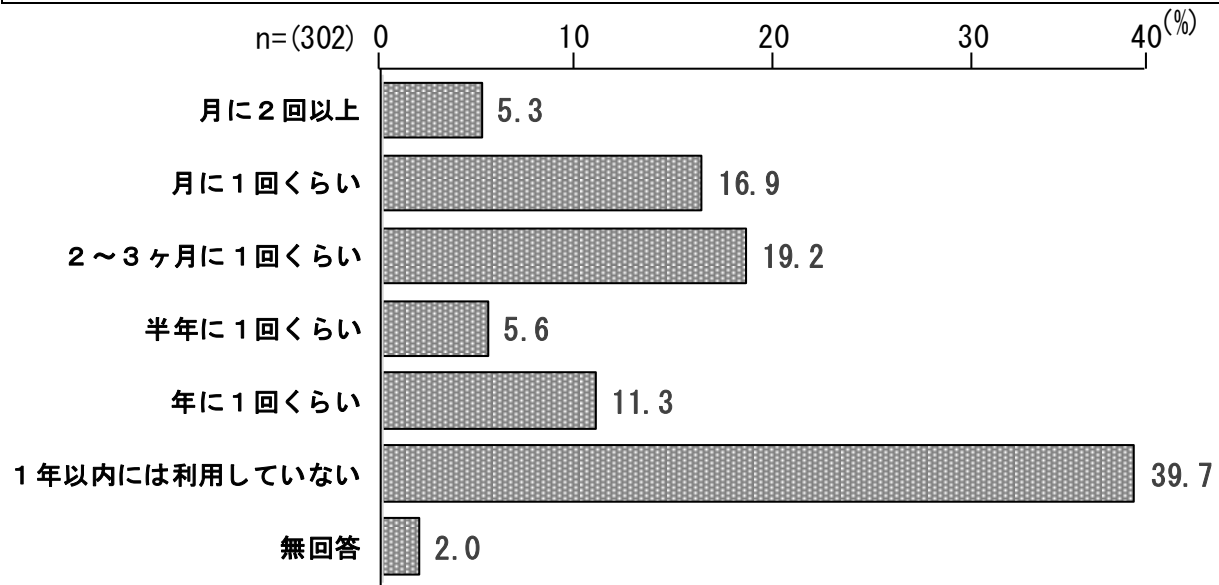
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

支援センター別でみると、「周囲や支援機関等から利用するように言われた」はいずれの支援センターでも多い結果となっている。

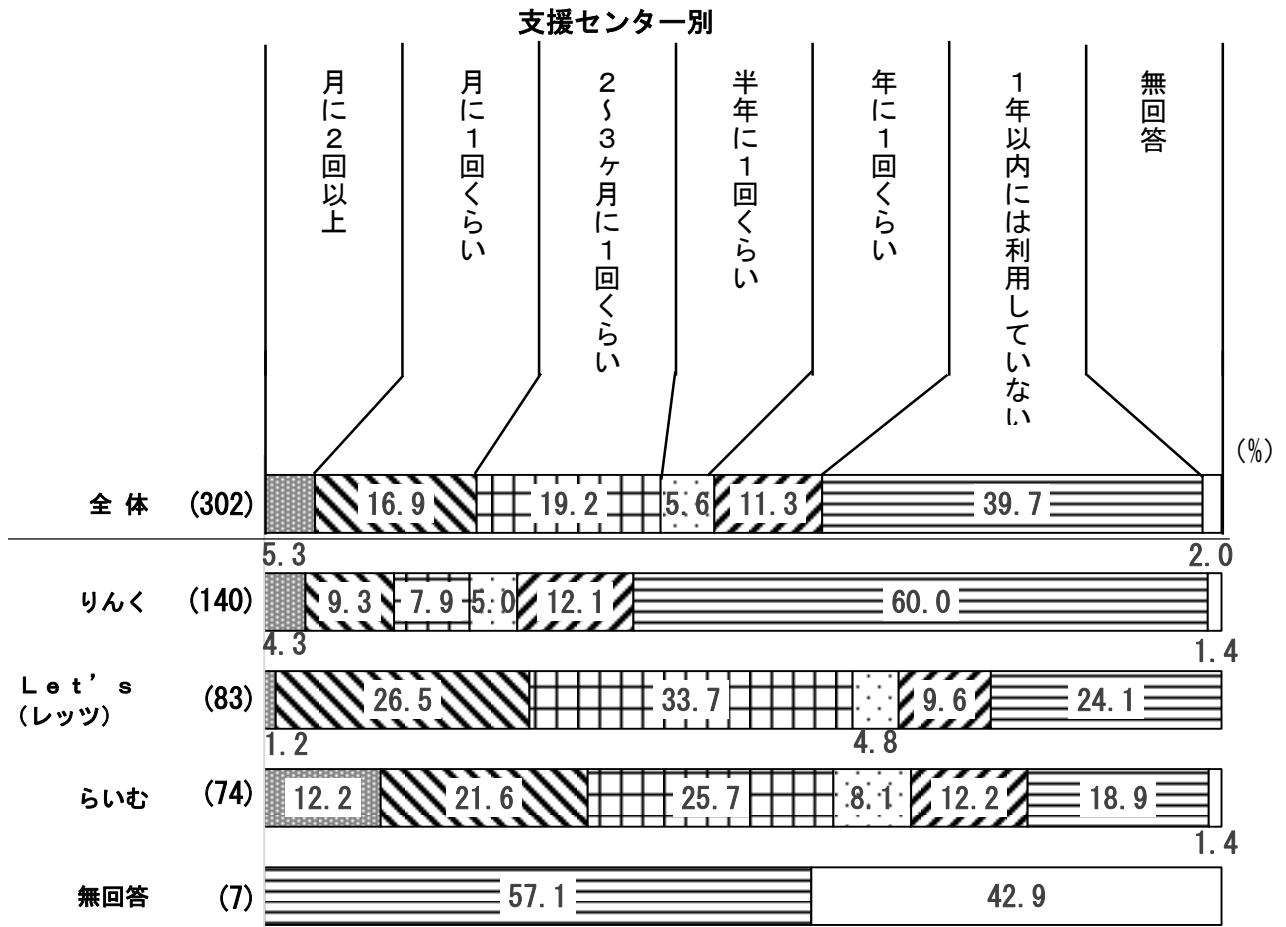
Let's (レッツ) においては、「生活の悩みを相談したい」の割合が他の支援センターに比べ高い比率となっている。

(3) 支援センターの利用頻度

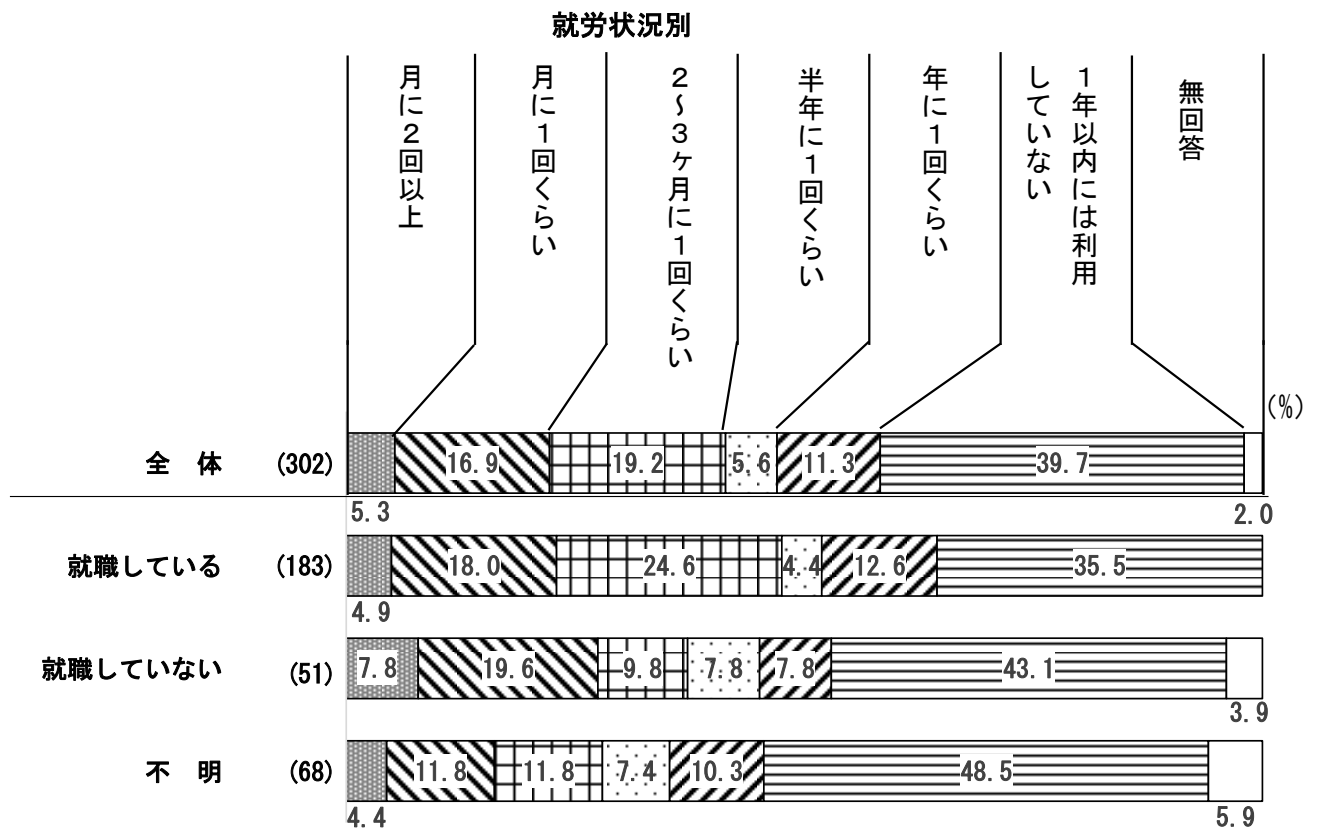
問4 りんく・レッツ・らいむは、どのくらい利用していますか？最近の利用の頻度を教えてください。



支援センターの利用頻度は、「1年以内には利用していない」が39.7%で最も多く、次いで「2~3ヶ月に1回くらい」が19.2%、「月に1回くらい」が16.9%となっている。

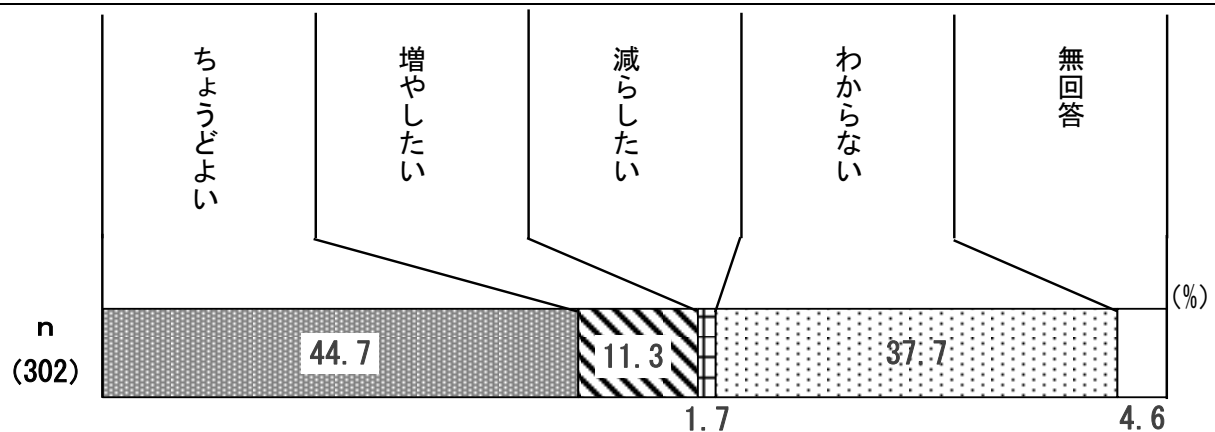


支援センター別でみると、りんくは「1年以内には利用していない」が60.0%、Let's (レッツ)は「2~3ヶ月に1回くらい」が33.7%、らいむは「2~3ヶ月に1回くらい」が25.7%となっている。



就労状況別でみると、就職の有無に関わらず「1年以内には利用していない」が三割台から四割台で最も多く、次いで就職している方は「2〜3ヶ月に1回くらい」が24.6%、就職していない方は「月に1回くらい」が19.6%となっている。

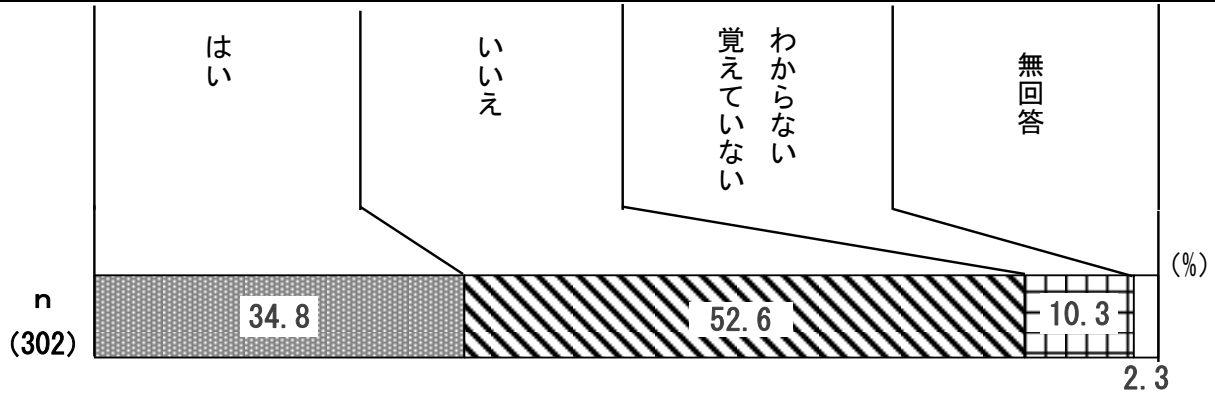
問5 りんく・レッツ・らいむを利用している頻度について、どう思いますか？



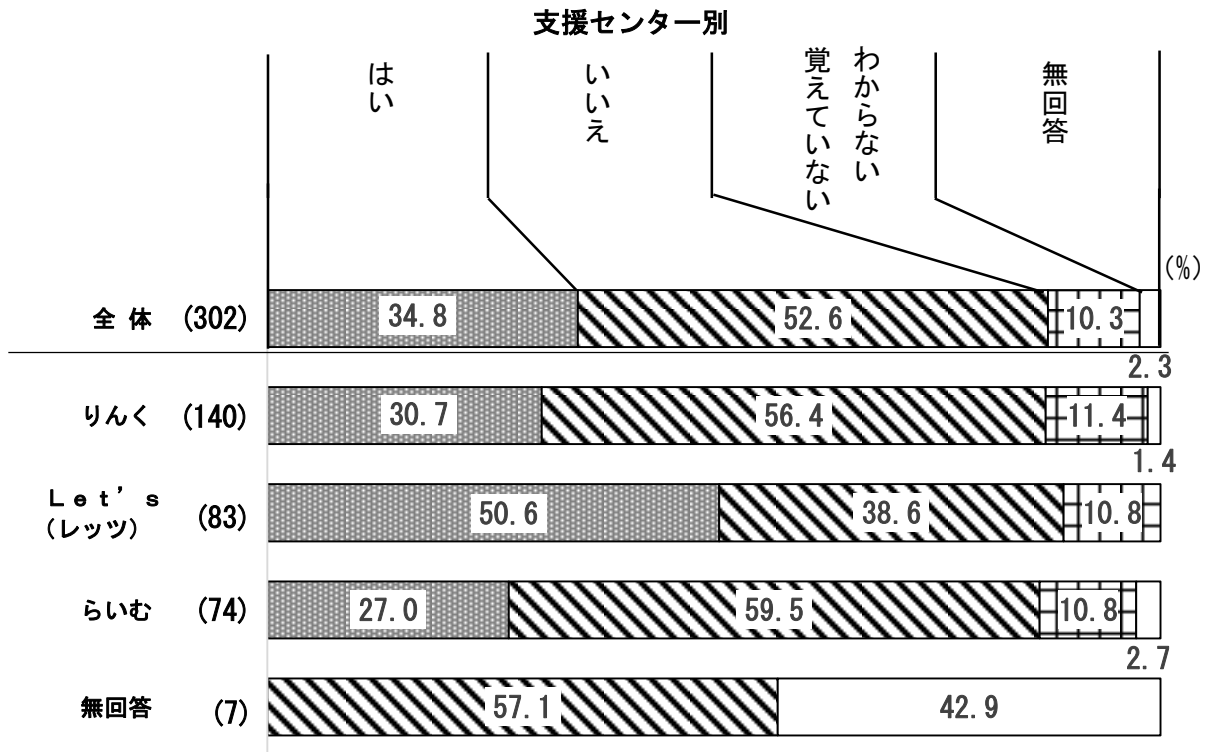
支援センターを利用している頻度への感想は、「ちょうどよい」が44.7%、次いで「わからない」が37.7%となっている。一方で、「減らしたい」の回答は1.7%と少ない。

(4) 就労移行支援事業所等の利用

問6 就労移行支援事業所や就労定着支援事業所を利用していますか？または、利用したことがありますか？



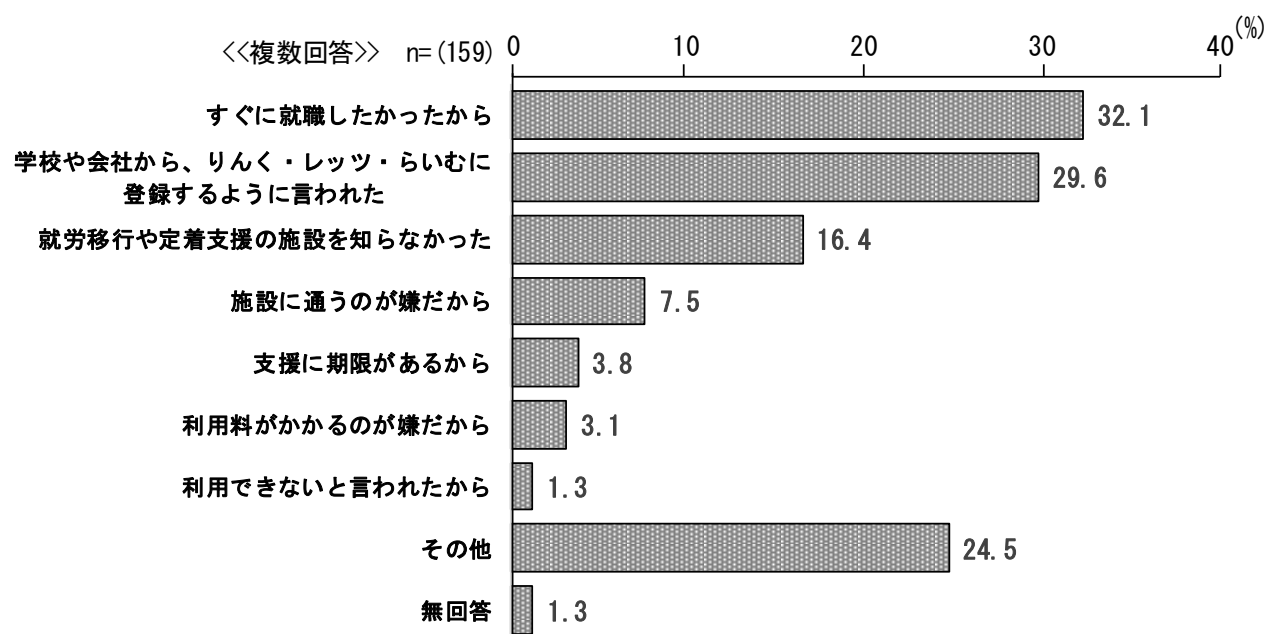
就労移行支援事業所等の利用は、「はい」が34.8%、「いいえ」が52.6%となっている。



支援センター別にみると、「はい」はりんくが30.7%、Let's (レッツ) は50.6%、らいむは27.0%となっている。

【問6で「いいえ」と回答した方に】

問6-1 利用していない・利用しなかった理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）



就労移行支援事業所等を利用していない・利用しなかった理由は、「すぐに就職したかったから」が32.1%、次いで「学校や会社から、りんく・レッツ・らいむに登録するように言われた」が29.6%となっている。一方で、「利用できないと言われたから」(1.3%)の回答は少ない。

なお、回答数が多かった「その他」の具体的回答は、「必要とする支援内容ではなかった」「利用する必要性がよく分からない」「すぐに就職できたから」といった意見が多く、その他「学べるスキルが限られているから」「これから利用を検討している」等の意見が見られた。

支援センター別

(単位：%)

<<複数回答>>	n	すぐに就職したかったから	学校や会社から、りんく・レッツ・らいむに登録すると言われた	就労移行や定着支援の施設を知らなかった	施設に通うのが嫌だから	支援に期限があるから	利用料がかかるのが嫌だから	利用できないと言われたから	その他	無回答
全 体	159	32.1	29.6	16.4	7.5	3.8	3.1	1.3	24.5	1.3
りんく	79	31.6	40.5	19.0	7.6	1.3	0.0	2.5	15.2	1.3
Let's (レッツ)	32	31.3	12.5	15.6	12.5	9.4	12.5	0.0	37.5	3.1
らいむ	44	31.8	25.0	13.6	4.5	4.5	2.3	0.0	29.5	0.0
無回答	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

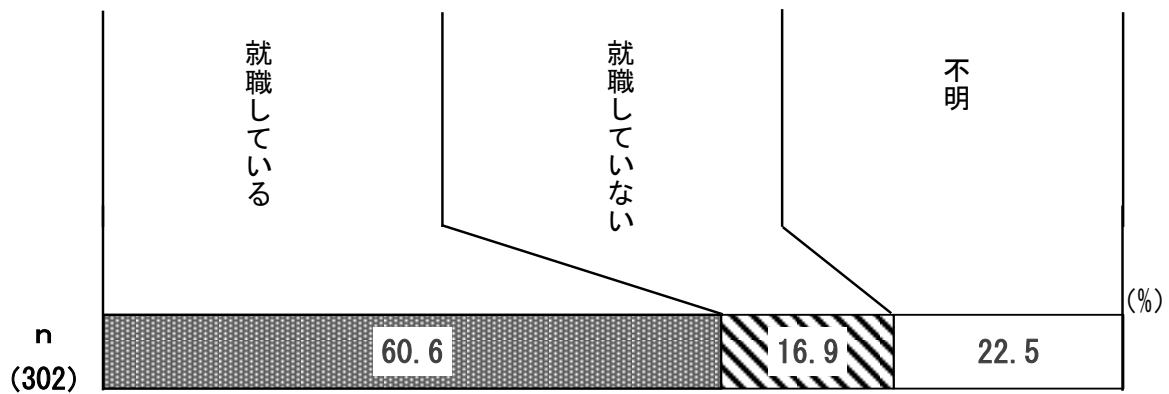
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

支援センター別でみると、りんくは「学校や会社から、りんく・レッツ・らいむに登録すると言われた」が40.5%、Let's（レッツ）は「その他」（37.5%）及び「すぐに就職したかったから」（31.3%）が三割台、らいむが「すぐに就職したかったから」が31.8%となっている。

4. 仕事・就職のことについて

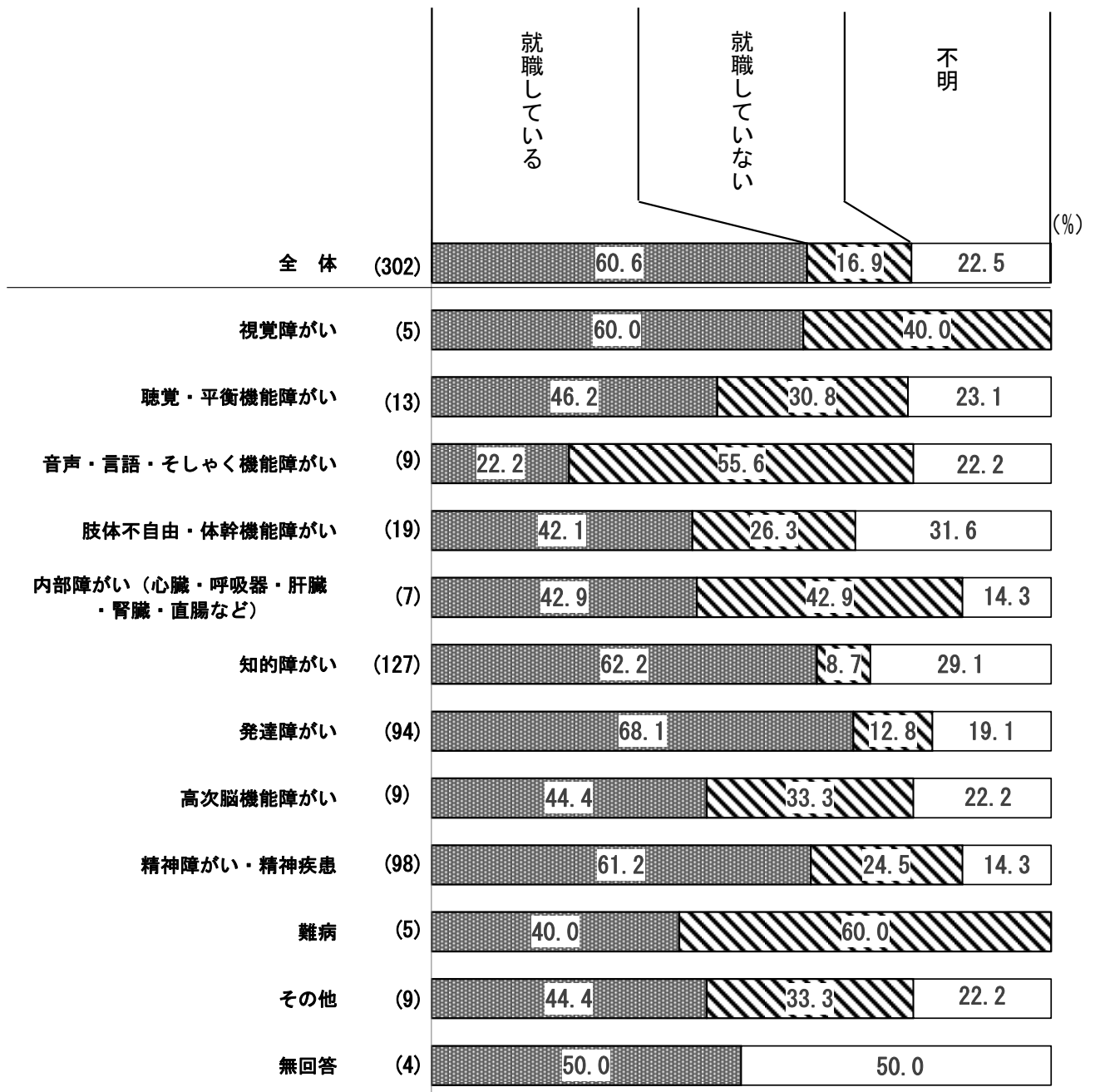
(1) 就労の状況

現在、就職をしていますか？



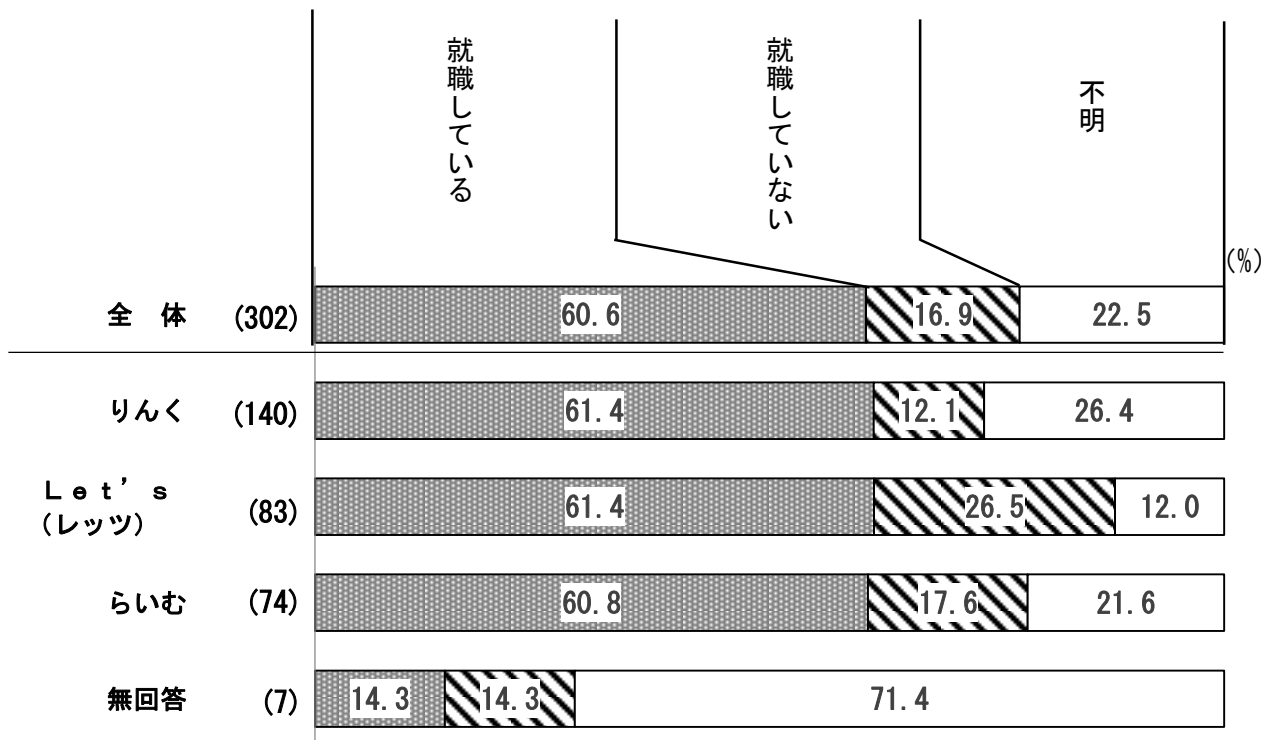
就労の状況は、「就職している」が60.6%、「就職していない」が16.9%となっている。

障がい種別



障がい種別でみると、「就職している」は視覚障がい (60.0%)、知的障がい (62.2%)、発達障がい (68.1%) 及び精神障がい・精神疾患 (61.2%) が六割台と多い。一方で、「就職していない」は音声・言語・そしゃく機能障がい (55.6%) 及び難病 (60.0%) が五割台から六割台と多い。

支援センター別

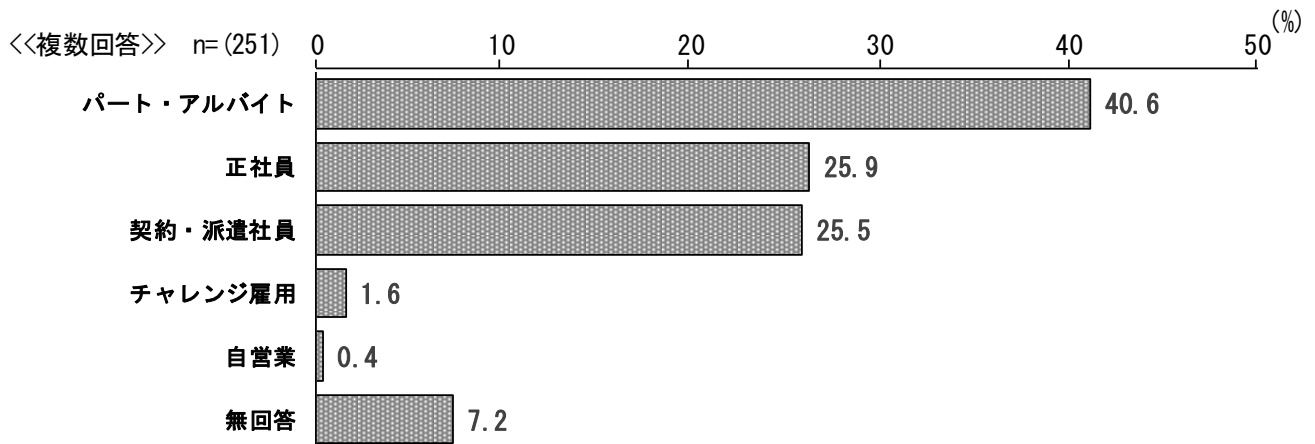


支援センター別でみると、「就職している」はいずれの支援センターでも六割台と多い。一方で、「就職していない」はLet's (レッツ) が26.5%となっており、他の支援センターよりも多い傾向となっている。

(2) 雇用形態

【未就職者除く】

問7 現在の就職の状況について教えてください。(あてはまるものすべてに○)



雇用形態は、「パート・アルバイト」が40.6%と最も多く、次いで「正社員」(25.9%)及び「契約・派遣社員」(25.5%)が二割台となっている。一方で、「チャレンジ雇用」(1.6%)及び「自営業」(0.4%)の回答は少ない。

障がい種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	パート・ アルバイト	正社員	契約・ 派遣社員	チャレンジ 雇用	自営業	無回答
全 体	251	40.6	25.9	25.5	1.6	0.4	7.2
視覚障がい	3	66.7	0.0	33.4	0.0	0.0	0.0
聴覚・平衡機能障がい	9	55.6	11.2	33.4	0.0	0.0	11.2
音声・言語 ・そしゃく機能障がい	4	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由 ・体幹機能障がい	14	28.6	21.5	28.6	0.0	0.0	21.5
内部障がい	4	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
知的障がい	116	41.4	24.2	26.8	0.9	0.0	7.8
発達障がい	82	39.1	30.5	25.7	2.5	1.3	3.7
高次脳機能障がい	6	33.4	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
精神障がい・精神疾患	74	47.3	25.7	21.7	2.8	0.0	5.5
難病	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	33.4	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7
無回答	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

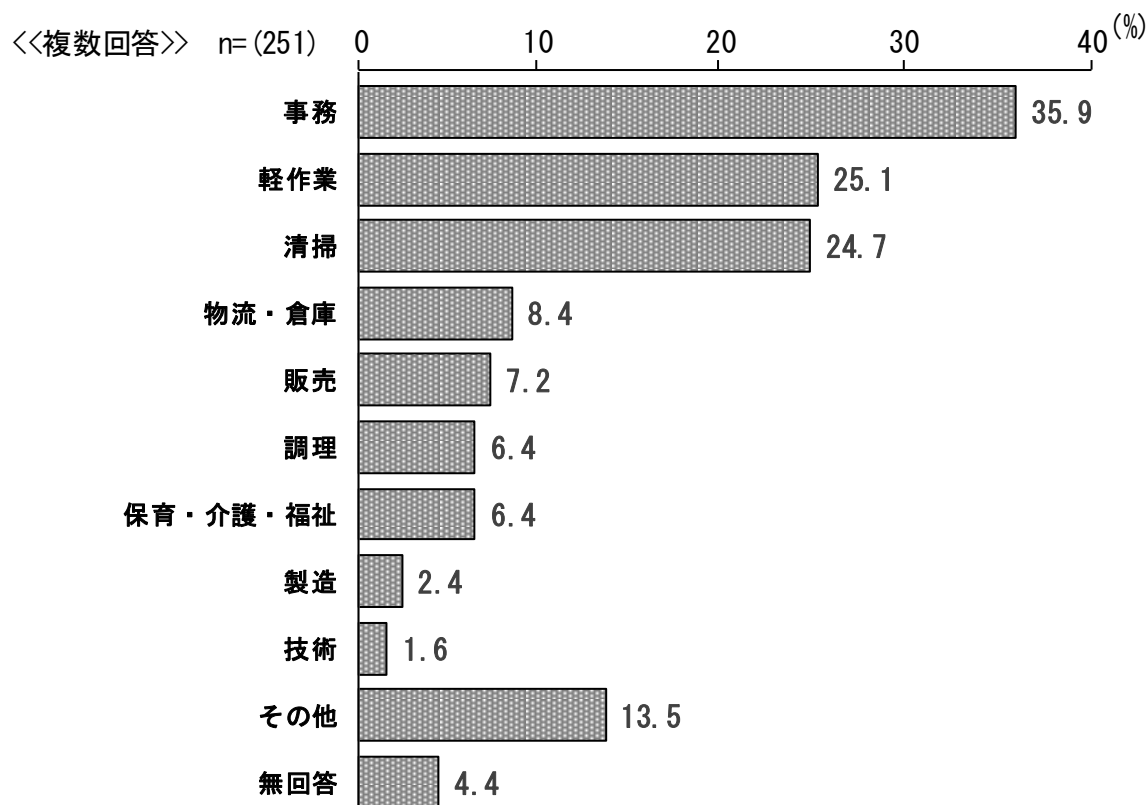
障がい種別でみると、「パート・アルバイト」は難病以外の障がい種別でいずれも多い。高次脳機能障がい及び難病は、「正社員」（50.0%）が多い（調査時点での回答であり、採用時点での障がい・疾病の有無については確認していない）。

また、「チャレンジ雇用」は、知的障がい、発達障がい及び精神障がい・精神疾患において回答が得られている。

(3) 業務内容

【未就職者除く】

問8 現在の仕事の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)



業務内容は、「事務」が35.9%と最も多く、次いで「軽作業」(25.1%)及び「清掃」(24.7%)が二割台となっている。一方で、「製造」(2.4%)及び「技術」(1.6%)の回答は少ない。

障がい種別

(単位：%)

<<複数回答>>	n	事務	軽作業	清掃	物流・倉庫	販売	調理	福祉・保育・介護・	製造	技術	その他	無回答
全 体	251	35.9	25.1	24.7	8.4	7.2	6.4	6.4	2.4	1.6	13.5	4.4
視覚障がい	3	33.4	66.7	33.4	0.0	33.4	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
聴覚・平衡機能障がい	9	22.3	11.2	11.2	0.0	11.2	22.3	0.0	0.0	0.0	22.3	11.2
音声・言語 ・そしゃく機能障がい	4	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由 ・体幹機能障がい	14	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	21.5	0.0	7.2	0.0	21.5
内部障がい	4	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
知的障がい	116	26.8	26.8	26.8	7.8	8.7	6.9	4.4	1.8	0.0	19.9	5.2
発達障がい	82	41.5	30.5	25.7	8.6	3.7	4.9	2.5	3.7	1.3	14.7	3.7
高次脳機能障がい	6	50.0	33.4	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.4	0.0
精神障がい・精神疾患	74	46.0	23.0	25.7	9.5	5.5	6.8	10.9	2.8	2.8	8.2	1.4
難病	2	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	16.7	33.4	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.4	0.0
無回答	4	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「事務」はいずれの障がい種別でも多い。視覚障がいは、「軽作業」（66.7%）及び「保育・介護・福祉」（66.7%）が最も多い。

雇用形態別

(単位：%)

<<複数回答>>	n	事務	軽作業	清掃	物流・倉庫	販売	調理	福祉 保育・介護・	製造	技術	その他	無回答
全 体	251	35.9	25.1	24.7	8.4	7.2	6.4	6.4	2.4	1.6	13.5	4.4
正社員	65	52.4	20.0	21.6	7.7	4.7	0.0	6.2	0.0	0.0	12.4	3.1
契約・派遣社員	64	48.5	28.2	23.5	7.9	4.7	6.3	6.3	0.0	3.2	6.3	1.6
パート・アルバイト	102	23.6	26.5	30.4	8.9	11.8	10.8	6.9	4.0	2.0	17.7	0.0
チャレンジ雇用	4	50.0	75.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
自営業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0
無回答	18	0.0	16.7	11.2	0.0	0.0	11.2	5.6	5.6	0.0	16.7	44.5

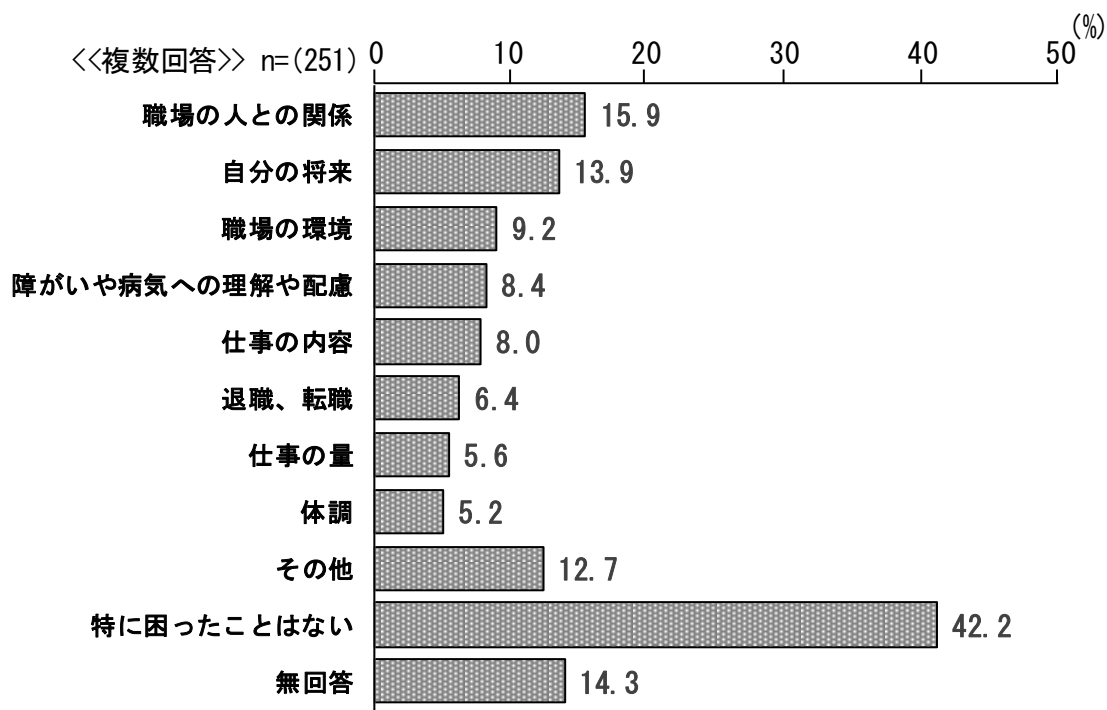
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

雇用形態別でみると、「事務」は正社員（52.4%）及び契約・派遣社員（48.5%）で最も多い。また、「軽作業」はチャレンジ雇用（75.0%）で最も多く、「清掃」はパート・アルバイト（30.4%）で最も多い。

(4) 仕事のことで相談できなかった困りごと

【未就職者除く】

問9 仕事のことで、りんく・レッツ・らいむに相談したくても、相談できない（相談できなかった）ことはありますか？（あてはまるものすべてに○）



仕事のことで相談できなかった困りごとは、「特に関ったことはない」が42.2%と突出している。次いで、「職場の人との関係」（15.9%）及び「自分の将来」（13.9%）が一割台となっている。一方で、「体調」（5.2%）の回答は少ない。

障がい種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	職場の人との関係	自分の将来	職場の環境	障がいや病気への理解や配慮	仕事の内容	退職、転職	仕事の量	体調	その他	特に困ったことはない	無回答
全 体	251	15.9	13.9	9.2	8.4	8.0	6.4	5.6	5.2	12.7	42.2	14.3
視覚障がい	3	33.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.4	33.4
聴覚・平衡機能障がい	9	33.4	0.0	0.0	11.2	0.0	0.0	0.0	0.0	22.3	33.4	0.0
音声・言語 ・そしゃく機能障がい	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0
肢体不自由 ・体幹機能障がい	14	21.5	7.2	7.2	7.2	0.0	14.3	7.2	7.2	7.2	42.9	28.6
内部障がい	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0
知的障がい	116	14.7	9.5	7.8	6.1	6.9	4.4	4.4	4.4	9.5	50.9	10.4
発達障がい	82	12.2	19.6	12.2	7.4	9.8	6.1	6.1	4.9	11.0	40.3	18.3
高次脳機能障がい	6	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.4	33.4
精神障がい・精神疾患	74	17.6	20.3	13.6	13.6	9.5	5.5	9.5	8.2	23.0	31.1	12.2
難病	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
その他	6	16.7	50.0	33.4	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.4	0.0
無回答	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0

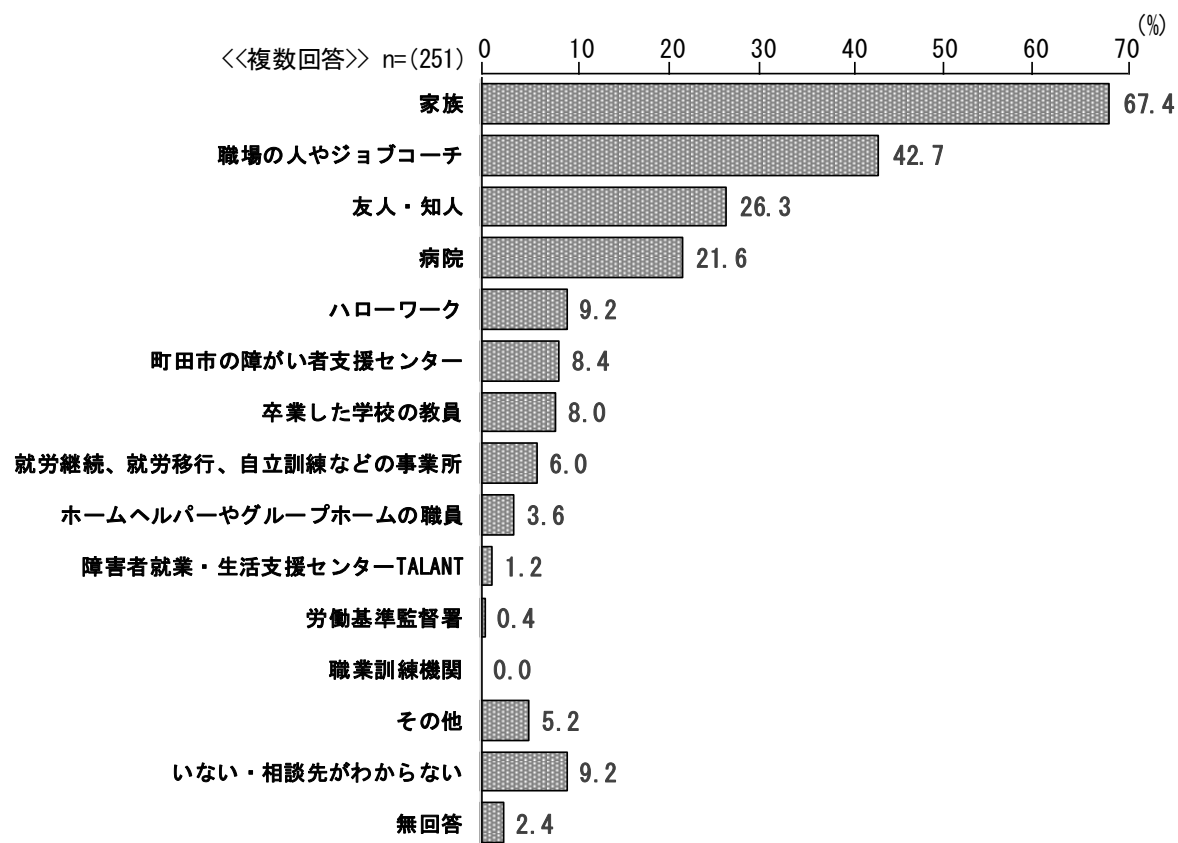
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「特に困ったことはない」は難病以外の障がい種別でいずれも多い。「職場の人との関係」は視覚障がい（33.4%）、聴覚・平衡機能障がい（33.4%）及び内部障がい（25.0%）で最も多い。

(5) 仕事のことで相談できる相手

【未就職者除く】

問10 仕事で困っていることについて、りんく・レッツ・らいむの他に、相談できる人や支援機関はありますか？（あてはまるものすべてに○）



仕事のことで相談できる相手は、「家族」が67.4%と突出している。次いで、「職場の人やジョブコーチ」が42.7%で、「友人・知人」(26.3%)及び「病院」(21.6%)が二割台で続いている。一方で、「障害者就業・生活支援センターTALANT」(1.2%)及び「労働基準監督署」(0.4%)の回答は少なく、「職業訓練機関」については回答なしの結果となった。

また、「いない・相談先がわからない」は9.2%で、約一割となっている。

障がい種別

(単位：%)

<<複数回答>>	n	家族	職場の人やジョブコーチ	友人・知人	病院	ハローワーク	町田市の障がい者支援センター	卒業した学校の教員	事業所	就労継続、就労移行、自立訓練などの職員	ホームヘルパーやグループホームの職員	障害者就業・生活支援センター「TALANT」	労働基準監督署	職業訓練機関	その他	いない・相談先がわからない	無回答
全 体	251	67.4	42.7	26.3	21.6	9.2	8.4	8.0	6.0	3.6	1.2	0.4	0.0	5.2	9.2	2.4	
視覚障がい	3	0.0	33.4	33.4	0.0	33.4	33.4	0.0	33.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
聴覚・平衡機能障がい	9	55.6	33.4	22.3	11.2	11.2	0.0	11.2	11.2	0.0	0.0	0.0	0.0	22.3	0.0	11.2	
音声・言語 ・そしゃく機能障がい	4	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
肢体不自由 ・体幹機能障がい	14	57.2	42.9	35.8	0.0	14.3	14.3	7.2	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	7.2	
内部障がい	4	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
知的障がい	116	77.6	44.0	17.3	13.0	3.5	12.1	13.0	1.8	5.2	1.8	0.0	0.0	5.2	5.2	1.8	
発達障がい	82	78.1	44.0	25.7	29.3	7.4	8.6	8.6	6.1	2.5	0.0	1.3	0.0	3.7	6.1	0.0	
高次脳機能障がい	6	83.4	66.7	33.4	33.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	
精神障がい・精神疾患	74	55.5	41.9	39.2	36.5	20.3	2.8	1.4	12.2	1.4	1.4	1.4	0.0	2.8	14.9	1.4	
難病	2	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	6	50.0	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
無回答	4	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	

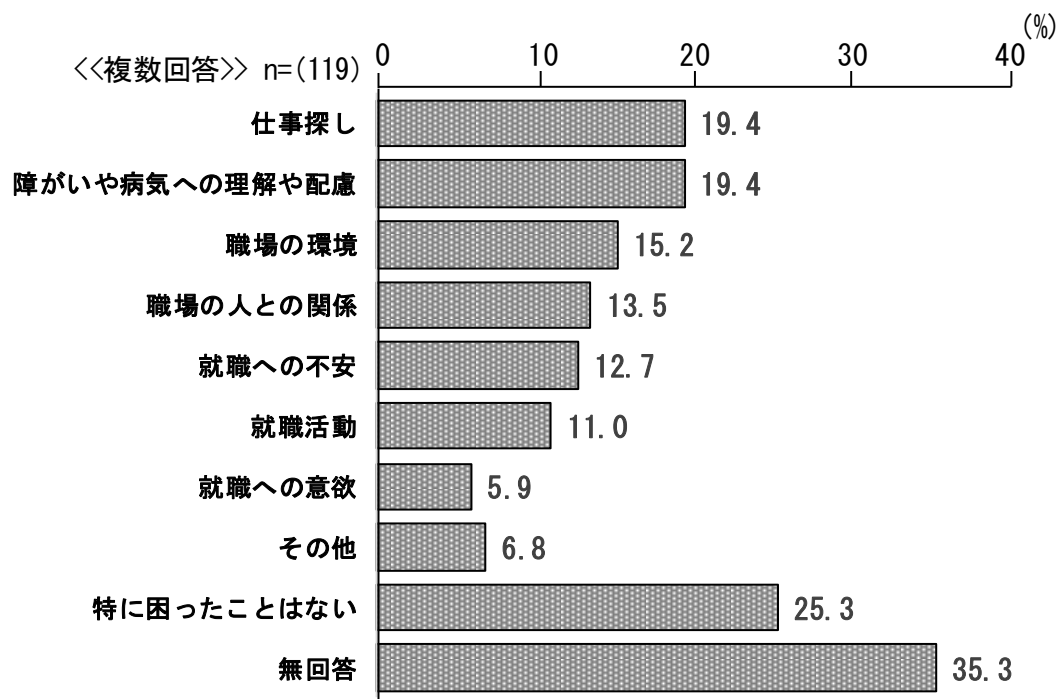
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「家族」は視覚障がい以外の障がい種別でいずれも最も多い。また、「友人・知人」及び「職場の人やジョブコーチ」はいずれの障がい種別でも多い傾向にある。

(6) 就職のことで相談できなかった困りごと

【就職者除く】

問11 就職のことで、りんく・レッツ・らいむに相談したくても、相談できない（相談できなかった）ことはありますか？（あてはまるものすべてに○）



就職のことで相談できなかった困りごとは、無回答を除き、「特に困ったことはない」（25.3%）が最も多い。次いで、「仕事探し」及び「障がいや病気への理解や配慮」がそれぞれ19.4%となっている。

障がい種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	仕事探し	障がいや病気への理解や配慮	職場の環境	職場の人との関係	就職への不安	就職活動	就職への意欲	その他	特に困ったことはない	無回答
全 体	119	19.4	19.4	15.2	13.5	12.7	11.0	5.9	6.8	25.3	35.3
視覚障がい	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
聴覚・平衡機能障がい	7	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6
音声・言語 ・そしゃく機能障がい	7	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3
肢体不自由 ・体幹機能障がい	11	9.1	27.3	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	45.5	18.2
内部障がい	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
知的障がい	48	18.8	6.3	10.5	10.5	12.5	6.3	4.2	4.2	23.0	45.9
発達障がい	30	23.4	16.7	16.7	16.7	20.0	10.0	13.4	10.0	30.0	30.0
高次脳機能障がい	5	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	40.0
精神障がい・精神疾患	38	26.4	31.6	23.7	18.5	23.7	21.1	13.2	10.6	23.7	18.5
難病	3	0.0	66.7	33.4	33.4	0.0	0.0	0.0	0.0	33.4	0.0
その他	5	20.0	20.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0
無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

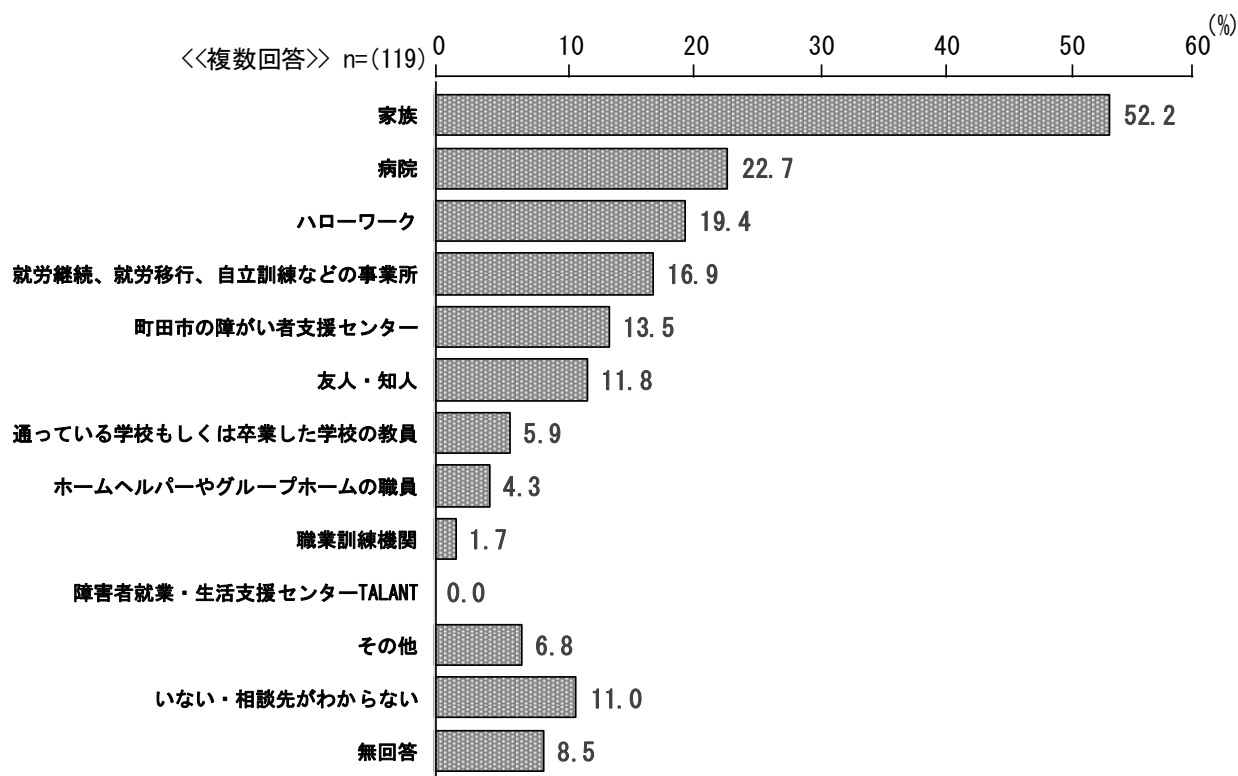
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「特に困ったことはない」はいずれの障がい種別でも多い。また、「障がいや病気への理解や配慮」は視覚障がい（50.0%）、聴覚・平衡機能障がい（28.6%）、音声・言語・そしゃく機能障がい（42.9%）、精神障がい・精神疾患（31.6%）及び難病（66.7%）で最も多い。

(7) 就職のことで相談できる相手

【就職者除く】

問12 就職で困っていることについて、りんく・レッツ・らいむの他に、相談できる人や支援機関はありますか？（あてはまるものすべてに○）



就職のことで相談できる相手は、「家族」が52.2%と突出している。次いで、「病院」(22.7%)及び「ハローワーク」(19.4%)が二割台前後となっている。一方で、「職業訓練機関」(1.7%)の回答は少なく、「障害者就業・生活支援センターTALANT」については回答なしの結果となった。

また、「いない・相談先がわからない」は11.0%で、約一割となっている。

障がい種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	家族	病院	ハローワーク	就労継続、就労移行、自立訓練などの事業所	町田市の障がい者支援センター	友人・知人	通っている学校もしくは卒業した学校の教員	職員	ホームヘルパーやグループホームの	職業訓練機関	障害者就業・生活支援センターTALANT	その他	いない・相談先がわからない	無回答
全 体	119	52.2	22.7	19.4	16.9	13.5	11.8	5.9	4.3	1.7	0.0	6.8	11.0	8.5	
視覚障がい	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
聴覚・平衡機能障がい	7	28.6	28.6	57.2	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	
音声・言語 ・そしゃく機能障がい	7	57.2	42.9	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	
肢体不自由 ・体幹機能障がい	11	63.7	18.2	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1	
内部障がい	4	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
知的障がい	48	62.5	14.6	10.5	12.5	10.5	6.3	10.5	6.3	0.0	0.0	4.2	10.5	8.4	
発達障がい	30	63.4	26.7	13.4	23.4	16.7	13.4	10.0	3.4	3.4	0.0	3.4	10.0	6.7	
高次脳機能障がい	5	60.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	
精神障がい・精神疾患	38	42.2	39.5	29.0	21.1	13.2	13.2	0.0	2.7	2.7	0.0	10.6	7.9	5.3	
難病	3	66.7	66.7	33.4	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	5	60.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	
無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	

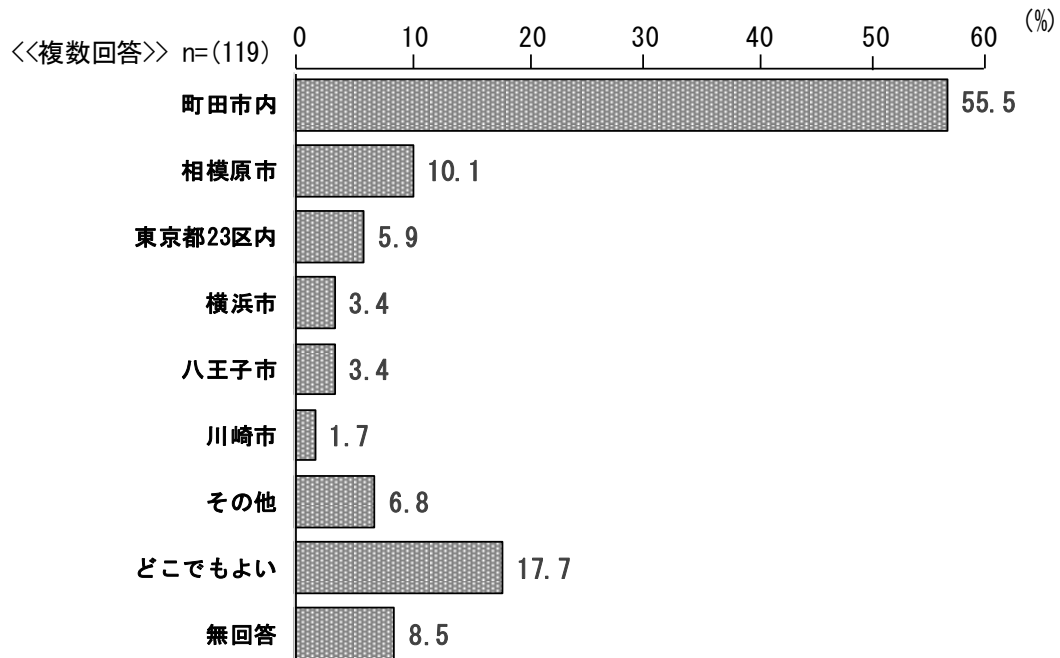
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「家族」及び「病院」は視覚障がい以外の障がい種別でいずれも多い。また、「ハローワーク」は視覚障がい（50.0%）及び聴覚・平衡機能障がい（57.2%）で最も多い。

(8) 就職希望地

【就職者除く】

問13 どの地域に就職したいですか？（最もあてはまるもの1つに○）



就職希望地は、「町田市内」が55.5%と突出している。次いで、「どこでもよい」が17.7%、「相模原市」が10.1%となっている。一方で、「川崎市」(1.7%)の回答は少ない。

障がい種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	町田市 市内	相模 原市	東京 都23 区内	横浜 市	八王 子市	川崎 市	その 他	どこ でも よい	無回 答
全 体	119	55.5	10.1	5.9	3.4	3.4	1.7	6.8	17.7	8.5
視覚障がい	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
聴覚・平衡機能障がい	7	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0
音声・言語 ・そしゃく機能障がい	7	71.5	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
肢体不自由 ・体幹機能障がい	11	36.4	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0	18.2
内部障がい	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
知的障がい	48	64.6	10.5	4.2	2.1	6.3	2.1	8.4	14.6	8.4
発達障がい	30	60.0	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	16.7	10.0
高次脳機能障がい	5	60.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障がい・精神疾患	38	60.6	10.6	0.0	5.3	2.7	2.7	10.6	15.8	2.7
難病	3	0.0	0.0	33.4	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
その他	5	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

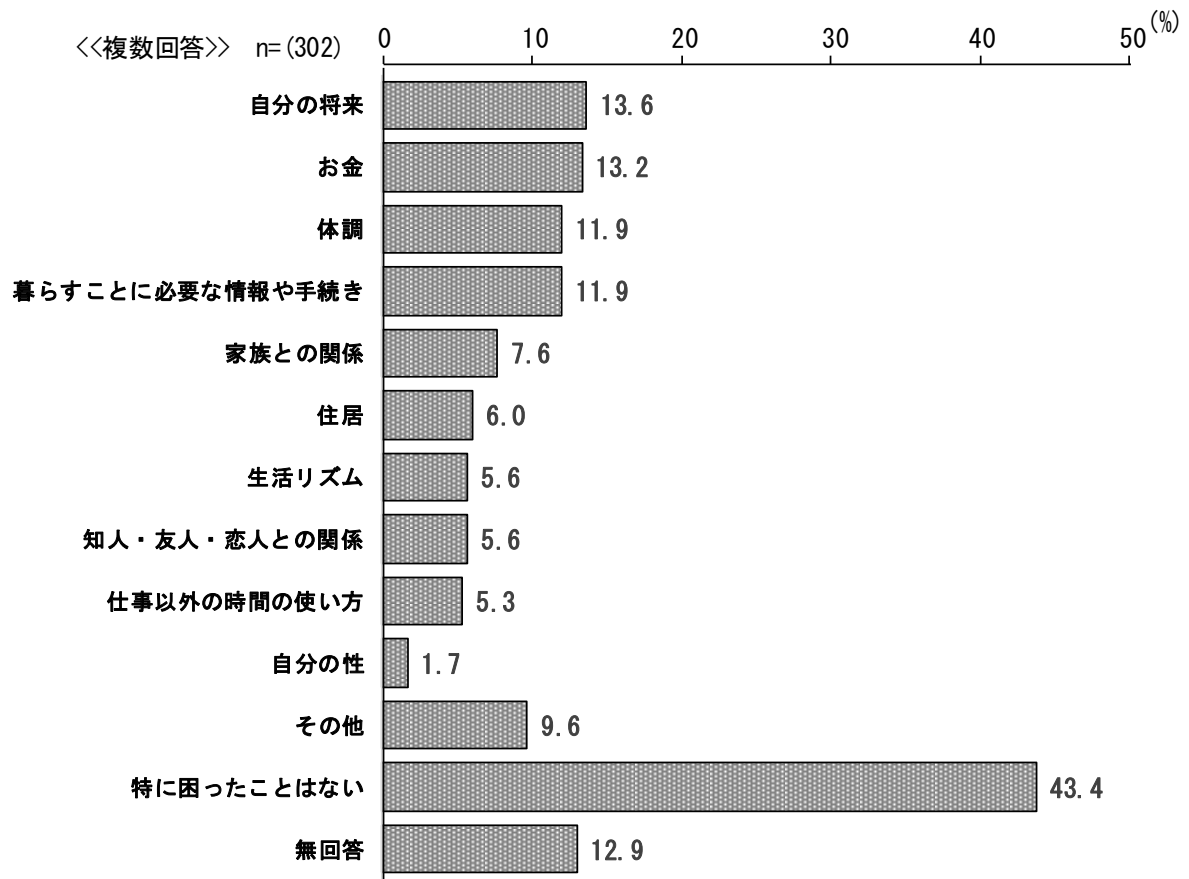
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「町田市内」は難病以外の障がい種別でいずれも多い。また、「どこでもよい」は視覚障がい（50.0%）及び難病（66.7%）で最も多い。

5. 生活のことについて

(1) 生活のことで相談できなかった困りごと

問14 生活のことで、りんく・レッツ・らいむに相談したくても、相談できない（相談できなかった）ことはありますか？（あてはまるものすべてに○）



生活のことで相談できなかった困りごとは、「特に困ったことはない」が43.4%と突出している。次いで、「自分の将来」が13.6%、「お金」が13.2%となっている。一方で、「自分の性」(1.7%)の回答は少ない。

障がい種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	自分の将来	お金	体調	暮らすことに必要な情報や手続き	家族との関係	住居	生活リズム	知人・友人・恋人との関係	仕事以外の時間の使い方	自分の性	その他	特に困ったことはない	無回答
全 体	302	13.6	13.2	11.9	11.9	7.6	6.0	5.6	5.6	5.3	1.7	9.6	43.4	12.9
視覚障がい	5	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
聴覚・平衡機能障がい	13	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	38.5	7.7
音声・言語 ・そしゃく機能障がい	9	11.1	0.0	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0
肢体不自由 ・体幹機能障がい	19	5.3	0.0	21.1	10.5	10.5	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0	10.5	47.4	15.8
内部障がい	7	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3
知的障がい	127	11.0	7.9	8.7	7.9	3.1	5.5	3.1	4.7	1.6	0.8	8.7	57.5	11.0
発達障がい	94	22.3	13.8	11.7	13.8	11.7	9.6	9.6	9.6	9.6	3.2	10.6	39.4	12.8
高次脳機能障がい	9	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	22.2	33.3	11.1
精神障がい・精神疾患	98	20.4	25.5	22.4	19.4	13.3	12.2	12.2	8.2	9.2	4.1	10.2	24.5	11.2
難病	5	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0
その他	9	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	22.2	55.6	11.1
無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「特に困ったことはない」はいずれの障がい種別でも多い。また、「暮らすことに必要な情報や手続き」は視覚障がい（40.0%）、音声・言語・そしゃく機能障がい（33.3%）及び難病（40.0%）で最も多い。「お金」は精神障がい・精神疾患（25.5%）で最も多い。

就労状況別

(単位：%)

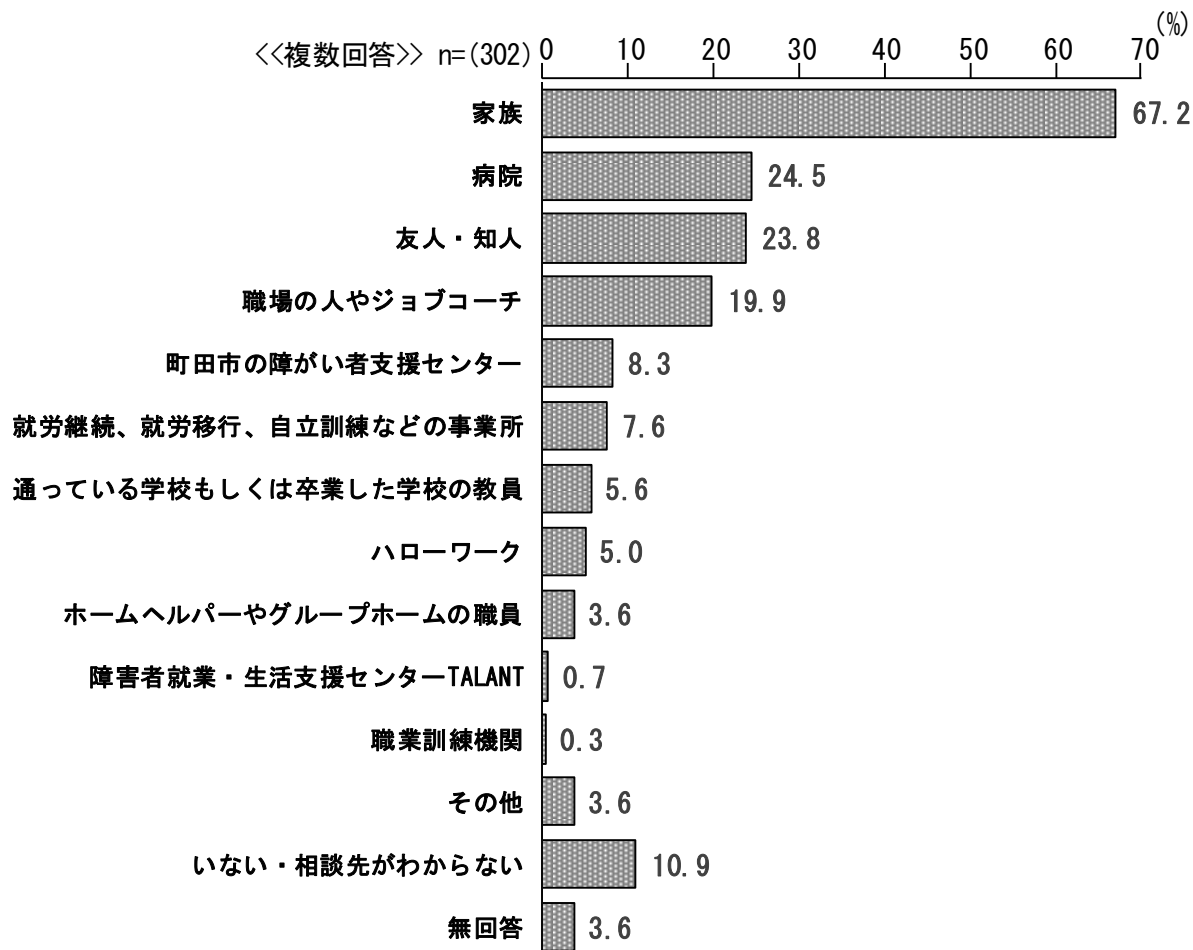
<<複数回答>>	n	自分の将来	お金	体調	暮らすことに必要な情報や手続き	家族との関係	住居	生活リズム	知人・友人・恋人との関係	仕事以外の時間の使い方	自分の性	その他	特に困ったことはない	無回答
全 体	302	13.6	13.2	11.9	11.9	7.6	6.0	5.6	5.6	5.3	1.7	9.6	43.4	12.9
就職している	183	14.2	10.4	7.7	10.9	8.7	6.0	3.8	6.0	4.9	1.6	8.7	46.4	10.9
就職していない	51	19.6	25.5	23.5	15.7	3.9	5.9	9.8	5.9	5.9	3.9	13.7	29.4	9.8
不 明	68	7.4	11.8	14.7	11.8	7.4	5.9	7.4	4.4	5.9	0	8.8	45.6	20.6

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

就労状況別でみると、就職の有無に関わらず「特に困ったことはない」が最も多い。また、「体調」、「お金」、「生活リズム」及び「暮らすことに必要な情報や手続き」において就職していない方が就職している方に比べ多い傾向にある。

(2) 生活のことで相談できる相手

問15 生活で困っていることについて、りんく・レッツ・らいむの他に、相談できる人や支援機関はありますか？（あてはまるものすべてに○）



生活のことで相談できる相手は、「家族」が67.2%と突出している。次いで、「病院」が24.5%、「友人・知人」が23.8%、「職場の人やジョブコーチ」が19.9%と二割前後となっている。一方で、「障害者就業・生活支援センターTALANT」(0.7%)及び「職業訓練機関」(0.3%)の回答は少ない。また、「いない・相談先がわからない」は10.9%で、約一割となっている。

障がい種別

(単位：%)

<<複数回答>>	n	家族	病院	友人・知人	職場の人やジョブコーチ	町田市の障がい者支援センター	事業所 就労継続、就労移行、自立訓練などの	通っている学校もしくは卒業した学校の教員	ハローワーク	職員	ホームヘルパーやグループホームの	障害者就業・生活支援センターTALANT	職業訓練機関	その他	いない・相談先がわからない	無回答
全 体	302	67.2	24.5	23.8	19.9	8.3	7.6	5.6	5.0	3.6	0.7	0.3	3.6	10.9	3.6	
視覚障がい	5	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
聴覚・平衡機能障がい	13	61.5	15.4	38.5	38.5	7.7	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	
音声・言語 ・そしゃく機能障がい	9	55.6	33.3	44.4	33.3	22.2	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
肢体不自由 ・体幹機能障がい	19	57.9	15.8	42.1	36.8	15.8	10.5	5.3	5.3	10.5	0.0	0.0	5.3	21.1	0.0	
内部障がい	7	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0	
知的障がい	127	80.3	12.6	18.9	22.0	9.4	5.5	11.0	3.1	4.7	0.8	0.0	3.9	7.9	2.4	
発達障がい	94	75.5	31.9	26.6	12.8	9.6	7.4	5.3	3.2	4.3	1.1	1.1	3.2	5.3	4.3	
高次脳機能障がい	9	66.7	33.3	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	
精神障がい・精神疾患	98	54.1	39.8	29.6	15.3	6.1	10.2	1.0	6.1	2.0	1.0	0.0	3.1	15.3	5.1	
難病	5	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	
その他	9	55.6	33.3	33.3	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	0.0	
無回答	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「家族」はいずれの障がい種別でも多い。また、「いない・相談先がわからない」は視覚障がい（20.0%）及び難病（60.0%）で多い。

就労状況別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	家族	病院	友人・知人	職場の人やジョブコーチ	町田市の障がい者支援センター	就労継続、就労移行、自立訓練などの事業所	通っている学校もしくは卒業した学校の教員	ハローワーク	職員	ホームヘルパーやグループホームの職員	障害者就業・生活支援センターTALANT	職業訓練機関	その他	いない・相談先がわからない	無回答
全 体	302	67.2	24.5	23.8	19.9	8.3	7.6	5.6	5.0	3.6	0.7	0.3	3.6	10.9	3.6	
就職している	183	73.8	24.0	28.4	24.0	5.5	2.2	6.0	4.4	2.7	1.1	0.0	2.7	10.9	2.2	
就職していない	51	52.9	35.3	21.6	3.9	17.6	23.5	3.9	7.8	5.9	0.0	0.0	5.9	9.8	3.9	
不 明	68	60.3	17.6	13.2	20.6	8.8	10.3	5.9	4.4	4.4	0.0	1.5	4.4	11.8	7.4	

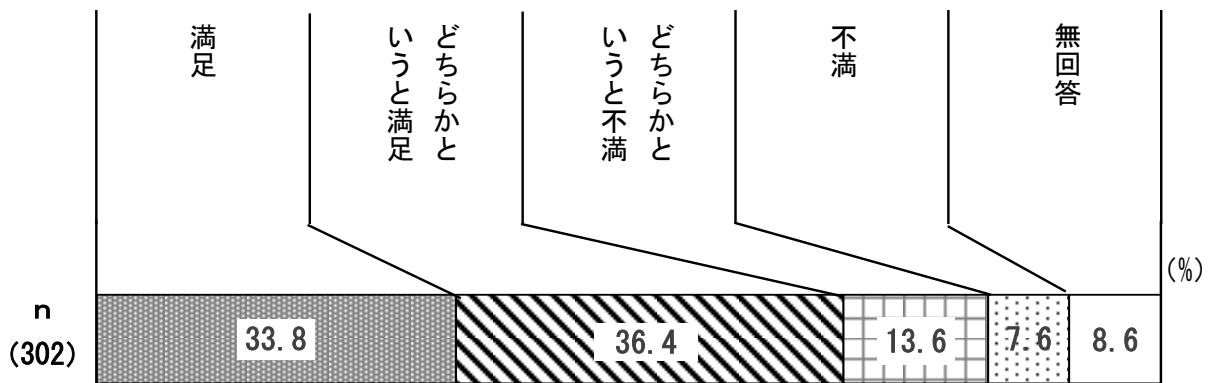
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

就労状況別でみると、就職の有無に関わらず「家族」が最も多い。「就労継続、就労移行、自立訓練などの事業所」、「町田市の障がい者支援センター」及び「病院」において就職していない方が就職している方に比べ多い傾向にある。

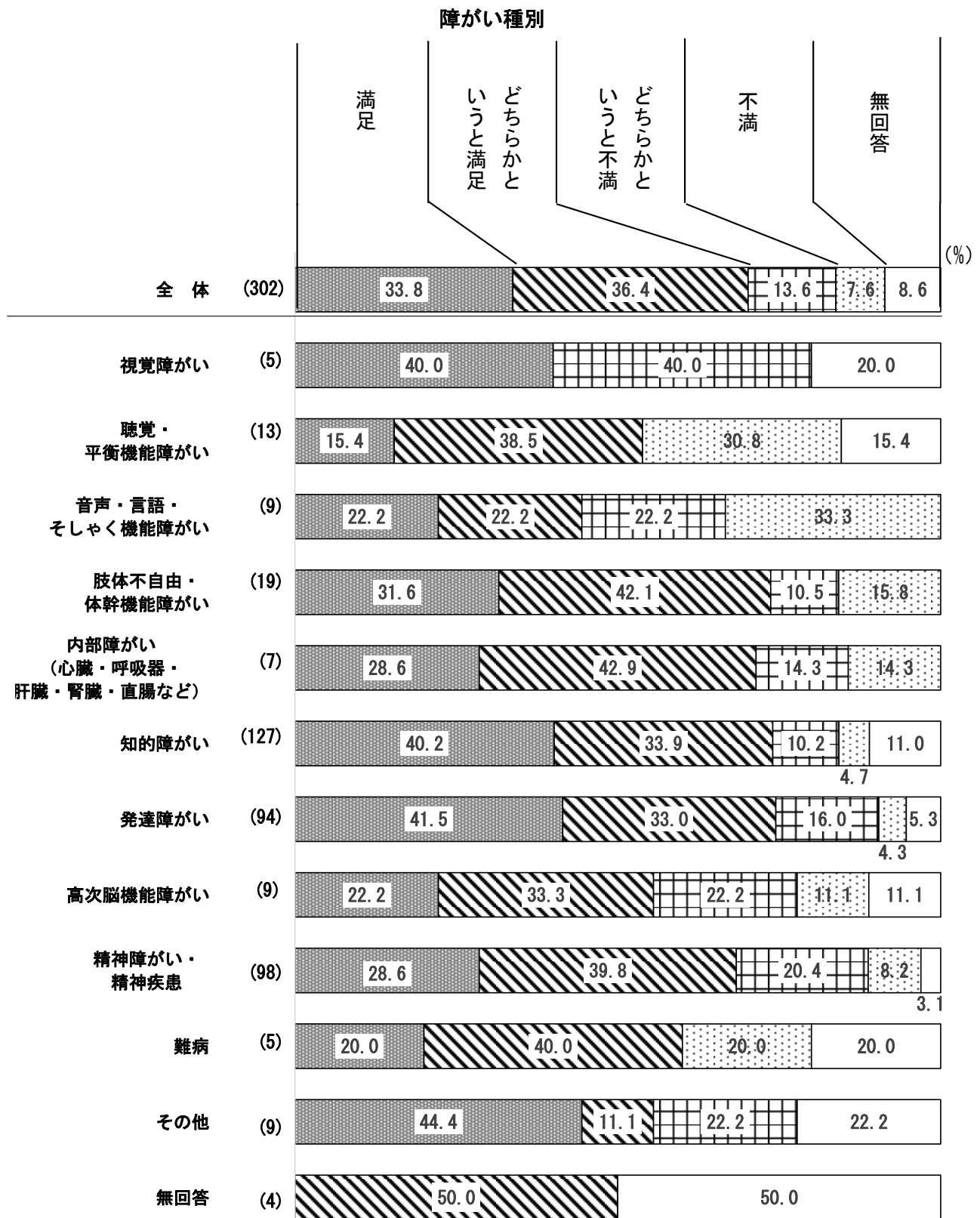
6. センターへの意見

(1) 支援センターの支援の満足度

問16 りんく・レッツ・らいむの対応や支援について、満足していますか？



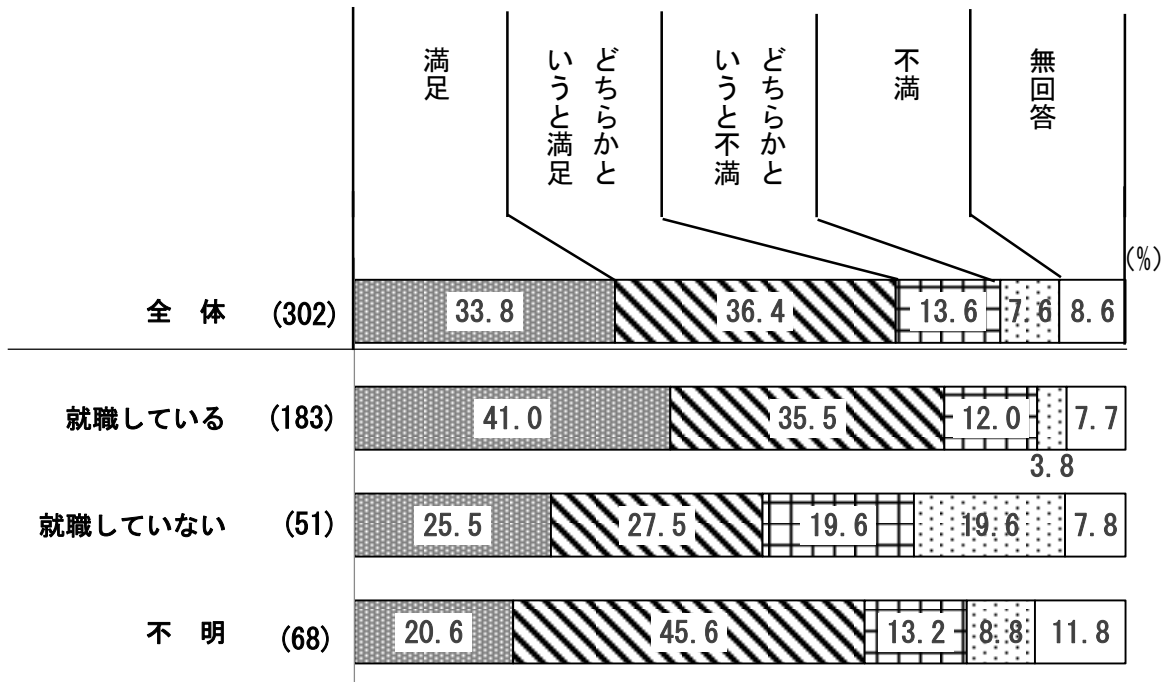
支援センターの支援の満足度は、「満足」(33.8%)及び「どちらかという満足」(36.4%)が三割台と多い。一方で、「どちらかという不満」(13.6%)及び「不満」(7.6%)は一割台前後となっている。



障がい種別でみると、「満足」は視覚障がい、知的障がい及び発達障がいが多い。また、「どちらかといふ満足」は聴覚・平衡機能障がい、肢体不自由・体幹機能障がい、内部障がい、精神障がい・精神疾患及び難病が多い。

一方で、「不満」は聴覚・平衡機能障がい、音声・言語・そしゃく機能障がいが多い。また、「どちらかといふ不満」は視覚障がいが多い。

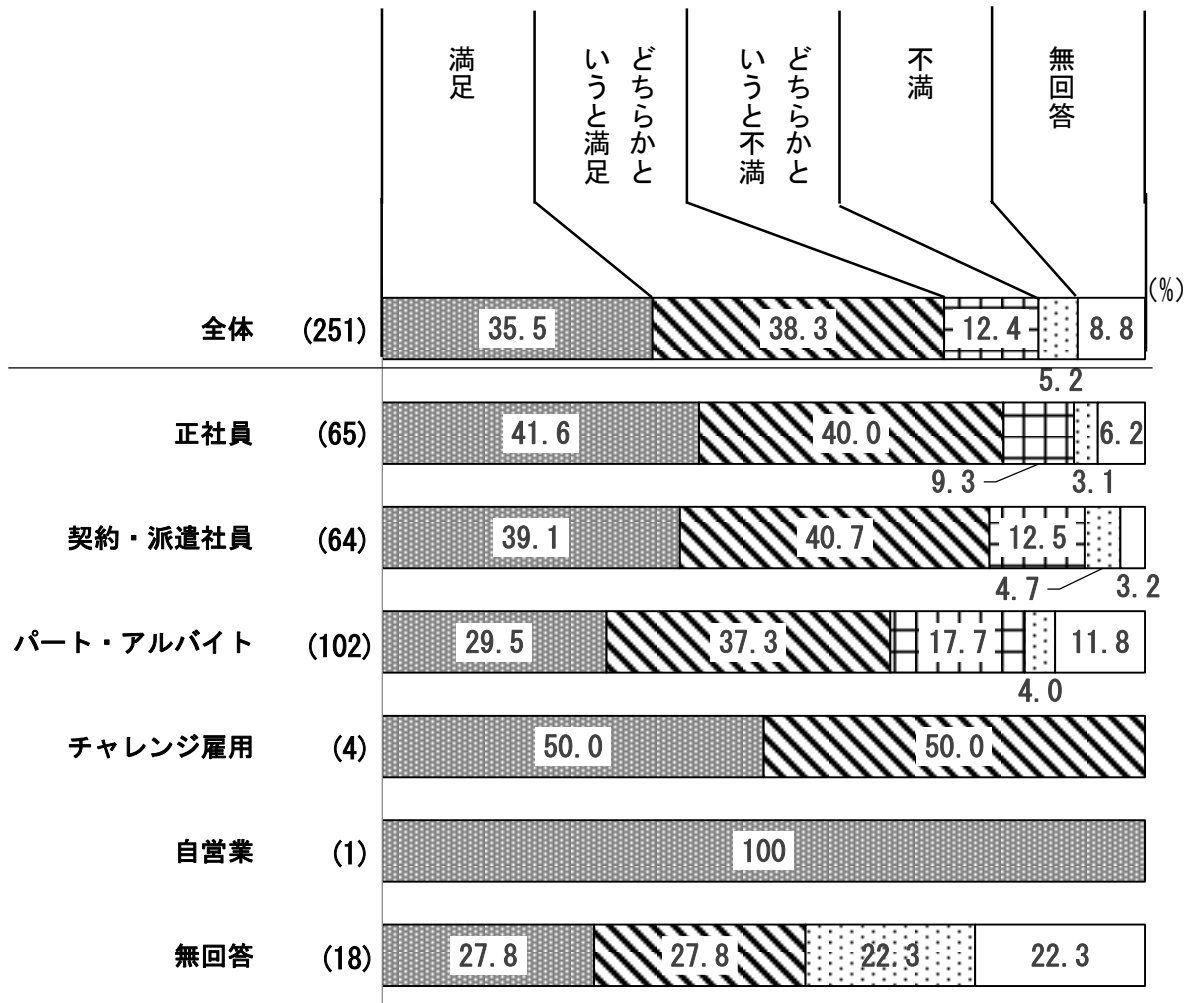
就労状況別



就労状況別にみると、就職している方は「満足」(41.0%)、就職していない方は「どちらかという満足」(27.5%)が多い。

また、「満足」と「どちらかという満足」の割合の合計については、就職している方は76.5%、就職していない方は53.0%となっており、就職している方が高い結果となっている。

雇用形態別



雇用形態別でみると、いずれの雇用形態でも「満足」及び「どちらかという満足」が多い。また、チャレンジ雇用及び自営業については、「不満」と「どちらかという不満」のいずれの回答もない。

(2) センターや仕事について (自由意見)

問17 りんく・レッツ・らいむや、仕事についてのご意見を、ご自由に記入してください。

以下は一部抜粋したものである。

①就職活動に関する相談・支援

良かったこと (23 件)

- ・苦手な面接の練習や、今の職場の紹介等、就職へのサポートをしていただき大変ありがたかった。
- ・自分にとって働きやすい環境の職場に就職できているので適切な就労支援を頂けたことに感謝しているし、満足している。
- ・とても親切に対応していただき、就職するための準備段階で、昼間に施設に通っています。今、通っている所をいつかやめて、また就職活動がんばろうと思います。一生仕事がしたいです。
- ・私自身のペースで無理なく働くことを考えてくれて、私自身が安心して働ける場所と一緒に探してくれています。自身の現状を知ってくれている事、それを認めて、無理なく提案してくれる事が今後の就職への意欲にも繋がりますし、自分のペースで歩む原動力になっています。
- ・就職活動中、不安や焦りを感じたが定期的な面談を行ってもらい不安からくる病気の悪化を避けることができました。

改善してほしいこと・意見 (11 件)

- ・現在就活しているけど、相談や面談したくてメールをしても返事が返ってこない。親が電話をしても今のところ返事がない。
- ・こちらの成育環境と、病気の特異性にばかりとらわれ、本来の就職活動が全くできなかった。必要な聞きとりかもしれないけど、毎回根ほり葉ほり聞かれるととてもつらく、しんどくて、就職活動はあきらめた。もっとデリケートに対応して欲しかった。
- ・障害者雇用のある企業を探す際、ハローワークだけではなく民間の求人も紹介してもらいたいです。
- ・ボーナスが出る様な仕事先をもっと知りたいしつとめてみたい。(自分の出来る仕事内容で…。)
- ・次の転職先の話を雇用期間が終わる年度半ばまで出なかった。利用する側のペース配分も考えて対応して欲しかった。

②仕事に関する相談・支援

良かったこと (21 件)

- ・定期的に面談をして下さり、職場の方にも、足を運んでいただき、店長さんなど、職場の人達と、お話しをしてどのような状況か?など、していただいています。私も、一緒に面談をしていただき、本当に、助かりました。
- ・特に定期的に相談しているわけではないが会社にも訪問して頂いているので何かあった時につながっている安心感がある。入社当初はとても悩んだ時がありとても親身に対応してくれました。今もとても頼りにしています。
- ・自分の考えている事や仕事上の悩みをほぼ全て吐き出せることが一番利用していて良かったと思う点です。
- ・どうやったら報告・連絡・相談ができるかをアドバイスしてくれている。
- ・家族の不安や会社側の要望や様子なども伝えてくれて本当に感謝しています。病院の主治医からも対応をととても誉めていただいています。担当の方も細部に渡りご配慮いただきとてもありがたいと思います。

- ・人間関係のトラブルがあった時に間に入ってくれた。
- ・職場とのやり取りが精神的に辛く、対応が出来なかった時に代理で対応していただいた事や、連絡、調整を行ってくれた事に大変感謝しております。
- ・お陰様で会社に復帰して行かれる様になりました。会社に来てくれて仕事の様子を見に来ました。仕事がしやすい様になりました。

改善してほしいこと・意見（12件）

- ・学校の先生に、色々なサポートをしてもらえるはずだ。と言われ、登録した。卒業して就労をしてからのころは、職場訪問、連絡も時々はあったが、ある日をさかいに、段々連絡もなくなり、職場の訪問もパツタリなくなり、もう、ここ5年以上は何の連絡も全くないので、担当者もわからないし、相談をできる感じになれなくなった。
- ・定期的に仕事の様子を見たり職場の人に困っている事（接し方）があったら聞いてほしい。
- ・相談は聞いてくれても解決には至らない。自分次第ということを改めて思った。しかし話せる場所が無いよりは有って良かったと思っている。

③生活に関する相談・支援

良かったこと（4件）

- ・現在は、仕事面で大きな問題は抱えていないが、生活リズムや母親の介護について、など相談できてよかったです。友人、知人など相談できる人が少ないので、このような支援機関があることは有難いです。

改善してほしいこと・意見（16件）

- ・親（兄弟）なきあとのお金や健康・住居・家事が心配・相談相手がわからない。
- ・余暇の過ごし方が難しいので、プログラムがあると利用したい。
- ・一つ、希望する事があるとすれば、利用者達の交流会を開催してほしいです。

④相談・支援の全体的なこと

良かったこと（40件）

- ・細かい心配ごとが解決するヒントを教えてくれる。結果、解決している。不安ごとがおこりにくい考え方を教えてくれて、自立しやすくなるよう、教えてくれている。とても感謝の気持ちでいっぱいである。
- ・就労してからも対面だけでなくメールでも近況報告ができるので「相談できる人がいる」という安心感がある。今後も継続して支援を受けていきたい。
- ・私の担当者は私が苦手なこと（人）をよく理解してくださっていてその点は親しみやすく助かった。
- ・現在の担当の方がよく話を聞いて下さる方で月1で通うようになりました。病院の先生でもカウンセラーでもこんな良い方はなかなか出会えないので可能ならば担当の方は変わらないでほしいです。

改善してほしいこと・意見（17件）

- ・仕事や生活に問題がない時も定期的に近況を共有する場を設けてほしい。問題が起きてからでは、それまでの経緯を含め相談しても最良の解決策は見つけることができないと思う。
- ・必要な時に本当に必要な事（情報）を入手したかった。もう少し、突っ込んで介入してもらいたかった所は残りました。
- ・就労移行支援や就労定着支援の事業所やグループホーム、通勤寮、最近の就労先などの紹介や見学会を催してほしい。父母の情報交換の場として保護者座談会なども企画してほしい。

支援体制への意見（39件）

- ・担当が人事異動で変わり行きづらくなった。
- ・いつも相談する時間が短いので、もう少しのばしてほしいです。
- ・働いている人には、時間が合わないことがあるので、休日や夕方以降に話ができる機会があればいいと思う。
- ・病気に理解のある職員を増やしてほしい。
- ・担当の人となかなか連絡が取れない。連絡が取れるように職員を増やしてほしい。
- ・手話通訳者は欲しい。
- ・自宅から近い所が良いです。駅まで出るのが新型コロナ禍で遠出したく無い。
- ・足が悪いので歩けないと辛い為に駅から近い場所がいい。
- ・（センターが）バラバラになっているためそれぞれどんな支援をしているのか分かり難いように感じます。利用者にとって明確で利用しやすい場所や雰囲気、分かり易い福祉サービスの存在を作ってください。
- ・面談室が使えなかったのか、一度事務室での面談になった。電話や会話が耳に入ってきてしまい、支援員さんの話に集中できなかったことがある。聴覚過敏なので、そこは配慮してもらいたかった。
- ・僕達にとって、とても大切な場所だと思います。これからも運営して欲しいです。

⑤その他

仕事をしていて良かったこと（13件）

- ・土曜日の朝事務所の清掃をしています。事務局の職員さんにいつもそうじして下さってありがとうございますと感じやされると、こちらも本当に感しゃ感げきな気分になってそれが仕事をしていて最も良かったことです。今はまだ仕事は少ないですが、今が生活面でも一番充実した感じでそれも良かったと思います。
- ・保育園で働いて良かったと思うのは、毎日子供達の元気な姿や笑顔、私が落ちこんでいる時も子供達に笑顔にもらえる。そうじが大変な時もみんながはげみになり、今は、仕事をして良かったと思います。
- ・仕事をしていて良かったことは、収入があったことと、社会の一員になれていたこと。
- ・仕事をしていたら生活習慣が安定してきました。
- ・仕事を続けられていることで少しずつ自分に対して自信がついたように思う。

仕事の困りごと（8件）

- ・仕事ないような事でざつようだけではなくもっと皆と同じような仕事をしたいといつも思っています！
- ・入ってから約10ヶ月間、一部の人からいじめにあいました。聴覚障害の事は話して入ったのですが、一部の人にはどうしてもわかってもらえず、嫌がらせがありました。職場の上司がいじめた本人に話をしてくれましたが、その方は辞めました。今では、皆障害の事をわかってくれるので、助かっています。今の職場で、頑張ってると思っています。
- ・障害者枠だと給料が安く、今後の生活に不安がある。

その他（35件）

- ・そもそも支援機関が多いのでどういう風に活用すればいいのかもよくわからない。
- ・制度の話で難しいかもしれませんが、就労定着支援の期限が決まっています相談できる期限が決まっているようですが、その後も希望制などで工夫して、相談が継続できるようにしていただけると、とても安心できると思いました。
- ・就労移行支援を町田市はなぜ2年に限定しているのですか。他の市は3年とか就労先が合わなかったらやり直しできくのに、その辺、町田市は福祉に冷たいと私は思います。
- ・COVID-19ワクチンの予約支援が出来るか検討をお願い致します。
- ・（センターが）町田にあるので、小田急での買い物や、市役所の用事などの時に、よりやすい。
- ・このようなアンケートは普段思っていることを伝えることができるので大変良いと思います。

第3章 障がい者雇用に関する企業調査

1. 基本属性について

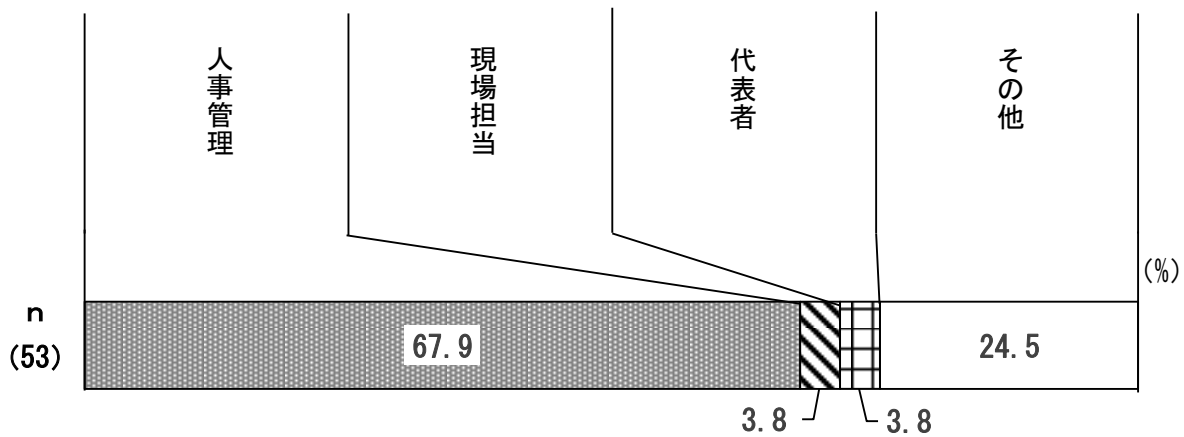
問1 会社名を教えてください。

<回答数53件><省略>

問2 回答者の方のお名前を教えてください。

<省略>

問3 回答者の方の部署の系統を教えてください。

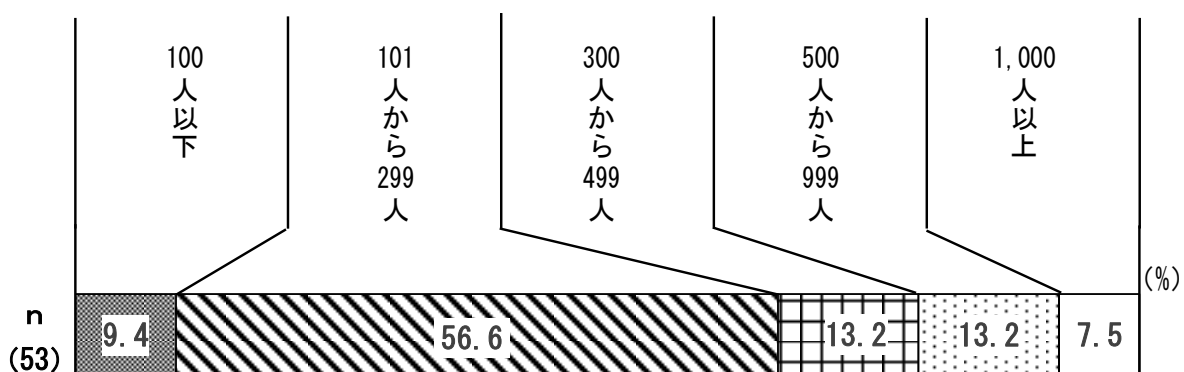


「その他」の内容

総務（5件）、総務部経理・総務経理課（2件）、園長（2件）、
管理、事務、法人本部、理事

当調査では、94件の発送に対して53件の回収があり、回収率は56.4%であった。回答者の方の部署の系統は、「人事管理」が67.9%（36件）、「現場担当」が3.8%（2件）、「代表者」が3.8%（2件）、「その他」が24.5%（13件）となっている。

問4 従業員数の規模について教えてください。



従業員数の規模は、「101人から299人」が56.6%、次いで「300人から499人」及び「500人から999人」がそれぞれ13.2%となっている。

業種別

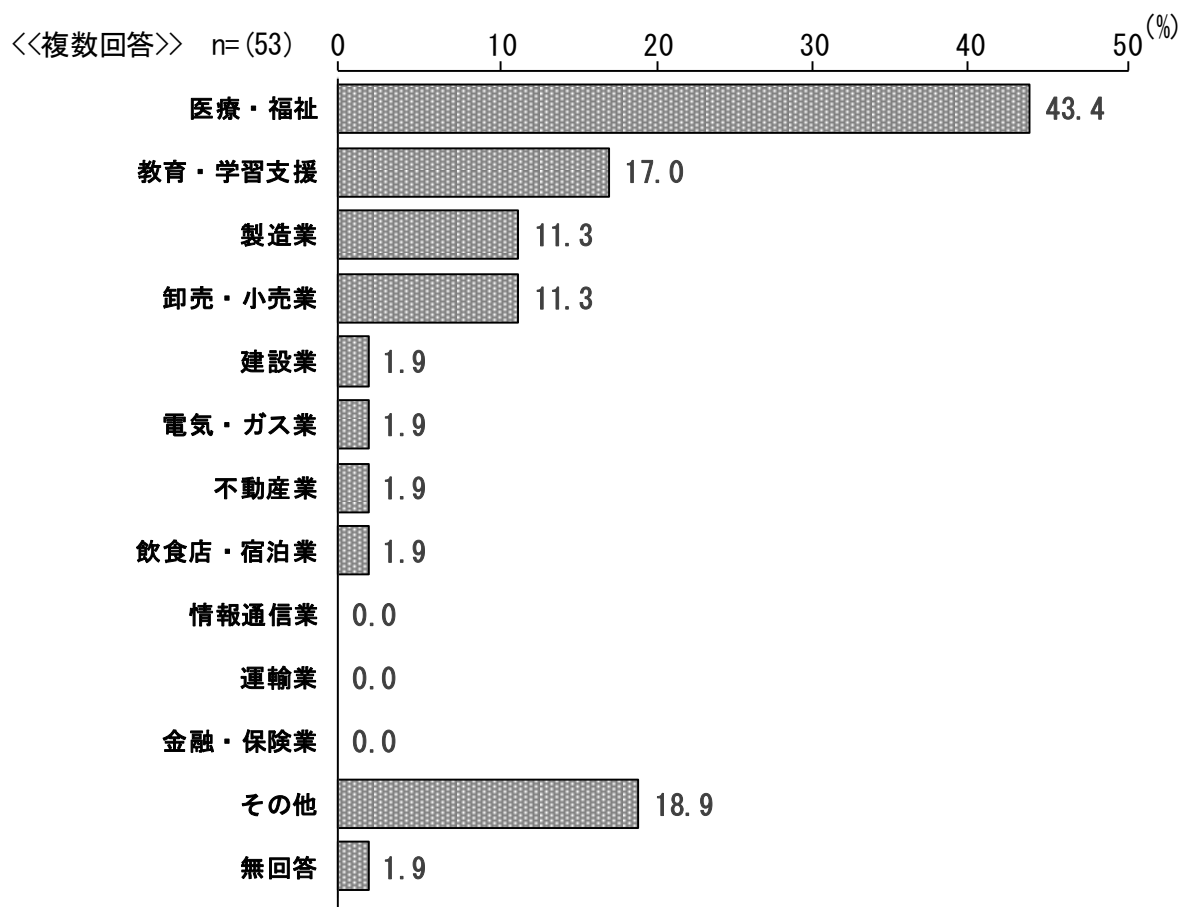
(単位:%)

	n	100 人 以下	101 人 から 299 人	300 人 から 499 人	500 人 から 999 人	1,000 人 以上	無 回 答
全 体	53	9.4	56.6	13.2	13.2	7.5	0.0
建設業	1	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	6	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
電気・ガス業	1	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	6	0.0	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	1	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
飲食店・宿泊業	1	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	23	17.4	47.8	17.4	8.7	8.7	0.0
教育・学習支援	9	11.1	44.4	11.1	11.1	22.2	0.0
その他	10	0.0	70.0	10.0	10.0	10.0	0.0
無回答	1	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「101人から299人」は建設業（100%）、製造業（66.7%）、卸売・小売業（50.0%）、医療・福祉（47.8%）、教育・学習支援（44.4%）及びその他（70.0%）で最も多い。

問5 業種を教えてください。(あてはまるものすべて☑)



「その他」の内容

シェアードサービス業、警備業、清掃業（2件）、人材派遣業（3件）、音楽教室運営、産業廃棄物処理業、保育、旅客運送業、総合サービス業、行政

業種の内容は、「医療・福祉」が43.4%と突出している。次いで、「教育・学習支援」（17.0%）が割後半台となっている。一方で、「情報通信業」、「運輸業」及び「金融・保険業」については回答なしの結果となった。

従業員数の規模別

(単位:%)

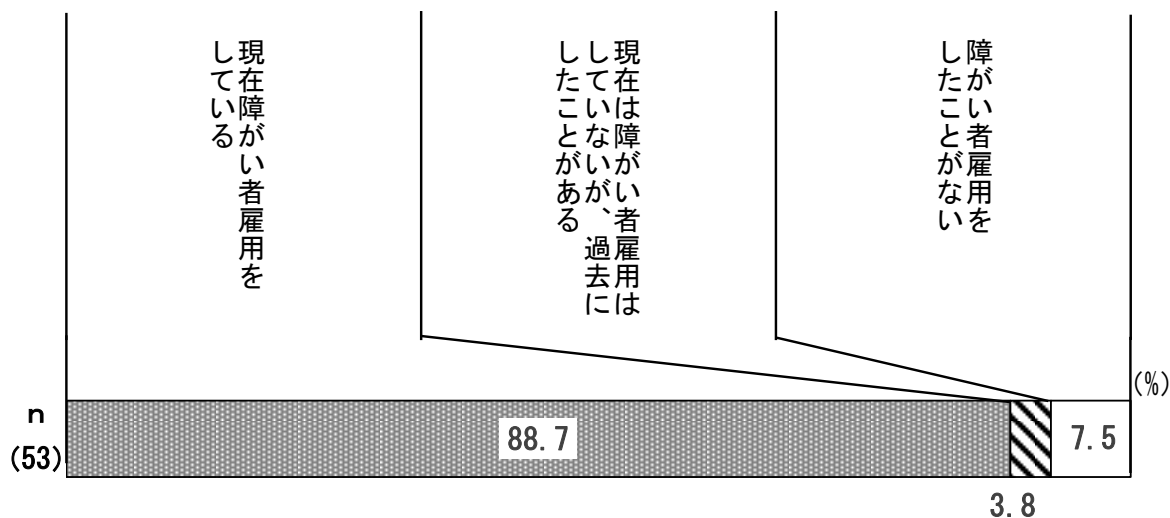
<<複数回答>>	n	医療・福祉	教育・学習支援	製造業	卸売・小売業	建設業	電気・ガス業	不動産業	飲食店・宿泊業	情報通信業	運輸業	金融・保険業	その他	無回答
全 体	53	43.4	17.0	11.3	11.3	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	18.9	1.9
100人以下	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
101人から299人	30	36.7	13.3	13.3	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.3	3.3
300人から499人	7	57.1	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
500人から999人	7	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
1,000人以上	4	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

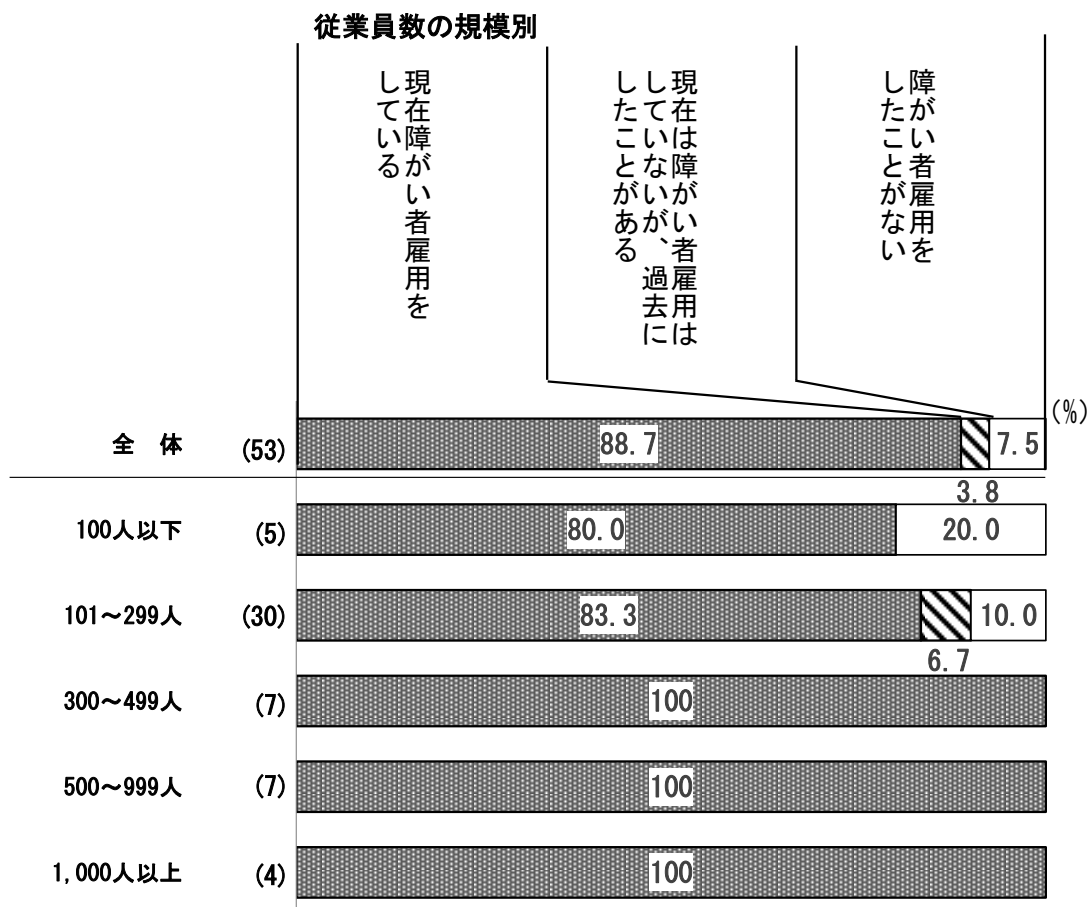
従業員数の規模別でみると、「医療・福祉」はいずれの従業員数でも多い結果となっている。

2. 障がい者雇用の有無について

問6 障がい者雇用の有無について教えてください。

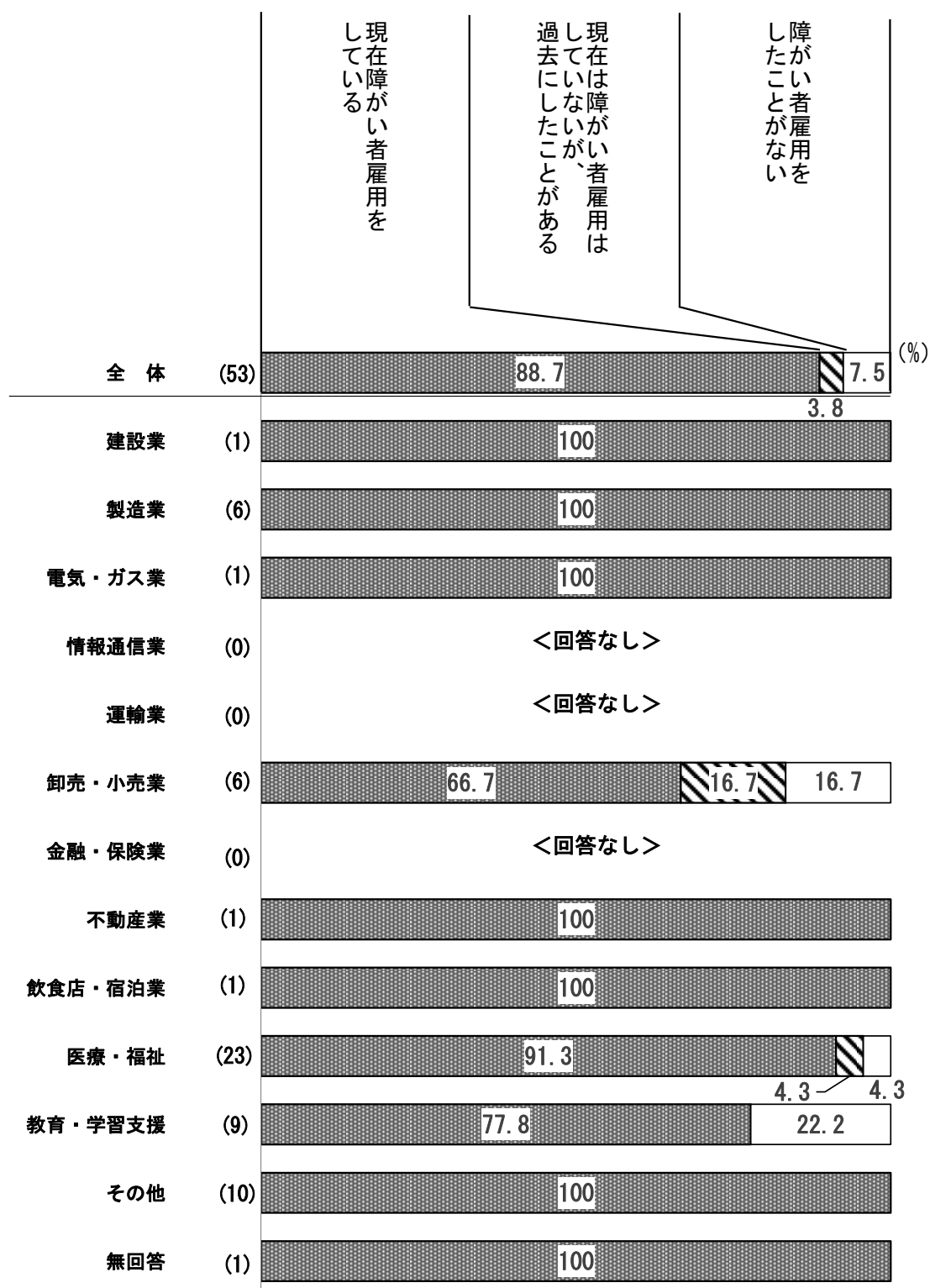


障がい者雇用の有無は、「現在障がい者雇用をしている」が88.7%、次いで「障がい者雇用をしたことがない」が7.5%となっている。



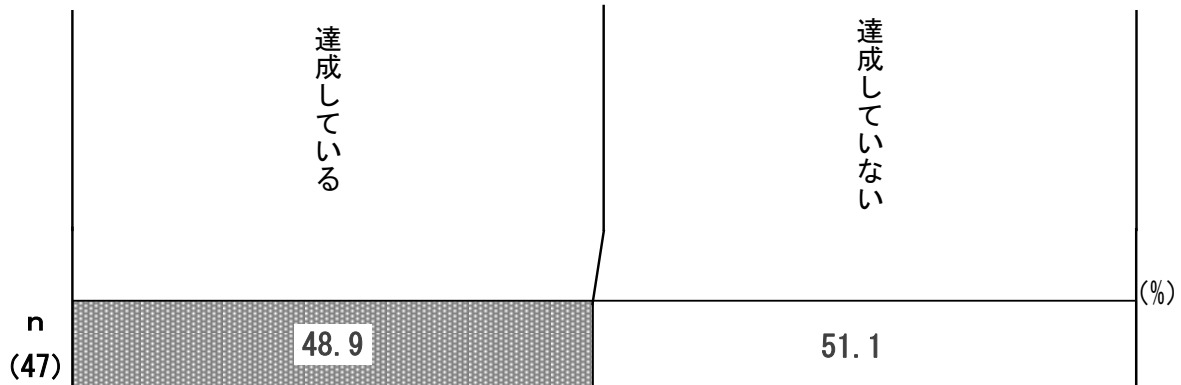
従業員数の規模別で見ると、いずれも「現在障がい者雇用をしている」が最も多い。「障がい者雇用をしたことがない」については、100人以下及び101~299人で回答が得られている。

業種別



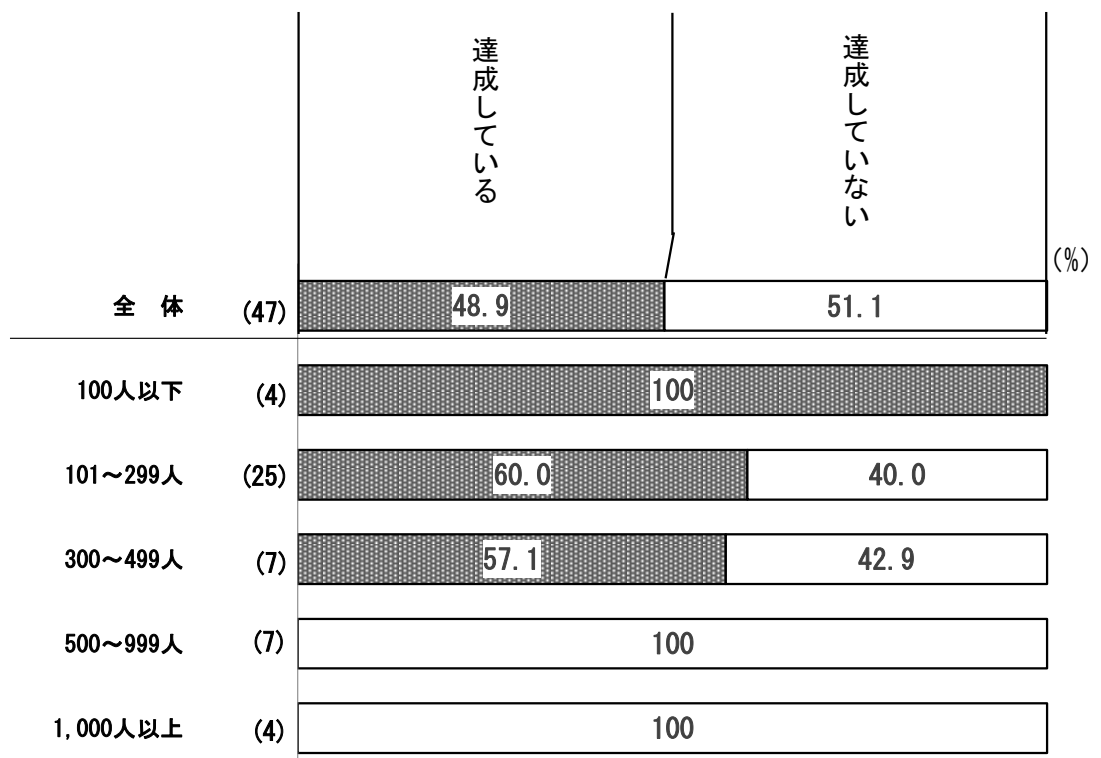
業種別でみると、回答なしを除き、いずれも「現在障がい者雇用をしている」が多い。「障がい者雇用をしたことがない」については、卸売・小売業、医療・福祉及び教育・学習支援で回答が得られている。

【問6で「現在障がい者雇用をしている」と回答した企業の方に】
 問6-1 法定雇用率の達成状況を教えてください。

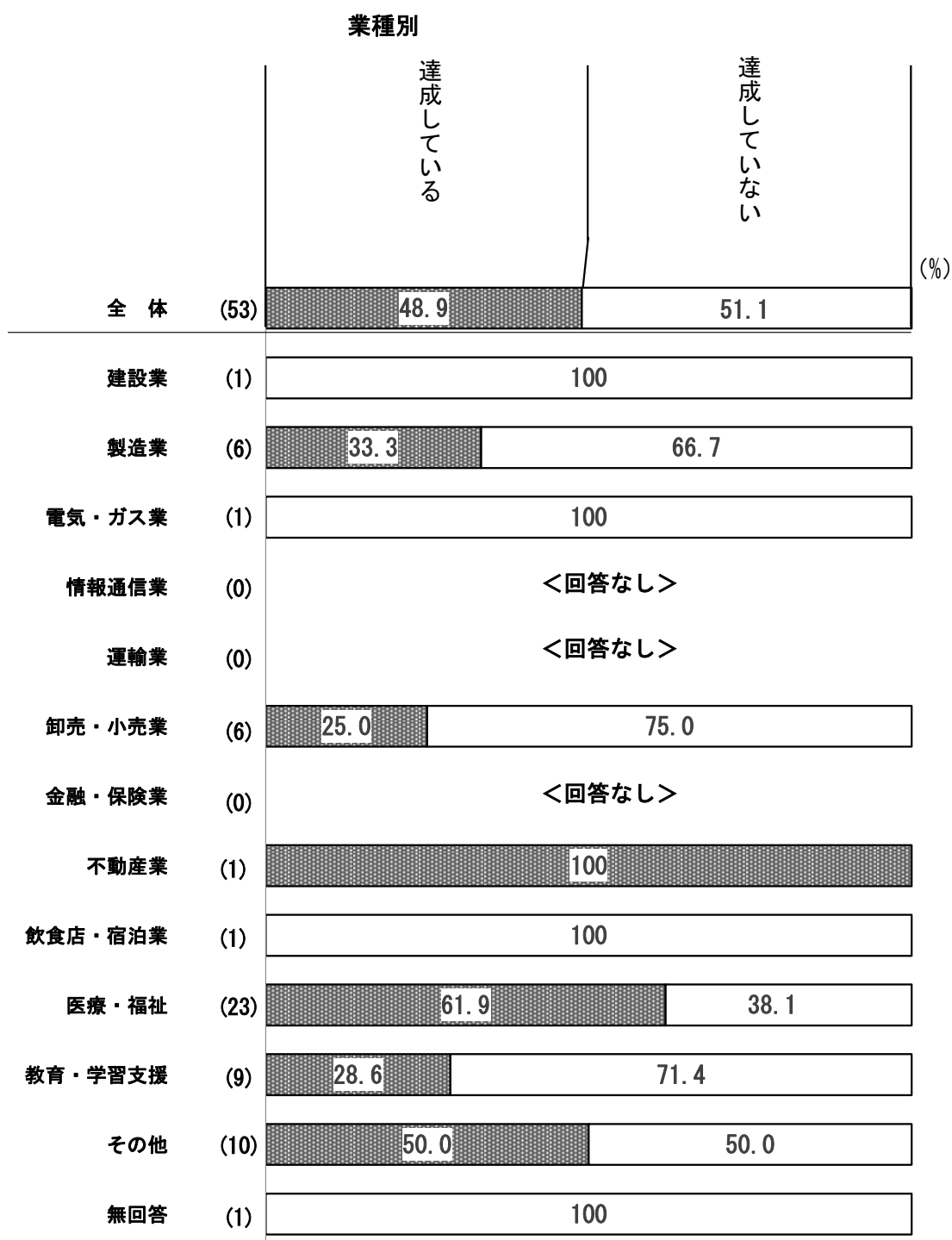


法定雇用率の達成状況は、「達成している」が48.9%、「達成していない」が51.1%となっている。

従業員数の規模別



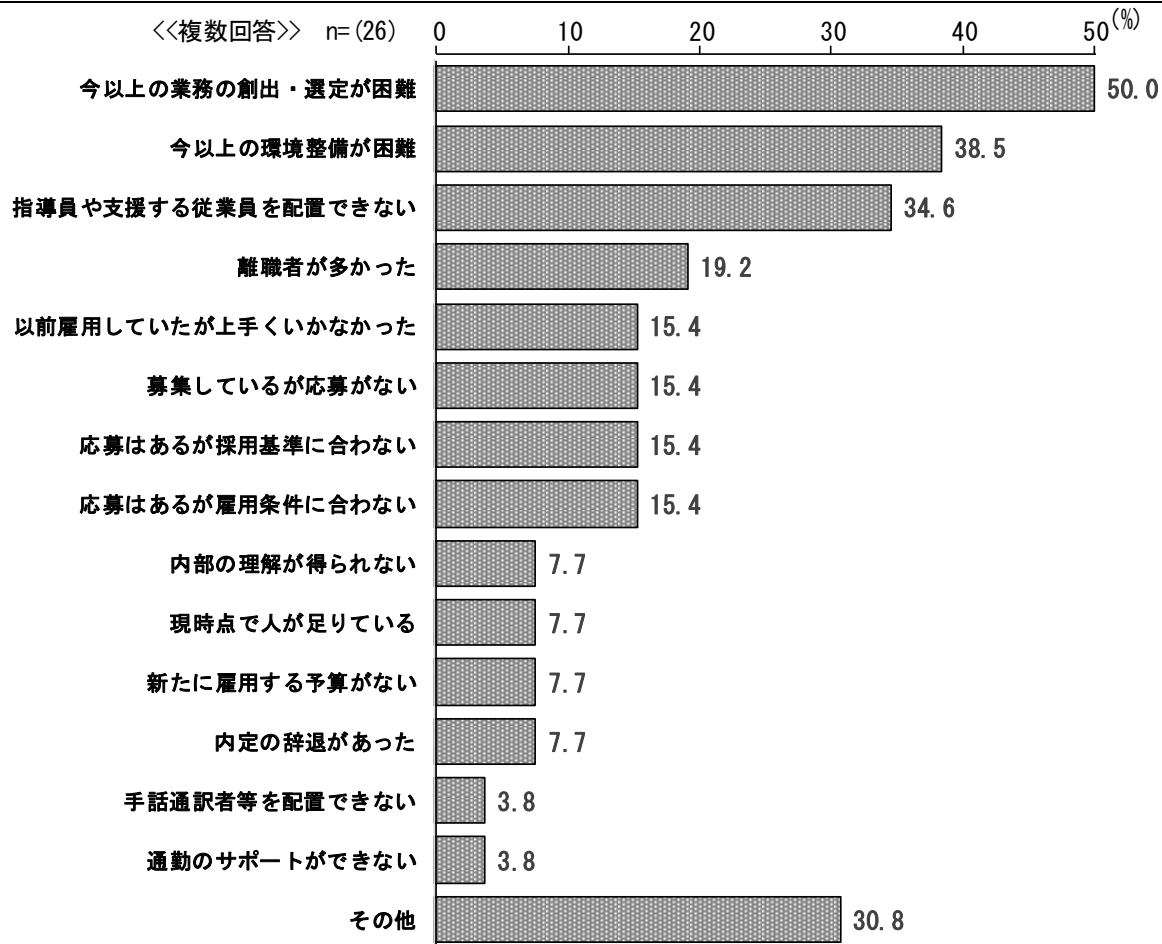
従業員数の規模別で見ると、「達成している」は100人以下が100%、次いで101人から299人(60.0%)及び300人から499人(57.1%)が六割前後となっている。一方で、「達成していない」は500人から999人及び1,000人以上がそれぞれ100%となっている。



業種別でみると、「達成している」は不動産業（100%）及び医療・福祉（61.9%）で過半数を超えている。それ以外の業種では、「達成していない」が過半数を超えている。

【問6で「現在は障がい者雇用はしていないが、過去にしたことがある」、問6-1で「達成していない」と回答した企業のみ】

問6-2 障がい者雇用をやめた理由、または、法定雇用率を達成していない理由は何ですか。(あてはまるものすべて☑)



「その他」の内容

体力面で難しいと思う、事業内容的に難しい一面もある、
 一般枠の専門職として応募したため、雇用していた人が障がい者ではなくなった、
 障害者雇用の方が退職してしまったので、新卒での入社が多い、
 欠員補充採用のため同じ業務を行えるか判断する必要があるから、
 雇用したものの出勤できなくなる方が散見

障がい者雇用をやめた理由、または、法定雇用率を達成していない理由は、「今以上の業務の創出・選定が困難」が50.0%、次いで「今以上の環境整備が困難」(38.5%)、「指導員や支援する従業員を配置できない」(34.6%)が三割台となっている。一方で、「手話通訳者等を配置できない」(3.8%)及び「通勤のサポートができない」(3.8%)の回答は少ない。

回答者別

(単位：%)

<<複数回答>>	n	が困難 今以上の業務の創出・選定	今以上の環境整備が困難	配置できない 指導員や支援する従業員を	離職者が多かった	以前雇用していたが上手 くいかなかった	募集していない が応募がない	応募はあるが採用基準に 合わない	応募はあるが雇用条件に 合わない	内部の理解が得られない	現時点で人が足りている	新たに雇用する予算がない	内定の辞退があった	ない 手話通訳者等を配置でき	通勤のサポートができない	その他	無回答
全体	26	50.0	38.5	34.6	19.2	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	3.8	3.8	30.8	0.0
人事管理	19	52.6	36.8	31.6	26.3	15.8	15.8	10.5	10.5	5.3	10.5	0.0	10.5	0.0	0.0	26.3	0.0
現場担当	1	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
代表者	1	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5	40.0	40.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

回答者別でみると、「今以上の業務の創出・選定が困難」は人事管理で52.6%、現場担当で100%となっている。代表者では、「指導員や支援する従業員を配置できない」、「応募はあるが採用基準に合わない」、「応募はあるが雇用条件に合わない」及び「内部の理解が得られない」の回答が得られた。

従業員数の規模別

(単位：%)

<<複数回答>>	n	が困難 今以上の業務の創出・選定	今以上の環境整備が困難	配置できない 指導員や支援する従業員を	離職者が多かった	以前雇用していたが上手 くいかなかった	募集していない が応募がない	応募はあるが採用基準に 合わない	応募はあるが雇用条件に 合わない	内部の理解が得られない	現時点で人が足りている	新たに雇用する予算がない	内定の辞退があった	ない 手話通訳者等を配置でき	通勤のサポートができない	その他	無回答
全体	26	50.0	38.5	34.6	19.2	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	3.8	3.8	30.8	0.0
100人以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
101人から299人	12	33.3	33.3	33.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
300人から499人	3	66.7	66.7	100	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
500人から999人	7	85.7	42.9	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
1,000人以上	4	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

従業員数の規模別でみると、「今以上の業務の創出・選定が困難」は101人から299人（33.3%）及び500人から999人（85.7%）で最も多い。「指導員や支援する従業員を配置できない」は101人から299人（33.3%）及び300人から499人（100%）で最も多い。1,000人以上については、「募集していないが応募がない」、「応募はあるが採用基準に合わない」、「内定の辞退があった」などが最も多い。

業種別

(単位：%)

<<複数回答>>	n	が困難 今以上の業務の創出・選定	今以上の環境整備が困難	配置できない 指導員や支援する従業員を	離職者が多かった	以前雇用していたが上手 くいかなかった	募集しているが応募が ない	合わない 応募はあるが採用基準に	合わない 応募はあるが雇用条件に	内部の理解が得られない	現時点で人が足りている	新たに雇用する予算がない	内定の辞退があった	ない 手話通訳者等を配置でき	通勤のサポートができない	その他	無回答
全 体	26	50.0	38.5	34.6	19.2	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	3.8	3.8	30.8	0.0
建設業	1	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	4	50.0	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
電気・ガス業	1	100	100	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飲食店・宿泊業	1	100	0.0	100	0.0	100	100	100	100	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	9	44.4	44.4	44.4	44.4	33.3	22.2	33.3	33.3	22.2	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	0.0
教育・学習支援	5	80.0	20.0	40.0	20.0	20.0	60.0	60.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
その他	5	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
無回答	1	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「今以上の業務の創出・選定が困難」は建設業を除きいずれの業種（回答なしを除く）においても最も多い。「指導員や支援する従業員を配置できない」は建設業、電気・ガス業及び飲食店・宿泊業で100%、製造業で50.0%、医療・福祉で44.4%となっている。

【問6-2で「以前雇用していたが上手くいかなかった」と回答した企業の方に】
問6-3 その理由は何ですか。

<回答数4件>

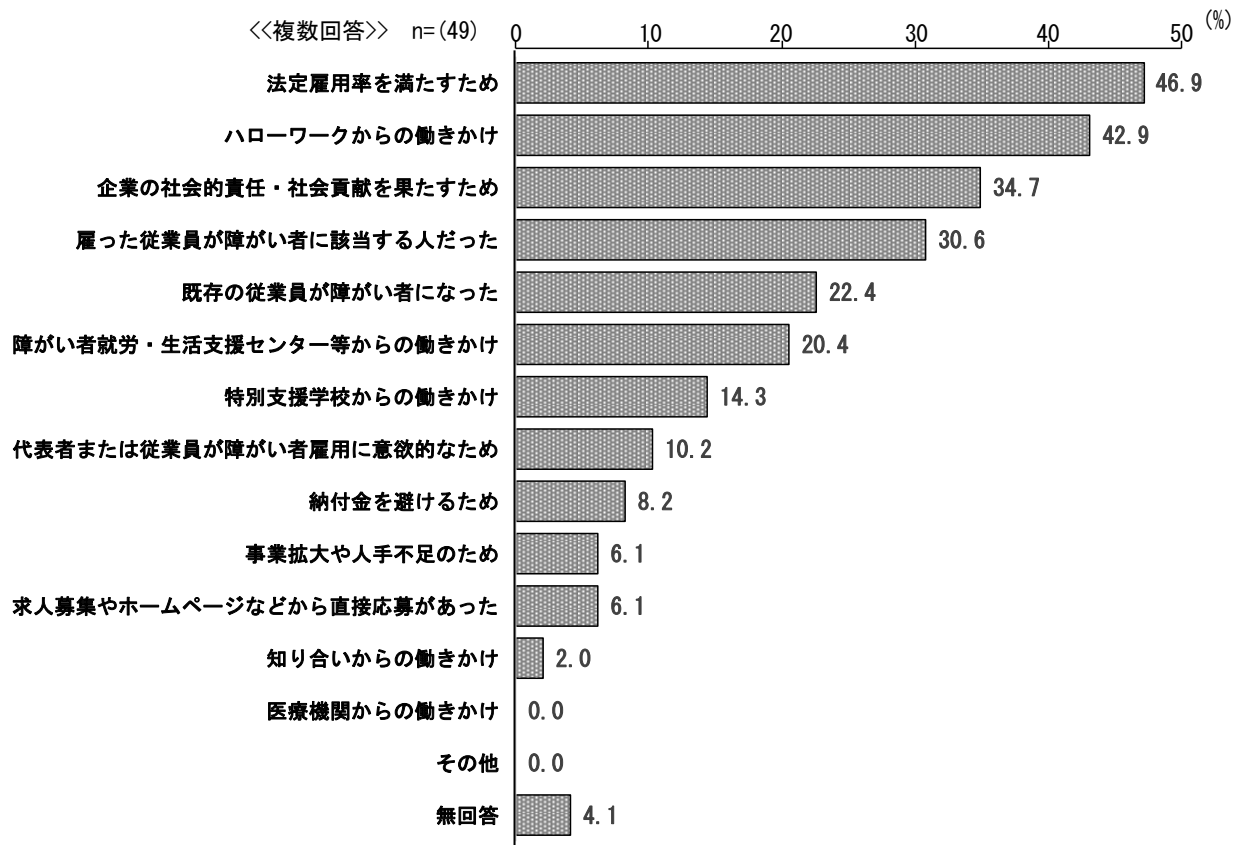
- ・一般枠で入職し自己都合による退職をしたため
- ・本人がこだわりが強く、被害妄想と体調不良があり、改善は試みたが業務ができず退職に至った
- ・業務のミスマッチ
- ・勤務時間が夜間、運転業務の集中率

3. 障がい者雇用をしている企業について

(1) 雇用のきっかけ

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問7 障がい者雇用を始めた主な経緯・きっかけを教えてください。(あてはまるものすべて
☑)



障がい者雇用を始めた主な経緯・きっかけは、「法定雇用率を満たすため」が46.9%、次いで「ハローワークからの働きかけ」が42.9%となっている。一方で、「知り合いからの働きかけ」の回答は2.0%と少なく、「医療機関からの働きかけ」については回答なしの結果となった。

従業員数の規模別

(単位：%)

<<複数回答>>	n	法定雇用率を満たすため	ハローワークからの働きかけ	企業の社会的責任・社会貢献を果たすため	雇った従業員が障がい者に該当する人だった	雇った従業員が障がい者にならなかった	既存の従業員が障がい者になった	障がい者就労・生活支援センター等からの働きかけ	特別支援学校からの働きかけ	障がい者雇用により意欲的なため	代表者または従業員が障がい者雇用を避けるため	納付金を避けるため	事業拡大や人手不足のため	求人募集やホームページなどから直接応募があった	知り合いからの働きかけ	医療機関からの働きかけ	その他	無回答
全体	49	46.9	42.9	34.7	30.6	22.4	20.4	14.3	10.2	8.2	6.1	6.1	2.0	0.0	0.0	0.0	4.1	
100人以下	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
101人から299人	27	44.4	33.3	25.9	33.3	25.9	18.5	22.2	11.1	0.0	11.1	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7	
300人から499人	7	71.4	57.1	71.4	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	
500人から999人	7	42.9	57.1	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1,000人以上	4	75.0	50.0	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

従業員数の規模別でみると、「法定雇用率を満たすため」は101人から299人（44.4%）、300人から499人（71.4%）及び1,000人以上（75.0%）で最も多い。「ハローワークからの働きかけ」は100人以下（50.0%）及び500人から999人（57.1%）で最も多い。

法定雇用率の達成状況別

(単位：%)

<<複数回答>>	n	法定雇用率を満たすため	ハローワークからの働きかけ	企業の社会的責任・社会貢献を果たすため	雇った従業員が障がい者に該当する人だった	雇った従業員が障がい者にならなかった	既存の従業員が障がい者になった	障がい者就労・生活支援センター等からの働きかけ	特別支援学校からの働きかけ	障がい者雇用により意欲的なため	代表者または従業員が障がい者雇用を避けるため	納付金を避けるため	事業拡大や人手不足のため	求人募集やホームページなどから直接応募があった	知り合いからの働きかけ	医療機関からの働きかけ	その他	無回答
全体	47	48.9	44.7	36.2	29.8	23.4	21.3	14.9	10.6	8.5	6.4	6.4	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	
達成している	23	52.2	34.8	47.8	30.4	26.1	17.4	17.4	13.0	0.0	13.0	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	
達成していない	24	45.8	54.2	25.0	29.2	20.8	25.0	12.5	8.3	16.7	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

法定雇用率の達成状況別でみると、達成している企業では「法定雇用率を満たすため」（52.2%）が最も多い。一方で、達成していない企業では「ハローワークからの働きかけ」（54.2%）が最も多い。

業種別

(単位：%)

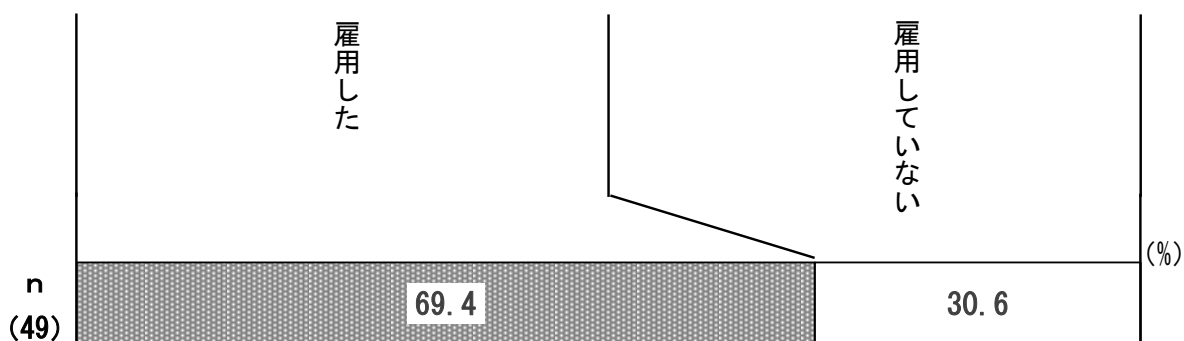
<<複数回答>>	n	法定雇用率を満たすため	ハローワークからの働きかけ	企業の社会的責任・社会貢献を果たすため	雇った従業員が障がい者に該当する人だった	既存の従業員が障がい者になった	障がい者就労・生活支援センター等からの働きかけ	特別支援学校からの働きかけ	障がい者雇用に意欲的なため	代表者または従業員が納付金を避けるため	事業拡大や人手不足のため	求人募集やホームページなどから直接応募があった	知り合いからの働きかけ	医療機関からの働きかけ	その他	無回答
全 体	49	46.9	42.9	34.7	30.6	22.4	20.4	14.3	10.2	8.2	6.1	6.1	2.0	0.0	0.0	4.1
建設業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	6	66.7	16.7	33.3	33.3	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
電気・ガス業	1	100	100	100	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	5	40.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	1	100	100	100	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飲食店・宿泊業	1	100	100	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	22	40.9	45.5	45.5	36.4	22.7	22.7	22.7	13.6	4.5	13.6	9.1	4.5	0.0	0.0	9.1
教育・学習支援	7	42.9	42.9	42.9	57.1	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10	30.0	20.0	20.0	30.0	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0
無回答	1	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「法定雇用率を満たすため」は電気・ガス業、不動産業及び飲食店・宿泊業で100%、製造業で66.7%、その他で30%となっている。「ハローワークからの働きかけ」は電気・ガス業、不動産業及び飲食店・宿泊業で100%、卸売・小売業で80%、医療・福祉で45.5%となっている。

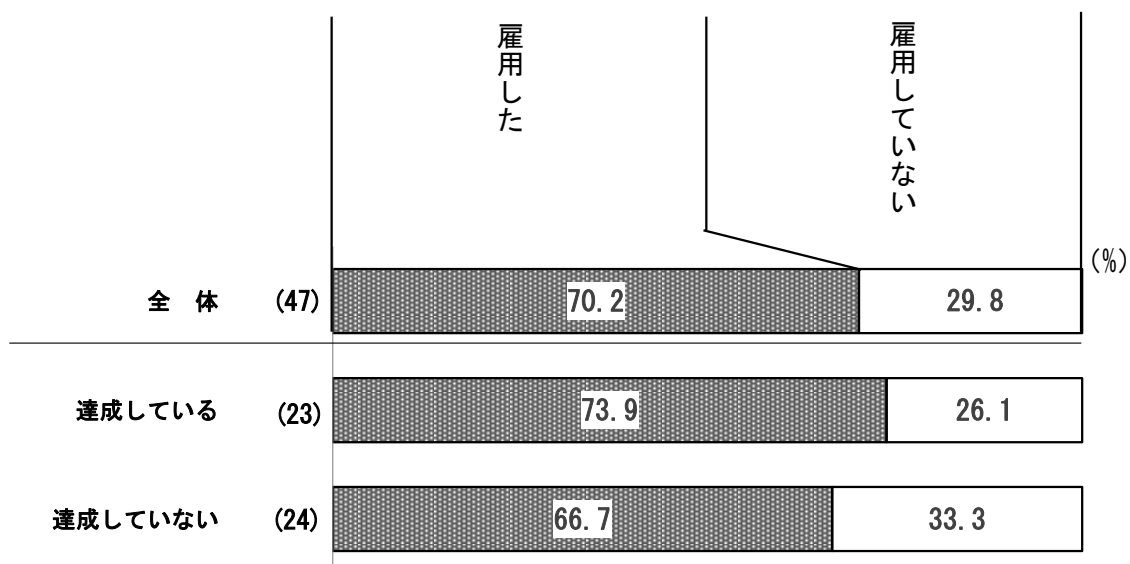
(2) 過去3年間の雇用実績

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】
 問8 過去3年間で障がい者雇用をしましたか。



過去3年間の雇用実績は、「雇用了」(69.4%)が「雇用していない」(30.6%)を上回っている。

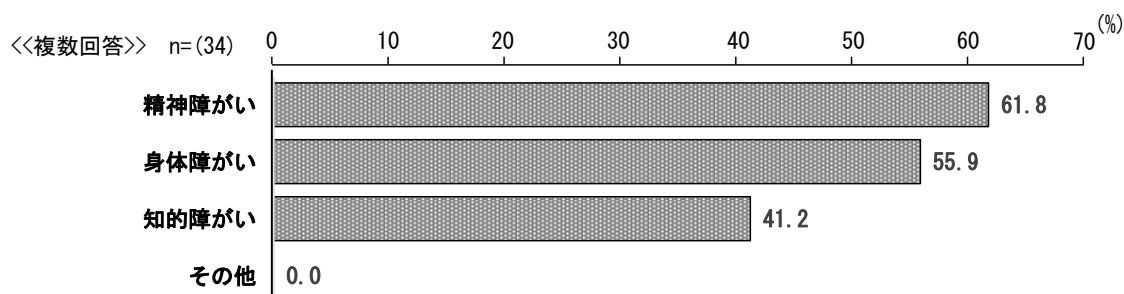
法定雇用率の達成状況別



法定雇用率の達成状況別で見ると、いずれも「雇用了」の割合が多い。

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問8-1 過去3年間で雇用したことがある従業員の障がい種別を教えてください。(あてはまるものすべて☑)



過去3年間で雇用したことがある従業員の障がい種別は、「精神障がい」が61.8%、次いで「身体障がい」が55.9%、「知的障がい」が41.2%となっている。

従業員数の規模別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	精神障がい	身体障がい	知的障がい	その他
全体	34	61.8	55.9	41.2	0.0
100人以下	2	0.0	100	50.0	0.0
101人から299人	17	47.1	58.8	41.2	0.0
300人から499人	5	61.8	55.9	41.2	0.0
500人から999人	6	0.0	100	50.0	0.0
1,000人以上	4	100	100	75.0	0.0

※網掛けは最も多いもの(無回答は除く)

従業員数の規模別で見ると、「精神障がい」は300人から499人(61.8%)及び1,000人以上(100%)で最も多い。「身体障がい」は300人から499人を除きいずれの規模においても最も多い。

業種別

(単位:%)

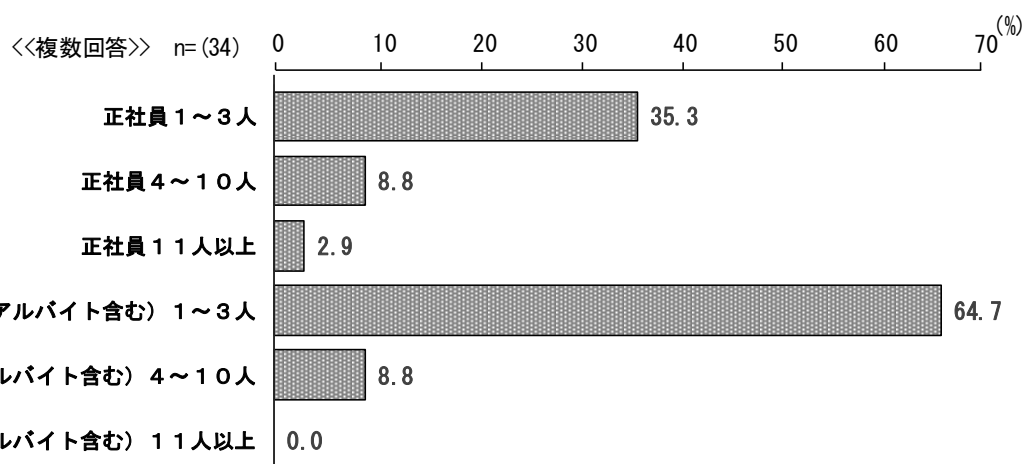
<<複数回答>>	n	精神障がい	身体障がい	知的障がい	その他
全 体	34	61.8	55.9	41.2	0.0
建設業	0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	3	100	0.0	33.3	0.0
電気・ガス業	1	100	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	4	100	50.0	50.0	0.0
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	1	100	0.0	0.0	0.0
飲食店・宿泊業	1	100	0.0	100	0.0
医療・福祉	16	56.3	62.5	56.3	0.0
教育・学習支援	5	60.0	80.0	40.0	0.0
その他	7	42.9	71.4	42.9	0.0
無回答	1	100	0.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「精神障がい」は製造業、電気・ガス業、卸売・小売業、不動産業及び飲食店・宿泊業で100%となっている。「身体障がい」は医療・福祉で62.5%、教育・学習支援で80.0%、その他で71.4%となっている。「知的障がい」は飲食店・宿泊業で100%となっている。

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問 8 - 2 過去 3 年間で雇用した障がいがある従業員について、雇用形態ごとの人数を教えてください。(あてはまるものすべて☑)



過去 3 年間で雇用した障がいがある従業員は、「非正規社員 (アルバイト含む) 1~3人」が 64.7%と突出している。次いで、「正社員 1~3人」が 35.3%となっている。一方で、「正社員 11人以上」(2.9%) の回答は少なく、「非正規社員 (アルバイト含む) 11人以上」については回答なしの結果となった。

従業員数の規模別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	正社員 1~3人	正社員 4~10人	正社員 11人以上	非正規社員 (アルバイト 含む) 1~3人	非正規社員 (アルバイト 含む) 4~10人	非正規社員 (アルバイト 含む) 11人以上	無回答
全 体	34	35.3	8.8	2.9	64.7	8.8	0.0	0.0
100 人以下	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
101 人から 299 人	17	41.2	5.9	0.0	64.7	5.9	0.0	0.0
300 人から 499 人	5	60.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0
500 人から 999 人	6	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
1,000 人以上	4	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの(無回答は除く)

従業員数の規模別で見ると、「非正規社員 (アルバイト含む) 1~3人」は 1,000 人以上を除きいずれの規模においても最も多い。1,000 人以上については、「正社員 4~10人」(50.0%) が最も多い。

業種別

(単位:%)

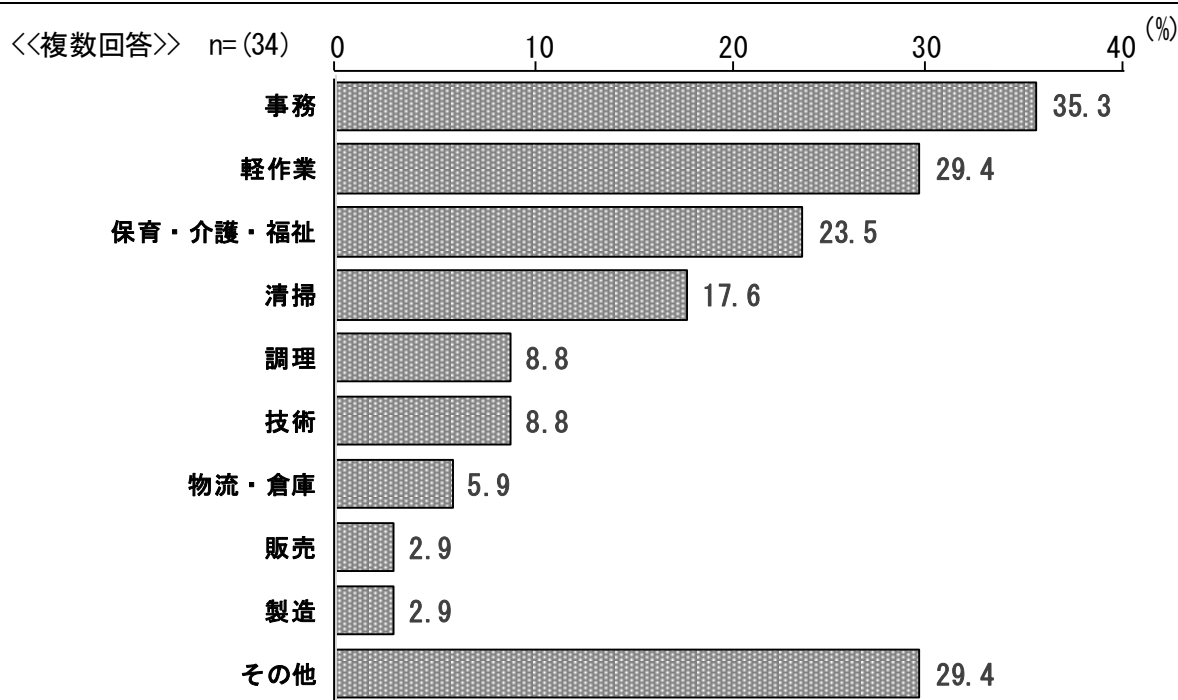
<<複数回答>>	n	正社員 1～3人	正社員 4～10人	正社員 11人以上	非正規社員 (アルバイト 含む) 1～3人	非正規社員 (アルバイト 含む) 4～10人	非正規社員 (アルバイト 含む) 11人以上	無回答
全 体	34	35.3	8.8	2.9	64.7	8.8	0.0	0.0
建設業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
電気・ガス業	1	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	4	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	1	100	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
飲食店・宿泊業	1	100	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	16	43.8	12.5	6.3	62.5	6.3	0.0	0.0
教育・学習支援	5	20.0	40.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0
その他	7	28.6	14.3	0.0	57.1	14.3	0.0	0.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「非正規社員（アルバイト含む）1～3人」は電気・ガス業を除きいずれの業種（回答なしを除く）においても最も多い。

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問8-3 過去3年間で雇用した障がいがある従業員の業務内容を教えてください。(あてはまるものすべて☑)



「その他」の内容

ドライバー (4件)、介護、看護師、営業、食器洗浄・厨房内清掃等、電子部品組立・検査、集配、教諭

過去3年間で雇用した障がいがある従業員の業務内容は、「事務」が35.3%、次いで「軽作業」が29.4%となっている。一方で、「販売」及び「製造」がそれぞれ2.9%と少ない。

障がい種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	障がい種別										無回答
		事務	軽作業	保育・介護・福祉	清掃	調理	技術	物流・倉庫	販売	製造	その他	
全体	34	35.3	29.4	23.5	17.6	8.8	8.8	5.9	2.9	2.9	29.4	0.0
身体障がい	19	36.8	31.6	26.3	15.8	10.5	15.8	0.0	5.3	0.0	42.1	0.0
知的障がい	14	42.9	50.0	42.9	21.4	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0
精神障がい	21	42.9	38.1	19.0	14.3	4.8	4.8	9.5	4.8	4.8	28.6	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの(無回答は除く)

障がい種別でみると、「事務」はおおむねどの障がい種別でも多い。知的障がいは、「軽作業」(50.0%)が最も多い。

業種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	事務	軽作業	保育・介護・福祉	清掃	調理	技術	物流・倉庫	販売	製造	その他	無回答
全 体	34	35.3	29.4	23.5	17.6	8.8	8.8	5.9	2.9	2.9	29.4	0.0
建設業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
電気・ガス業	1	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	4	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	1	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飲食店・宿泊業	1	0.0	0.0	100	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	16	31.3	37.5	50.0	25.0	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
教育・学習支援	5	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
その他	7	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0
無回答	1	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

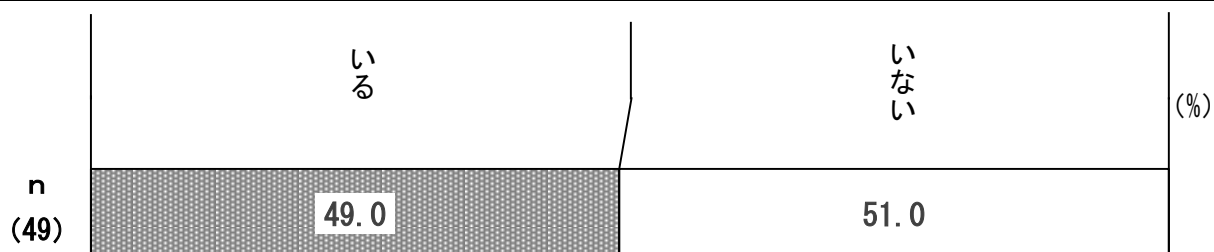
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「事務」は電気・ガス業及び不動産業で100%、教育・学習支援で40.0%、製造業で33.3%となっている。

(3) 過去3年間の退職実績

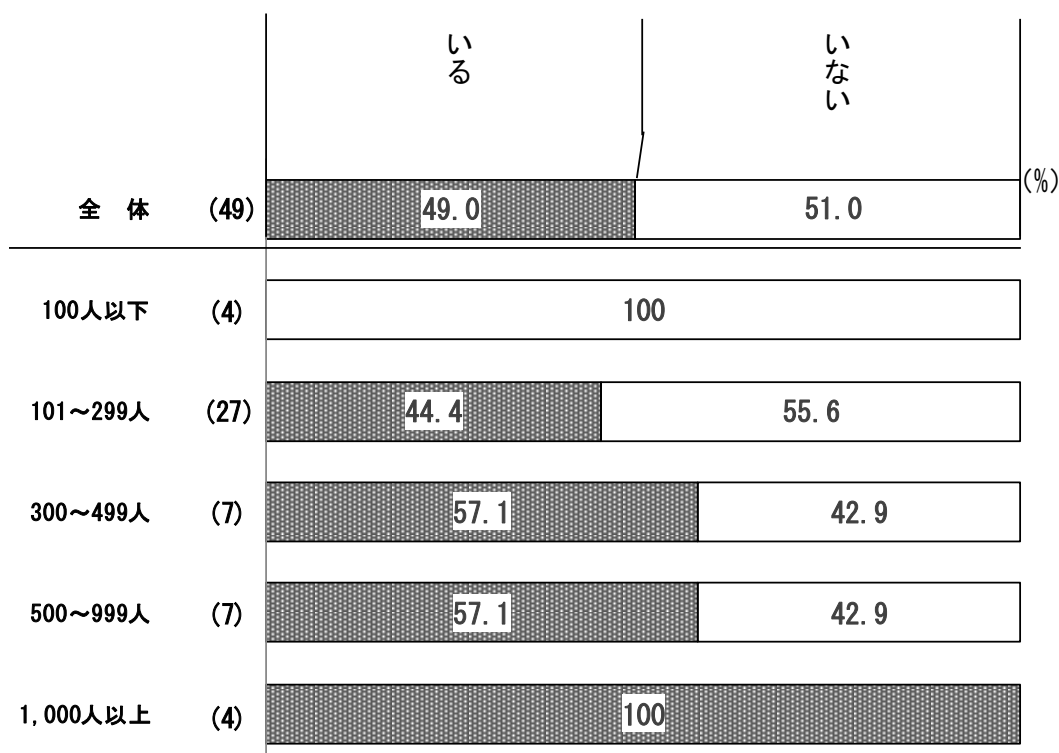
【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問9 過去3年間で退職した障がい者の方はいますか。

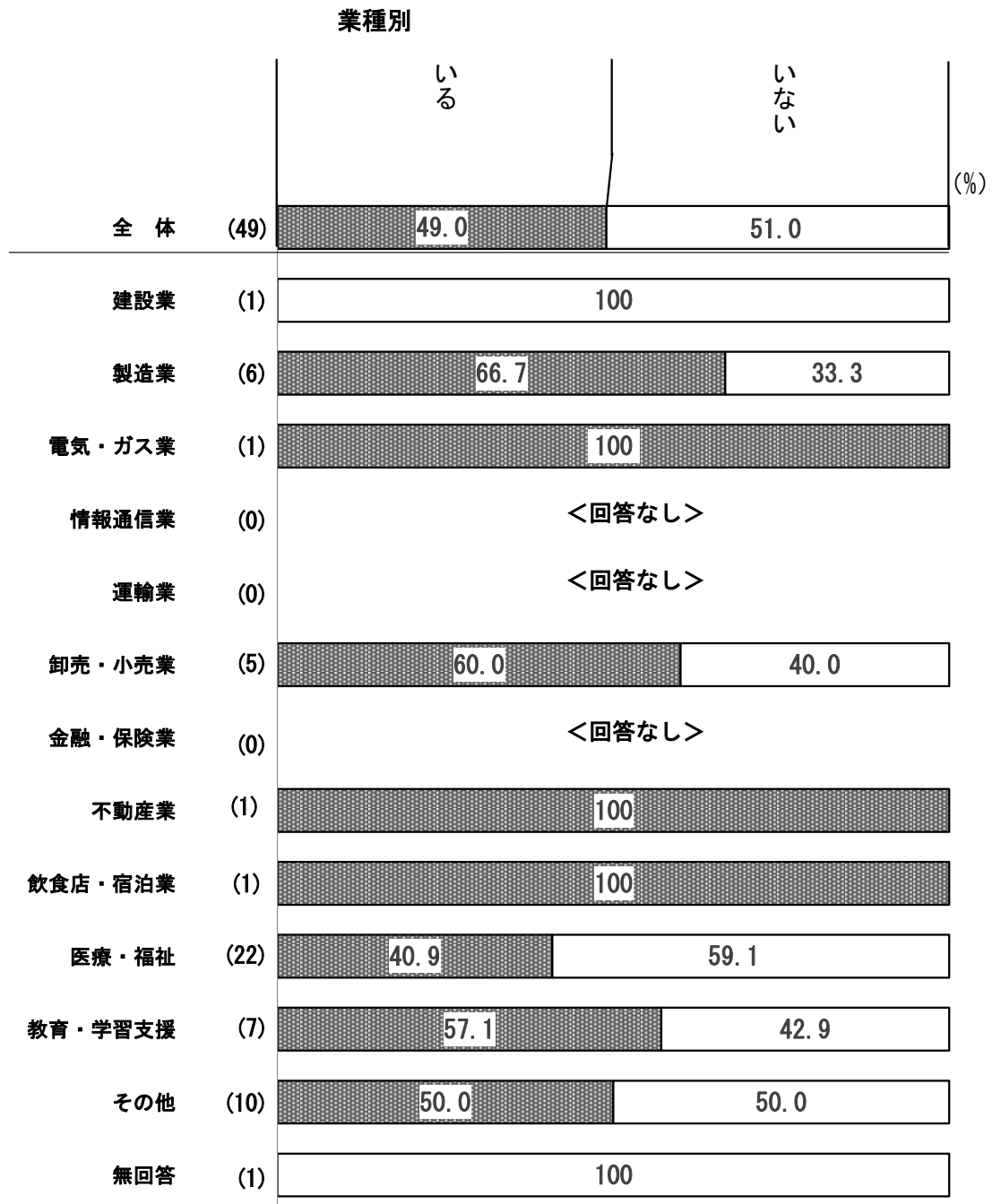


過去3年間で退職した障がい者の有無は、「いない」(51.0%)が「いる」(49.0%)を僅差で上回っている。

従業員数の規模別

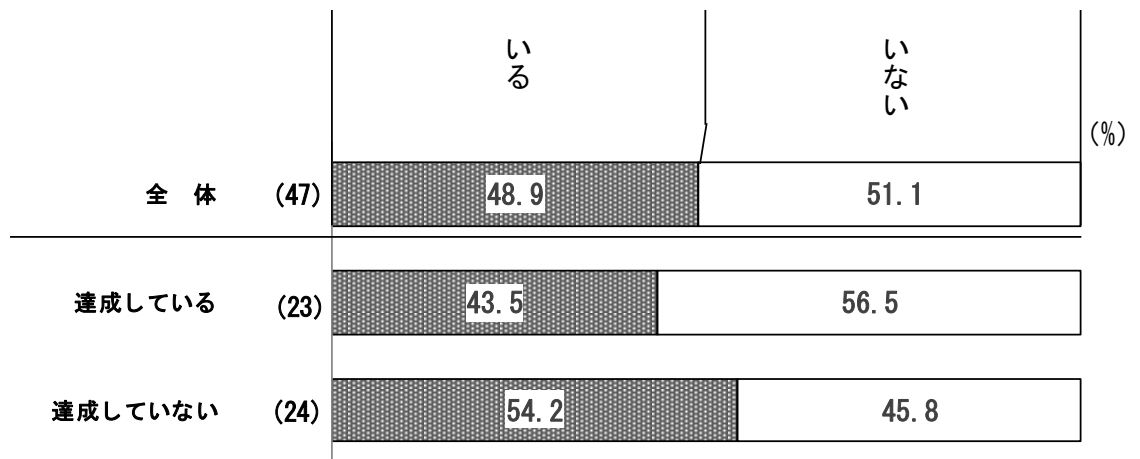


従業員数の規模別で見ると、「いる」は1,000人以上が100%、次いで300人から499人(57.1%)及び500人から999人(57.1%)が五割後半台となっている。一方で、「いない」は100人以下が100%、101人から299人が55.6%となっている。



業種別で見ると、「いる」は電気・ガス業、不動産業及び飲食店・宿泊業でそれぞれ100%、次いで製造業（66.7%）、卸売・小売業（60.0%）及び教育・学習支援（57.1%）が六割前後となっている。「いない」は建設業で100%、次いで医療・福祉（59.1%）が五割後半台となっている。

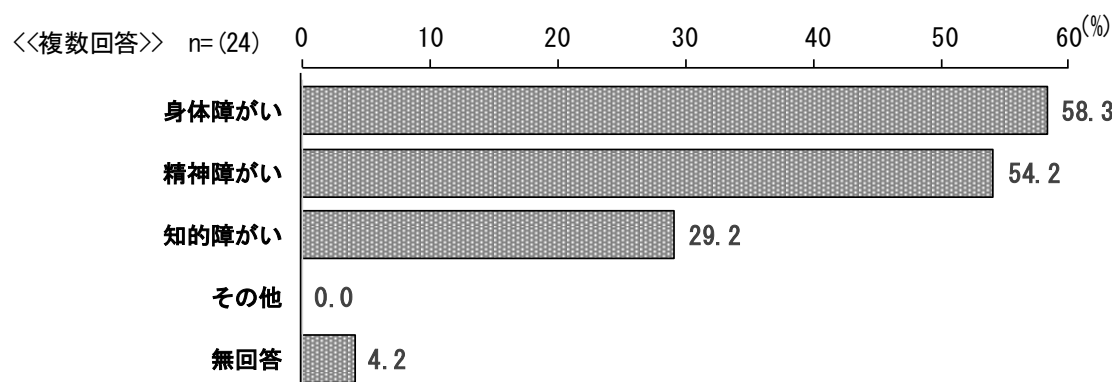
法定雇用率の達成状況別



法定雇用率の達成状況別でみると、達成している企業では「いる」が43.5%、「いない」が56.5%で、「いない」の割合が高くなっている。一方で、達成していない企業では「いる」が54.2%で、「いない」の45.8%を上回っている。

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問9-1 過去3年間で退職した従業員の障がい種別を教えてください。(あてはまるものすべて☑)



過去3年間で退職した従業員の障がい種別は、「身体障がい」が58.3%、次いで「精神障がい」が54.2%、「知的障がい」が29.2%となっている。

従業員数の規模別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	身体障がい	精神障がい	知的障がい	その他	無回答
全体	24	58.3	54.2	29.2	0.0	4.2
100人以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
101人から299人	12	75.0	50.0	33.3	0.0	0.0
300人から499人	4	0.0	50.0	50.0	0.0	25.0
500人から999人	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
1,000人以上	4	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

従業員数の規模別で見ると、「身体障がい」は101人から299人(75.0%)、500人から999人(50.0%)及び1,000人以上(75.0%)で最も多い。「精神障がい」は300人から499人(50.0%)、500人から999人(50.0%)及び1,000人以上(75.0%)で最も多い。「知的障がい」は300人から499人(50.0%)で最も多い。

業種別

(単位:%)

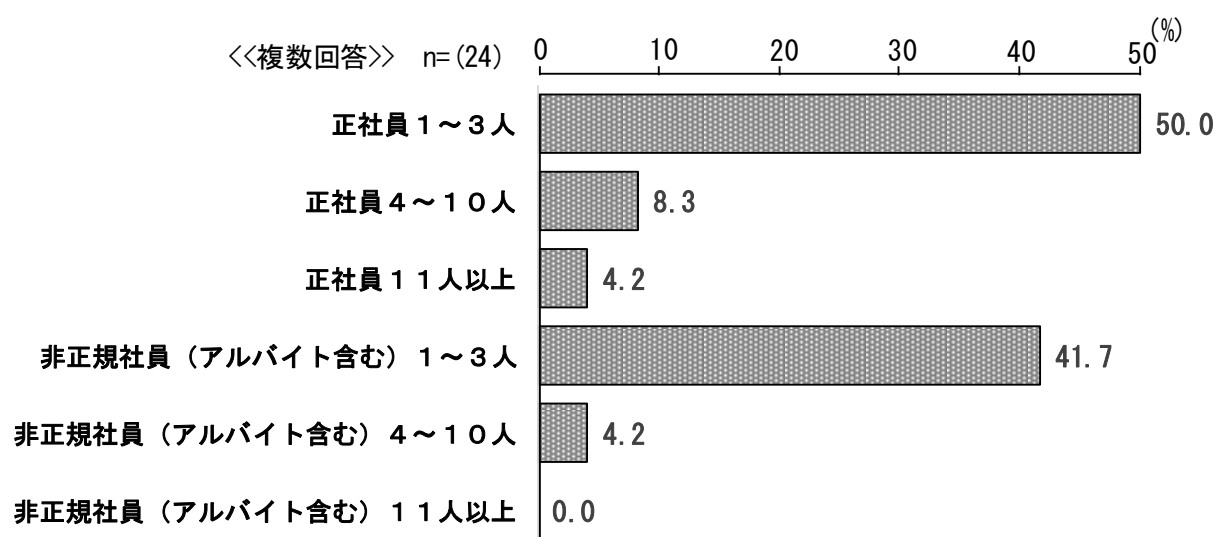
<<複数回答>>	n	身体障がい	精神障がい	知的障がい	その他	無回答
全 体	24	58.3	54.2	29.2	0.0	4.2
建設業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	4	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0
電気・ガス業	1	0.0	100	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100
飲食店・宿泊業	1	0.0	100	100	0.0	0.0
医療・福祉	9	55.6	55.6	44.4	0.0	0.0
教育・学習支援	4	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0
その他	5	100	60.0	40.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「身体障がい」は製造業及び教育・学習支援で75.0%、医療・福祉で55.6%となっている。「知的障がい」は飲食店・宿泊業で100%、「精神障がい」は電気・ガス業及び飲食店・宿泊業で100%、製造業で75.0%、卸売・小売業で66.7%、医療・福祉で55.6%となっている。

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問9-2 過去3年間で退職した障がいがある従業員について、雇用形態ごとの人数を教えてください。(あてはまるものすべて☑)



過去3年間で退職した障がいがある従業員は、「正社員 1~3人」が50.0%、次いで「非正規社員 (アルバイト含む) 1~3人」が41.7%となっている。一方で、「正社員 11人以上」及び「非正規社員 (アルバイト含む) 4~10人」はそれぞれ4.2%と少なく、「非正規社員 (アルバイト含む) 11人以上」については回答なしの結果となった。

従業員数の規模別

<<複数回答>>	n	正社員 1~3人	正社員 4~10人	正社員 11人以上	非正規社員 (アルバイト 含む) 1~3人	非正規社員 (アルバイト 含む) 4~10人	非正規社員 (アルバイト 含む) 11人以上	無回答
全 体	24	50.0	8.3	4.2	41.7	4.2	0.0	0.0
100人以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
101人から299人	12	58.3	0.0	0.0	41.7	0.0	0.0	0.0
300人から499人	4	50.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
500人から999人	4	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
1,000人以上	4	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

従業員数の規模別でみると、「正社員 1~3人」は1,000人以上を除きおおむねどの規模（回答なしを除く）においても多い。

業種別

(単位:%)

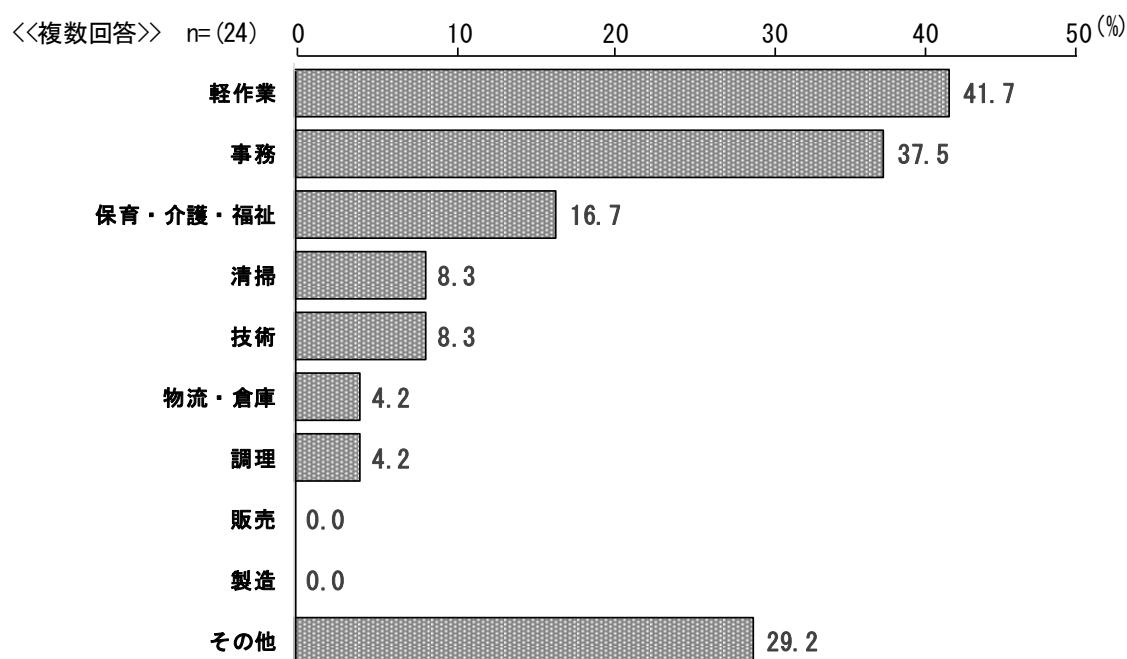
<<複数回答>>	n	正社員 1～3人	正社員 4～10人	正社員 11人以上	非正規社員 (アルバイト 含む) 1～3人	非正規社員 (アルバイト 含む) 4～10人	非正規社員 (アルバイト 含む) 11人以上	無回答
全 体	24	50.0	8.3	4.2	41.7	4.2	0.0	0.0
建設業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	4	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
電気・ガス業	1	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	1	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
飲食店・宿泊業	1	100	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	9	55.6	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0
教育・学習支援	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
その他	5	40.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「正社員1～3人」は卸売・小売業及び不動産業を除きいずれの業種（回答なしを除く）においても最も多い。「非正規社員（アルバイト含む）1～3人」は不動産業及び飲食店・宿泊業で100%、卸売・小売業で66.7%、製造業で50.0%となっている。

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問9-3 過去3年間で退職した障がいがある従業員の業務内容を教えてください。(あてはまるものすべて☑)



「その他」の内容

介護、看護師、研究・教育（2件）、電子部品の組立・検査、集配、教諭、臨床検査技師

過去3年間で退職した障がいがある従業員の業務は、「軽作業」が41.7%、次いで「事務」が37.5%となっている。一方で、「物流・倉庫」及び「調理」がそれぞれ4.2%と少なく、「販売」及び「製造」については回答なしの結果となった。

障がい種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	軽作業	事務	保育・介護・福祉	清掃	技術	物流・倉庫	調理	販売	製造	その他	無回答
全体	24	41.7	37.5	16.7	8.3	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	29.2	0.0
身体障がい	14	35.7	42.9	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
知的障がい	7	57.1	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0
精神障がい	13	46.2	46.2	15.4	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	30.8	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

障がい種別でみると、「軽作業」は知的障がい（57.1%）及び精神障がい（46.2%）で最も多い。身体障がいは「事務」（42.9%）及び「その他」（42.9%）が最も多い。

業種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	軽作業	事務	保育・介護・福祉	清掃	技術	物流・倉庫	調理	販売	製造	その他	無回答
全 体	24	41.7	37.5	16.7	8.3	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	29.2	0.0
建設業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	4	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
電気・ガス業	1	100	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	1	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飲食店・宿泊業	1	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	9	55.6	33.3	44.4	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0
教育・学習支援	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0
その他	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0

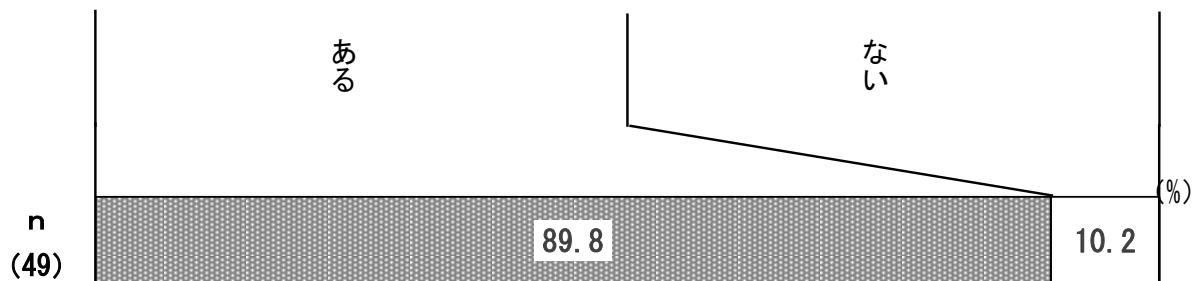
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「軽作業」は電気・ガス業で100%、卸売・小売業で66.7%、医療・福祉で55.6%となっている。「事務」は不動産業で100%となっている。

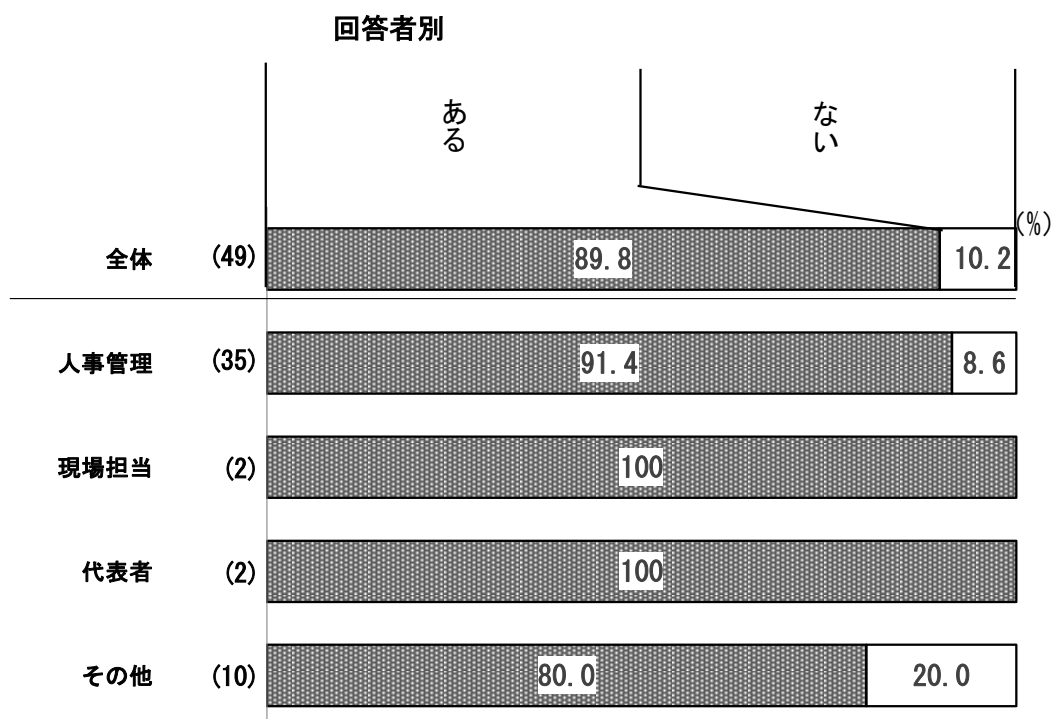
(4) 配慮事項

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問10 障がいがある従業員の雇用管理上、職場内で配慮していることはありますか。

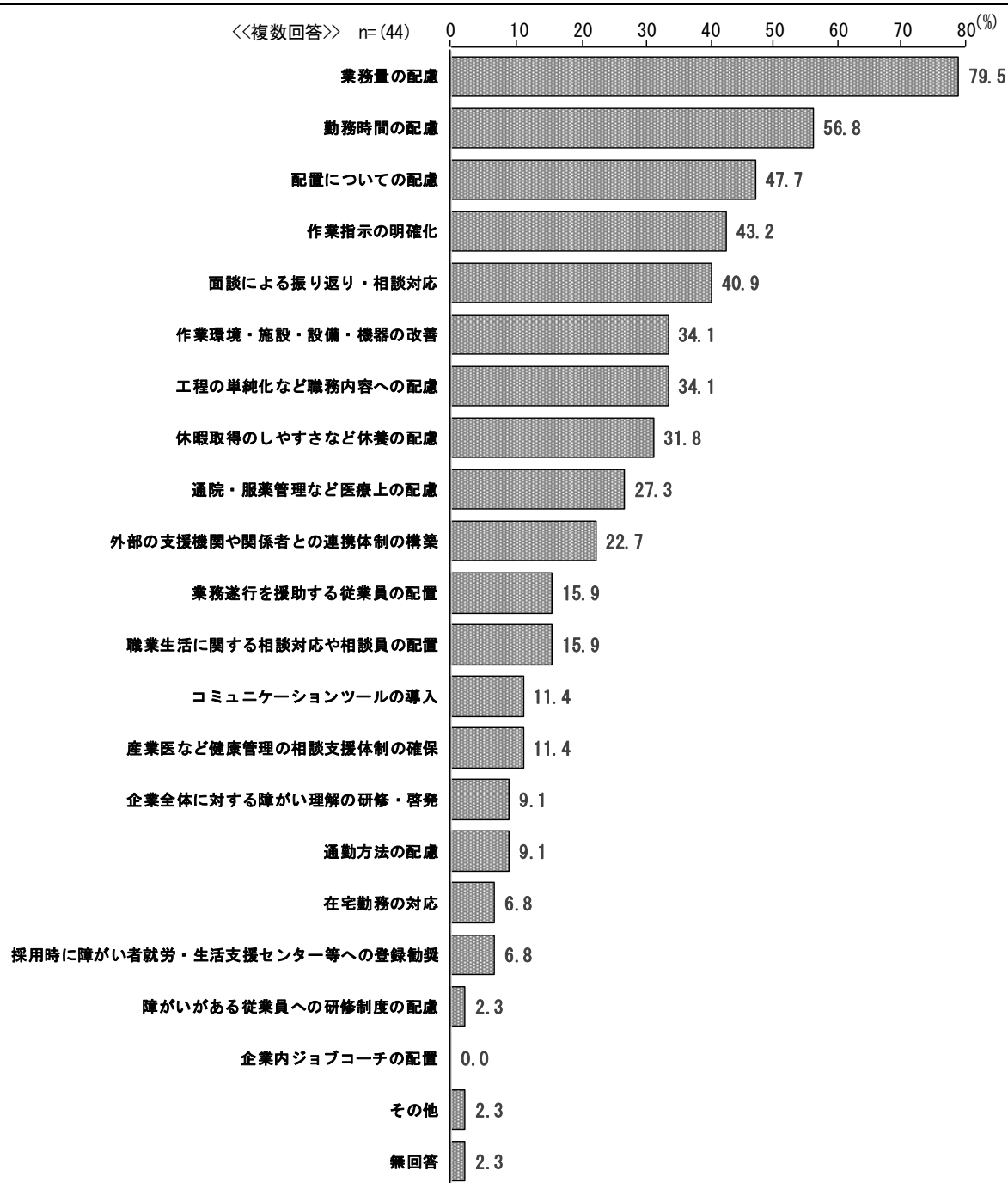


職場内で配慮していることは、「ある」(89.8%)が「ない」(10.2%)を上回っている。



回答者別でみると、いずれも「ある」が「ない」を上回っている。

【問10で、配慮事項が「ある」と回答した企業の方に】
 問10-1 配慮していることは何ですか。(あてはまるものすべて☑)



「その他」の内容
 特になし

配慮の内容は、「業務量の配慮」が79.5%、次いで「勤務時間の配慮」が56.8%、「配置についての配慮」が47.7%となっている。一方で、「障がいがある従業員への研修制度の配慮」は2.3%と少なく、「企業内ジョブコーチの配置」については回答なしの結果となった。

回答者別

(単位:%)

		業務量の配慮	勤務時間の配慮	配置についての配慮	作業指示の明確化	面談による振り返り・相談対応	作業環境・施設・設備・機器の改善	工程の単純化など職務内容への配慮	休暇取得のしやすさなど休養の配慮	通院・服薬管理など医療上の配慮	外部の支援機関や関係者との連携体制の構築	業務遂行を援助する従業員の配置	職業生活に関する相談対応や相談員の配置	コミュニケーションツールの導入	産業医など健康管理の相談支援体制の確保	企業全体に対する障がい理解の研修・啓発	通勤方法の配慮	在宅勤務の対応	採用時に障がい者就労・生活支援センター等への登録勧奨	障がいがある従業員への研修制度の配慮	企業内ジョブコーチの配置	その他	無回答
<<複数回答>>	n																						
全体	44	79.5	56.8	47.7	43.2	40.9	34.1	34.1	31.8	27.3	22.7	15.9	15.9	11.4	11.4	9.1	9.1	6.8	6.8	2.3	0.0	2.3	2.3
人事管理	32	78.1	56.3	50.0	46.9	43.8	31.3	34.4	34.4	31.3	21.9	18.8	18.8	12.5	15.6	9.4	9.4	9.4	3.1	3.1	0.0	3.1	3.1
現場担当	2	100	100	50.0	100	50.0	50.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
代表者	2	100	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8	75.0	50.0	37.5	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

回答者別でみると、「業務量の配慮」はいずれの回答者においても最も多い。

過去3年間で雇用した障がい種別

(単位:%)

	n	業務量の配慮	勤務時間の配慮	配置についての配慮	作業指示の明確化	面談による振り返り・相談対応	作業環境・施設・設備・機器の改善	工程の単純化など職務内容への配慮	休暇取得のしやすさなど休養の配慮	通院・服薬管理など医療上の配慮	外部の支援機関や関係者との連携体制の構築	業務遂行を援助する従業員の配置	職業生活に関する相談対応や相談員の配置	コミュニケーションツールの導入	産業医など健康管理の相談支援体制の確保	企業全体に対する障がい理解の研修・啓発	通勤方法の配慮	在宅勤務の対応	採用時に障がい者就労・生活支援センター等への登録勧奨	障がいがある従業員への研修制度の配慮	企業内ジョブコーチの配置	その他	無回答
<<複数回答>>	n																						
全体	44	79.5	56.8	47.7	43.2	40.9	34.1	34.1	31.8	27.3	22.7	15.9	15.9	11.4	11.4	9.1	9.1	6.8	6.8	2.3	0.0	2.3	2.3
身体障がい	17	76.5	52.9	41.2	29.4	35.3	35.3	29.4	29.4	35.3	23.5	23.5	29.4	23.5	17.6	11.8	5.9	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9
知的障がい	14	85.7	78.6	57.1	57.1	35.7	50.0	57.1	35.7	21.4	42.9	28.6	28.6	14.3	7.1	21.4	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障がい	21	85.7	76.2	57.1	52.4	57.1	38.1	47.6	28.6	23.8	38.1	19.0	23.8	14.3	9.5	4.8	9.5	9.5	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

過去3年間で雇用した障がい種別でみると、「業務量の配慮」がいずれの障がいにおいても最も多い。

【問10で、配慮事項が「ある」と回答した企業の方に】
問10-2 配慮していることの中で、特に工夫していることは何ですか。

<回答数24件>

①業務量や勤務時間・休暇

- ・業務内容に配慮している。身体に大きな負担がかからない様な業務をお願いしている
- ・適切な業務内容
- ・業務量と職務内容の配慮
- ・通院等については特に配慮しており有給休暇を積極的に取得させている

②作業環境

- ・障がい特性に合わせて対人を要しない仕事を割り振ったり、座席や動線を変更したりした
- ・肢体に障がいがある職員については、本人の希望があれば低層階への配置としている

③作業指示

- ・作業指示の明確化、単純化
- ・作業内容をわかりやすく紙に書いてお渡しするようにしている
- ・指揮命令・指示者を明確にし、報告や相談しやすい環境を作っている
- ・作業指示をわかりやすく説明すること

④コミュニケーションツール

- ・聴覚障害者の方に手持ちができるボード（書いて消せるボード）を配布しコミュニケーションツールとして使用している
- ・職場環境の整備とコミュニケーションツールの導入
- ・聴覚障がいのある職員にUDトークアプリを導入したiPadを貸与している

⑤相談対応

- ・障害者サポーターを配置して相談しやすい状況を作っている。定期的に面談を実施し、体調の確認等をしている
- ・頻回な面談、傾聴
- ・新規採用職員には採用前に配慮事項の確認のための面談を実施している。該当する職員に配慮事項の確認票を記載してもらい、本人の許可を得て所属と共有している

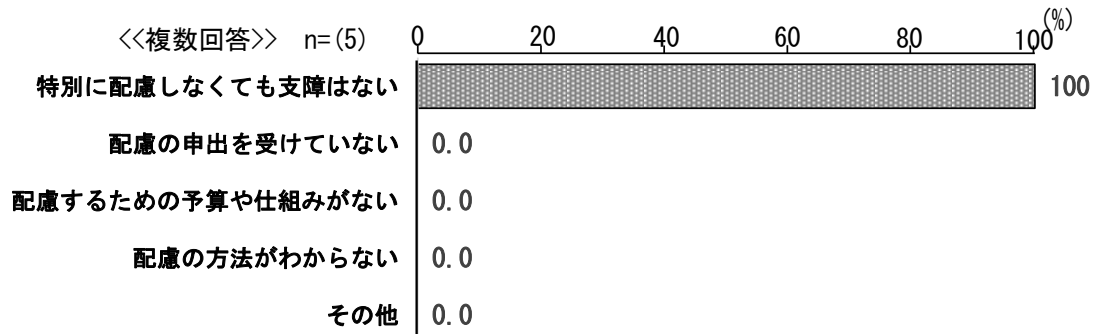
⑥障がい理解

- ・他の従業員の理解促進
- ・障害者雇用に関する正しい理解の普及と啓発の準備
- ・なるべく一社員として接する。ただし、業務などの配慮は行う
- ・職場の仲間に各障害者の特性（できること、できないこと、苦手なこと）を理解してもらう

⑦その他

- ・訓練校から配慮事項等の情報をいただき、そちらに基づき対応している
- ・法人内の利用者からの内部雇用を目指して、就業前に丁寧なステップを踏んだトレーニングを行っている
- ・職員課の保健師が該当する職員に体調確認を行っている
- ・就労支援者との連携

【職場内で配慮していない理由（問10で、配慮事項が「ない」と回答した企業のみ）】
 問10-3 その理由は何ですか。（あてはまるものすべて☑）



職場内で配慮していない理由は、「特別に配慮しなくても支障はない」が100%となっている。

回答者別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	特別に配慮しなくても支障はない	配慮の申出を受けていない	配慮するための予算や仕組みがない	配慮の方法がわからない	その他	無回答
全 体	5	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人事管理	3	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
現場担当	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
代表者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

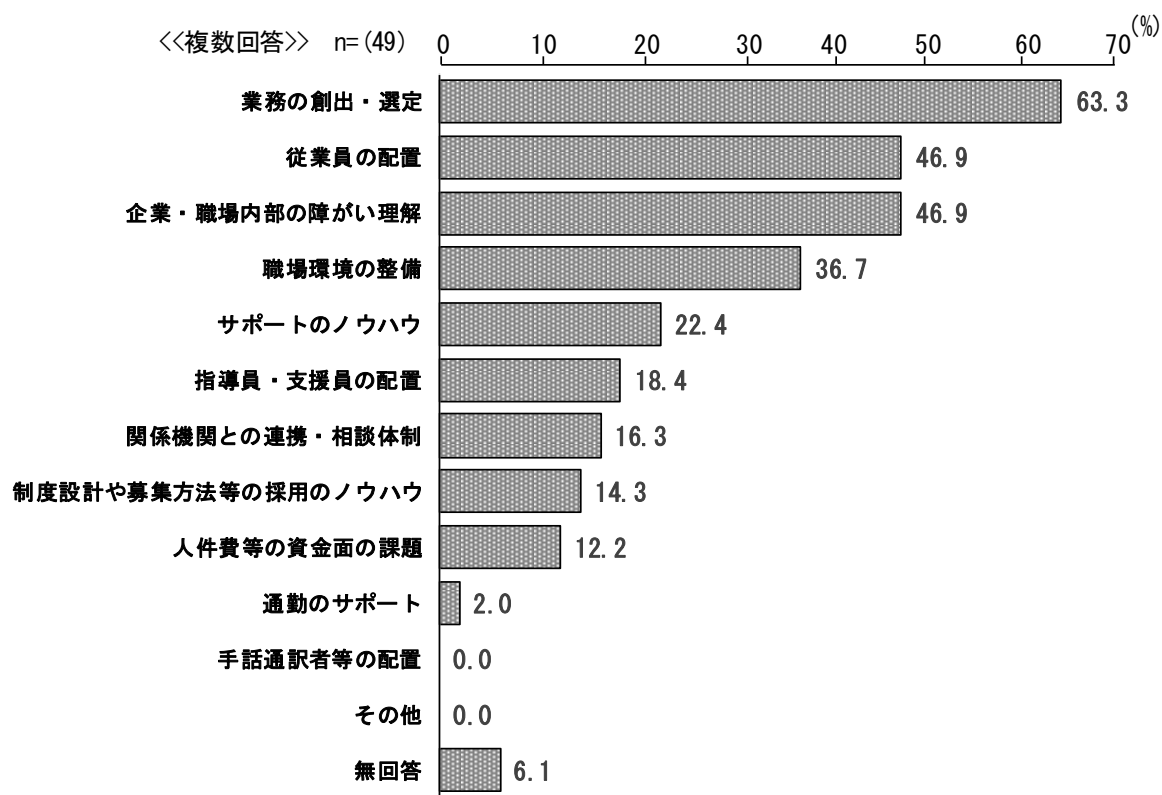
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

回答者別で見ると、「特別に配慮しなくても支障はない」は人事管理及びその他でそれぞれ100%となっている。

(5) 雇用における課題

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問11 障がい者雇用を行うにあたり、採用前の課題は何ですか。(あてはまるものすべて☑)



障がい者雇用における採用前の課題は、「業務の創出・選定」が63.3%、次いで「従業員の配置」(46.9%)及び「企業・職場内部の障がい理解」(46.9%)が四割台となっている。一方で、「通勤のサポート」(2.0%)の回答は少なく、「手話通訳者等の配置」については回答なしの結果となった。

回答者別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	業務の創出・選定	従業員の配置	企業・職場内部の障がい理解	職場環境の整備	サポートのノウハウ	指導員・支援員の配置	関係機関との連携・相談体制	制度設計や募集方法等の採用のノウハウ	人件費等の資金面の課題	通勤のサポート	手話通訳者等の配置	その他	無回答
全体	49	63.3	46.9	46.9	36.7	22.4	18.4	16.3	14.3	12.2	2.0	0.0	0.0	6.1
人事管理	35	65.7	48.6	48.6	37.1	25.7	20.0	20.0	17.1	14.3	2.9	0.0	0.0	2.9
現場担当	2	100	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
代表者	2	50.0	50.0	100	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10	50.0	40.0	40.0	40.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

回答者別でみると、「業務の創出・選定」はいずれの回答者においても多い。

従業員数の規模別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	業務の創出・選定	従業員の配置	企業・職場内部の障がい理解	職場環境の整備	サポートのノウハウ	指導員・支援員の配置	関係機関との連携・相談体制	制度設計や募集方法等の採用のノウハウ	人件費等の資金面の課題	通勤のサポート	手話通訳者等の配置	その他	無回答
全体	49	63.3	46.9	46.9	36.7	22.4	18.4	16.3	14.3	12.2	2.0	0.0	0.0	6.1
100人以下	4	25.0	50.0	75.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
101人から299人	27	59.3	37.0	29.6	40.7	18.5	11.1	14.8	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	7.4
300人から499人	7	71.4	42.9	57.1	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
500人から999人	7	71.4	57.1	57.1	42.9	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
1,000人以上	4	100	100	100	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

従業員数の規模別でみると、「業務の創出・選定」は100人以下を除きいずれの規模においても多い。

業種別

(単位：%)

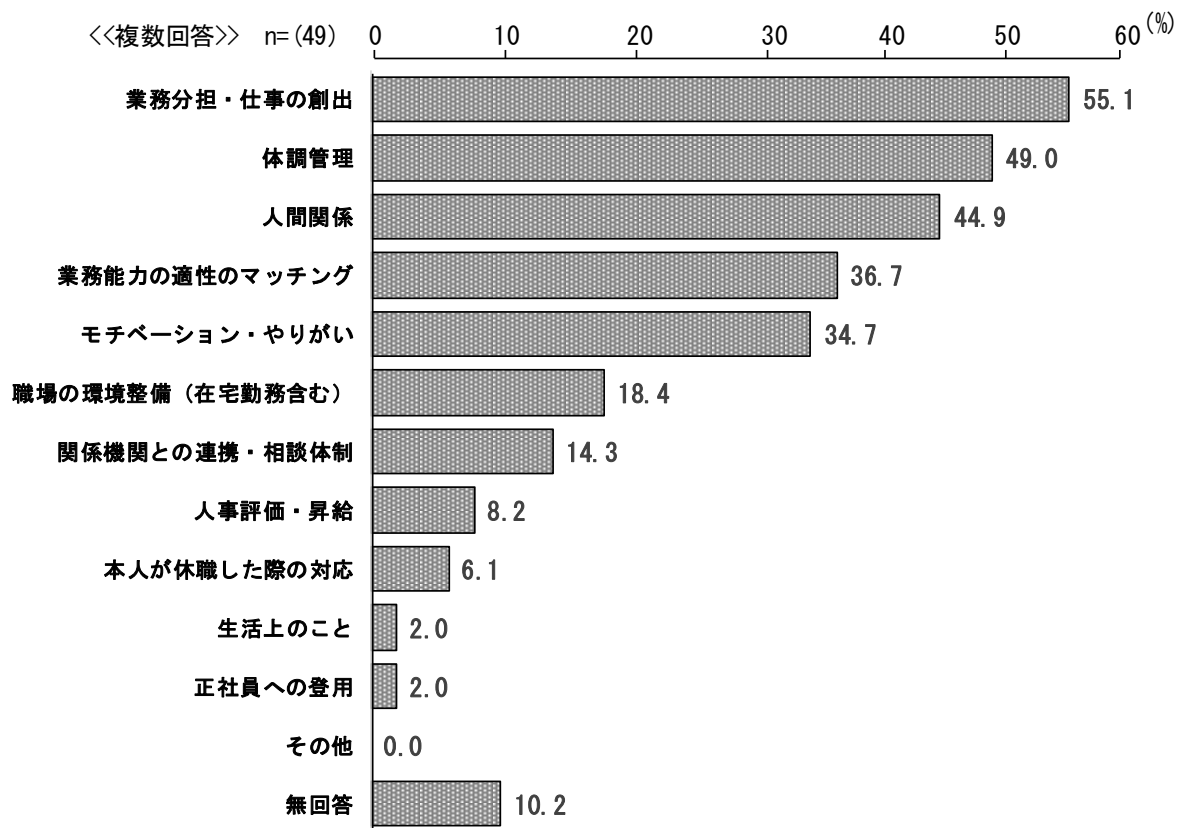
<<複数回答>>	n	業務の創出・選定	従業員の配置	企業・職場内部の障がい理解	職場環境の整備	サポートのノウハウ	配置	指導員・支援員の	相談体制	関係機関との連携・	制度設計や募集方法等の採用のノウハウ	人件費等の資金面の課題	通勤のサポート	手話通訳者等の配置	その他	無回答
全 体	49	63.3	46.9	46.9	36.7	22.4	18.4	16.3	14.3	12.2	2.0	0.0	0.0	0.0	6.1	
建設業	1	100	100	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
製造業	6	50.0	66.7	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	
電気・ガス業	1	100	0.0	100	0.0	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
卸売・小売業	5	60.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
不動産業	1	100	0.0	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
飲食店・宿泊業	1	100	100	100	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医療・福祉	22	59.1	54.5	68.2	40.9	22.7	22.7	22.7	9.1	13.6	4.5	0.0	0.0	0.0		
教育・学習支援	7	85.7	85.7	57.1	57.1	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0		
その他	10	60.0	20.0	40.0	40.0	30.0	10.0	30.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
無回答	1	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「業務の創出・選定」はいずれの業種（回答なしを除く）においても多い。「従業員の配置」は建設業及び飲食店・宿泊業で100%、教育・学習支援で85.7%、製造業で66.7%となっている。「企業・職場内部の障がい理解」は電気・ガス業、不動産業及び飲食店・宿泊業で100%、医療・福祉で68.2%となっている。

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問12 障がい者雇用を行うにあたり、採用後の定着や、経験年数の長い従業員についての課題は何ですか。(あてはまるものすべて☑)



障がい者雇用における採用後の課題は、「業務分担・仕事の創出」が55.1%、次いで「体調管理」(49.0%)及び「人間関係」(44.9%)が四割台となっている。一方で、「生活上のこと」(2.0%)及び「正社員への登用」(2.0%)の回答は少ない。

回答者別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	創出 業務分担・仕事の	体調管理	人間関係	業務能力の 適性の マッチング	やりがい	モチベーション・ (在宅勤務含む)	職場の環境整備	相談体制	関係機関との連携・	人事評価・昇給	本人が休職した際の 対応	生活上のこと	正社員への登用	その他	無回答
全 体	49	55.1	49.0	44.9	36.7	34.7	18.4	14.3	8.2	6.1	2.0	2.0	0.0	10.2		
人事管理	35	57.1	51.4	51.4	34.3	42.9	17.1	14.3	8.6	8.6	2.9	0.0	0.0	5.7		
現場担当	2	100	50.0	50.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
代表者	2	0.0	100	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
その他	10	50.0	30.0	20.0	30.0	20.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0		

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

回答者別でみると、「業務分担・仕事の創出」は代表者を除きいずれの回答者においても最も多い。

従業員数の規模別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	創出 業務分担・仕事の	体調管理	人間関係	業務能力の 適性の マッチング	やりがい	モチベーション・ (在宅勤務含む)	職場の環境整備	相談体制	関係機関との連携・	人事評価・昇給	本人が休職した際の 対応	生活上のこと	正社員への登用	その他	無回答
全 体	49	55.1	49.0	44.9	36.7	34.7	18.4	14.3	8.2	6.1	2.0	2.0	0.0	10.2		
100人以下	4	25.0	50.0	100	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
101人から299人	27	51.9	44.4	40.7	29.6	22.2	11.1	18.5	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	11.1		
300人から499人	7	57.1	57.1	28.6	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3		
500人から999人	7	57.1	28.6	42.9	42.9	57.1	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3		
1,000人以上	4	100	100	50.0	50.0	75.0	50.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

従業員数の規模別でみると、「業務分担・仕事の創出」は100人以下を除きいずれの規模においても最も多い。

業種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	創出 業務分担・仕事の	体調管理	人間関係	業務能力の マッチング	やりがい	モチベーション・ (在宅勤務含む)	職場の環境整備	相談体制	関係機関との連携・	人事評価・昇給	本人が休職した際の 対応	生活上のこと	正社員への登用	その他	無回答
全 体	49	55.1	49.0	44.9	36.7	34.7	18.4	14.3	8.2	6.1	2.0	2.0	0.0	10.2		
建設業	1	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
製造業	6	50.0	33.3	66.7	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7		
電気・ガス業	1	100	100	0.0	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
卸売・小売業	5	60.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0		
金融・保険業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
不動産業	1	0.0	100	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0		
飲食店・宿泊業	1	100	0.0	0.0	100	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
医療・福祉	22	59.1	54.5	59.1	36.4	40.9	27.3	22.7	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5		
教育・学習支援	7	71.4	57.1	42.9	71.4	28.6	42.9	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0		
その他	10	40.0	50.0	20.0	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0		
無回答	1	100	100	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

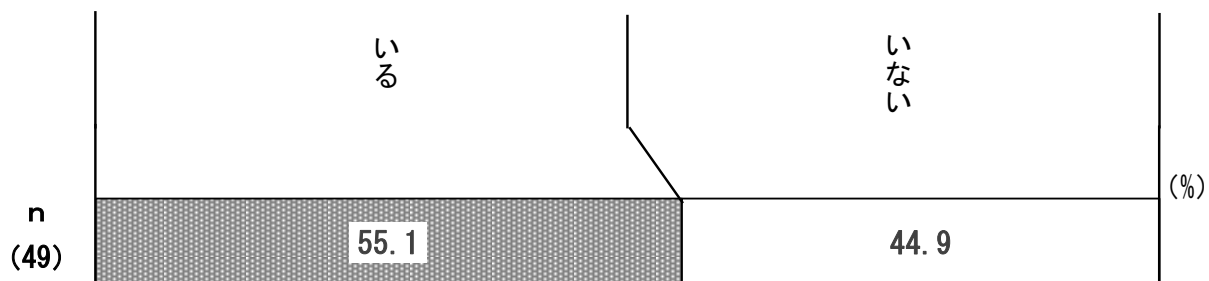
※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

業種別でみると、「業務分担・仕事の創出」は不動産業を除きいずれの業種（回答なしを除く）においても多い。「人間関係」は不動産業で100%、製造業で66.7%、医療・福祉で59.1%となっている。

(6) 支援機関について

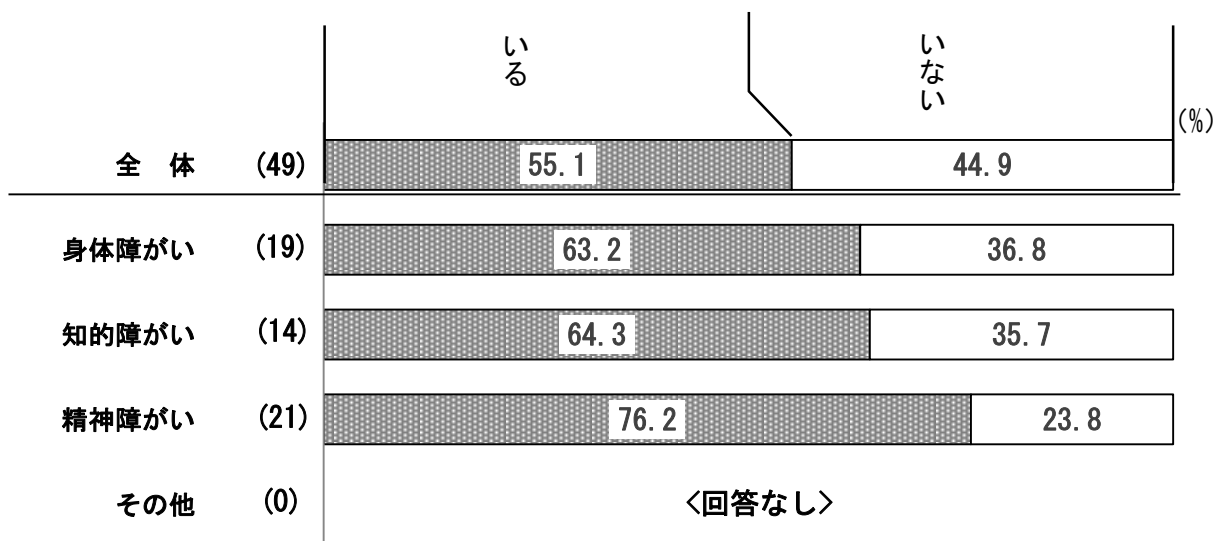
【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問13 障がいがある従業員の職場定着のための支援について、協力を得ている・または得たことがある外部の支援機関や関係者はいますか。



協力を得ている・または得たことがある外部の支援機関や関係者の有無は、「いる」(55.1%)が「いない」(44.9%)を上回っている。

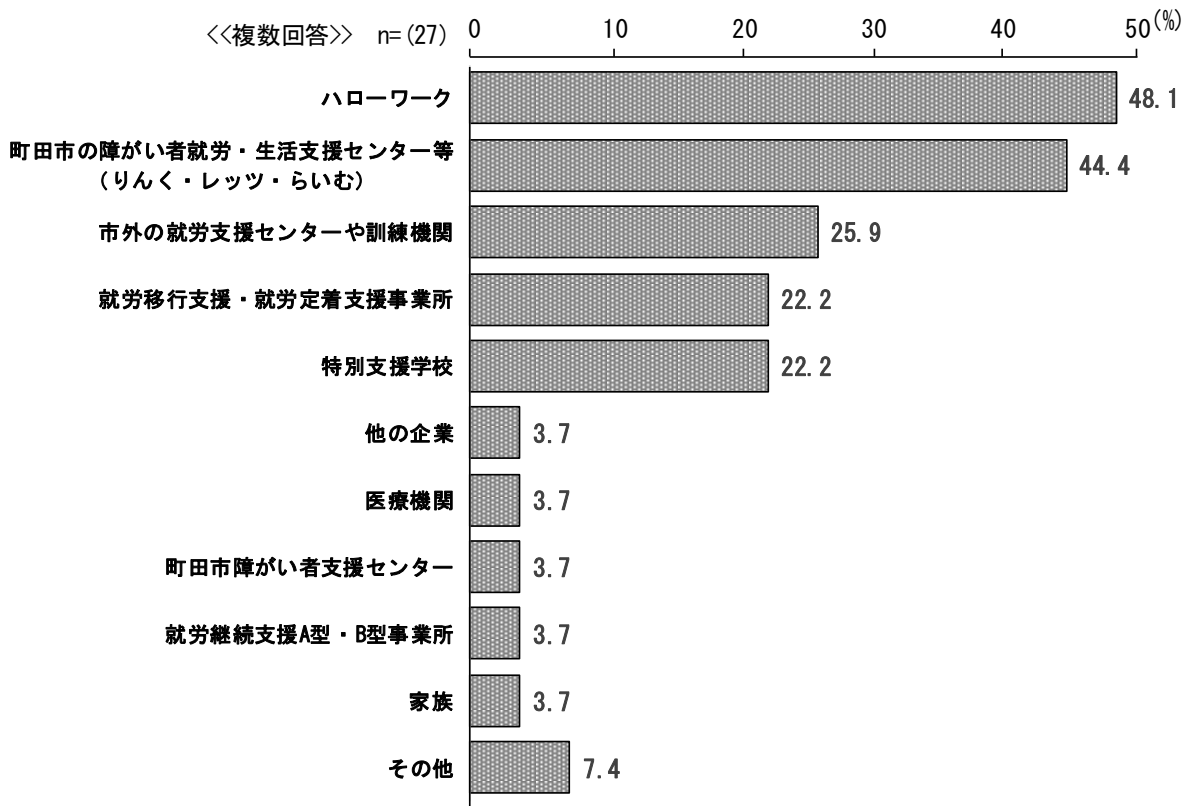
過去3年間で雇用した障がい種別



過去3年間で雇用した障がい種別でみると、「いる」はいずれの障がいにおいても多い。

【問13で「いる」と回答した企業の方に】

問13-1 それは、どこの支援機関や関係者ですか。(あてはまるものすべて☑)



「その他」の内容

体制整備に向け専門家を雇用した、東京都しごと財団

協力を得ている・または得たことがある外部の支援機関や関係者は、「ハローワーク」が48.1%、次いで「町田市の障がい者就労・生活支援センター等 (りんく・レッツ・らいむ)」が44.4%となっている。一方で、「他の企業」、「医療機関」、「町田市障がい者支援センター」、「就労継続支援A型・B型事業所」及び「家族」がそれぞれ3.7%と少ない。

過去3年間で雇用した障がい種別

(単位:%)

<<複数回答>>	n	ハローワーク	就労・生活支援センター等	町田市の障がい者訓練機関	市外の就労支援センターや	就労移行支援・就労定着支援事業所	特別支援学校	他の企業	医療機関	センター	町田市障がい者支援事業所	就労継続支援A型・B型	家族	その他	無回答
全 体	27	48.1	44.4	25.9	22.2	22.2	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	7.4	0.0	
身体障がい	11	54.5	45.5	27.3	27.3	36.4	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	
知的障がい	9	44.4	44.4	44.4	22.2	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	
精神障がい	16	56.3	50.0	25.0	31.3	18.8	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※網掛けは最も多いもの（無回答は除く）

過去3年間で雇用した障がい種別でみると、「ハローワーク」はいずれの障がいにおいても最も多い。

【問13で「いる」と回答した企業の方に】

問13-2 どのような協力を得ていますか・または得たことがありますか。

<回答数14件>

①面談・相談

- ・面談の実施、業務上の工夫などのアドバイス
- ・困りごとがあった時に相談させていただいています（2件）
- ・入社後の面談等のフォロー（2件）
- ・困ったことがあると相談している。的確な回答を得ている
- ・本人やご家族のフォローアップ
- ・面談内容のフィードバック、問題解決の為の対応
- ・知的障がいのある職員のチャレンジ雇用において、職場訪問や面談を通じて、課題の共有や本人とご家族様への課題改善のための働きかけをしていただいている
- ・定期面接にて、本人からの要望や体調の聞取り等

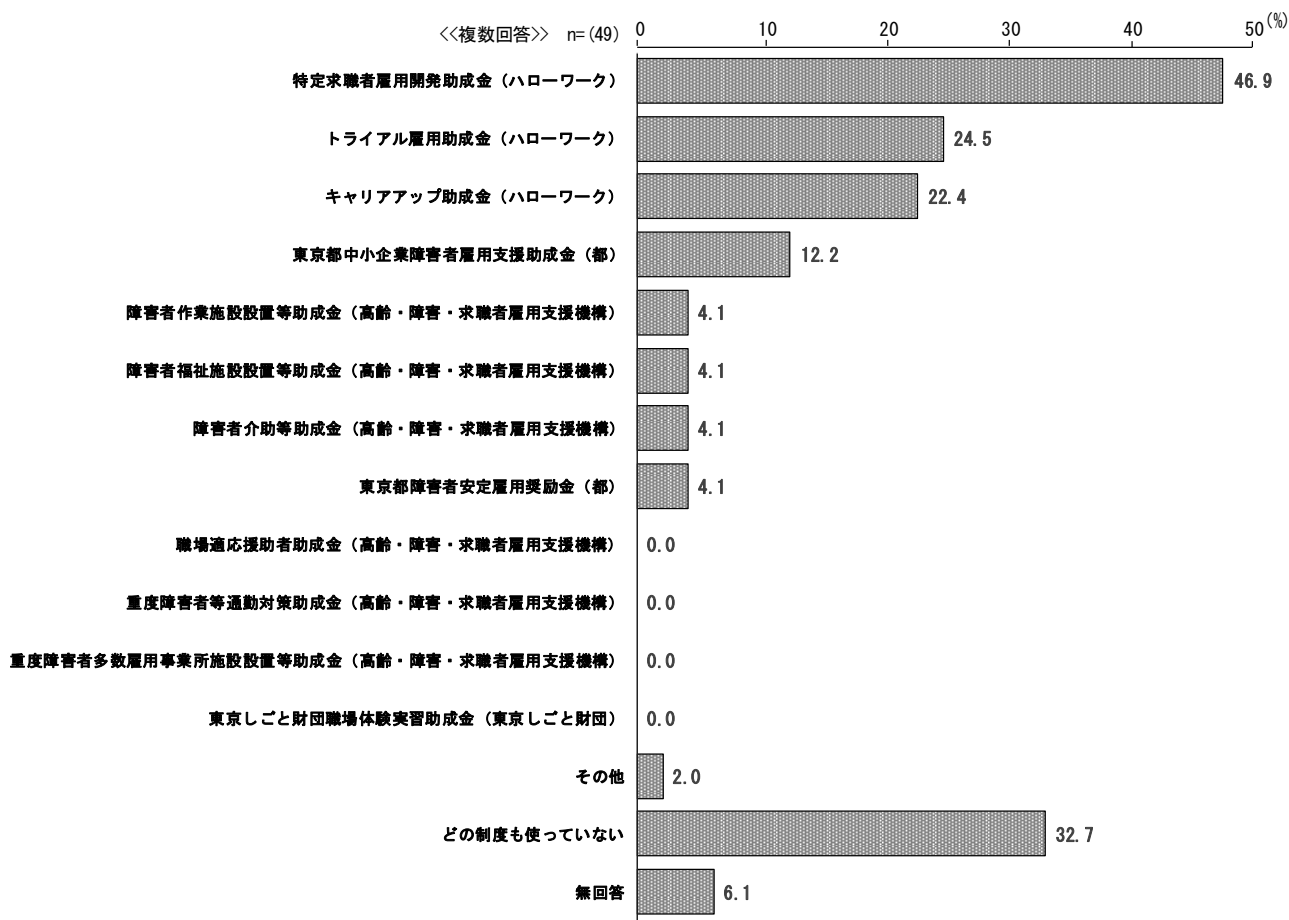
②人材紹介

- ・障害者雇用ナビゲート事業
- ・人材の紹介（2件）、応募者の仲介
- ・募集、人材紹介、入職後のサポート

(7) 助成制度について

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問14 使ったことのある助成制度を選んでください。(あてはまるものすべて☑)



「その他」の内容
厚木市障害者雇用奨励金

使ったことのある助成制度は、「特定求職者雇用開発助成金 (ハローワーク)」が46.9%、次いで「トライアル雇用助成金 (ハローワーク)」(24.5%)、「キャリアアップ助成金 (ハローワーク)」(22.4%)が二割台となっている。一方で、「職場適応援助者助成金 (高齢・障害・求職者雇用支援機構)」、「重度障害者等通勤対策助成金 (高齢・障害・求職者雇用支援機構)」、「重度障害者多数雇用事業所施設設置等助成金 (高齢・障害・求職者雇用支援機構)」及び「東京しごと財団職場体験実習助成金 (東京しごと財団)」については回答なしの結果となった。

また、「どの制度も使っていない」は32.7%となっている。

(8) 障がい者雇用を行ってよかったこと

【障がい者雇用をしたことがない企業を除く】

問15 障がい者雇用を行って、特によかったことは何ですか。3つまでご記入ください。

<回答数18件> (実回答数18件を種類別に記載)

①業務効率化

- ・作業のマニュアル化が多少進んだ、単純作業を任せられる
- ・①職場環境を見直すきっかけになった②特性とマッチした仕事を提供することで戦力となる
- ・職場の業務効率が上がった、調理技術が上がった。
- ・現場の協力体制ができた、就業上の配置の見直しになった。
- ・単純作業をやってもらえるのは有難い
- ・職員の仕事量が軽減された

②障がい理解

- ・従業員障がい者への理解につながっている
- ・障害者への理解
- ・職員と利用者という関係だけでなく、職場における同僚という形で接する中で、仕事における配慮の部分の気づきを得られた
- ・従業員の理解度UP
- ・素直・真面目
- ・協力的、コミュニケーション
- ・障害者に対する理解が深まった
- ・障がいのある職員がより多くの職場に配置されることで、職員の障がい者雇用への理解が進められつつある

④社会貢献

- ・社会貢献ができたこと、在宅勤務制度を先行して導入できた
- ・雇用率の増加、社会貢献

⑤その他

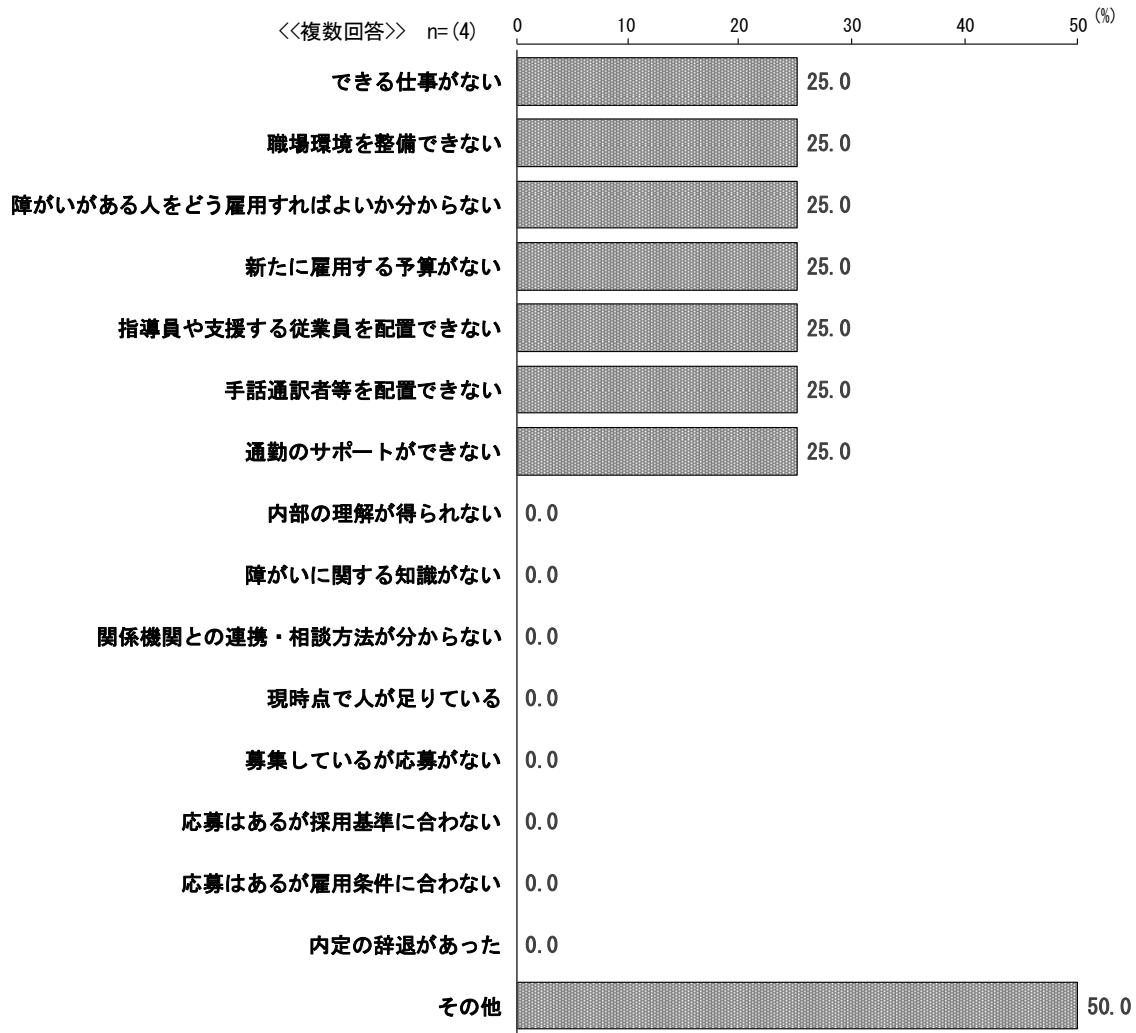
- ・人材確保、新たな気づきとサービス向上 (障害がある患者・家族への対応など)
- ・特に意識はしていない
- ・障がいのある者の雇用にあたり相談体制の確保や環境整備などの対処すべき課題が明らかになった。
- ・障がいのある職員同士の横のつながりが出来てきた
- ・納付金の削減
- ・ハローワークからの締め付けがなくなった
- ・助成金を知ることができた

4. 障がい者雇用をしていない企業について

(1) 理由

【障がい者雇用をしたことがない企業のみ】

問16 雇用しない（雇用できない）理由を教えてください。（あてはまるものすべて☑）



「その他」の内容

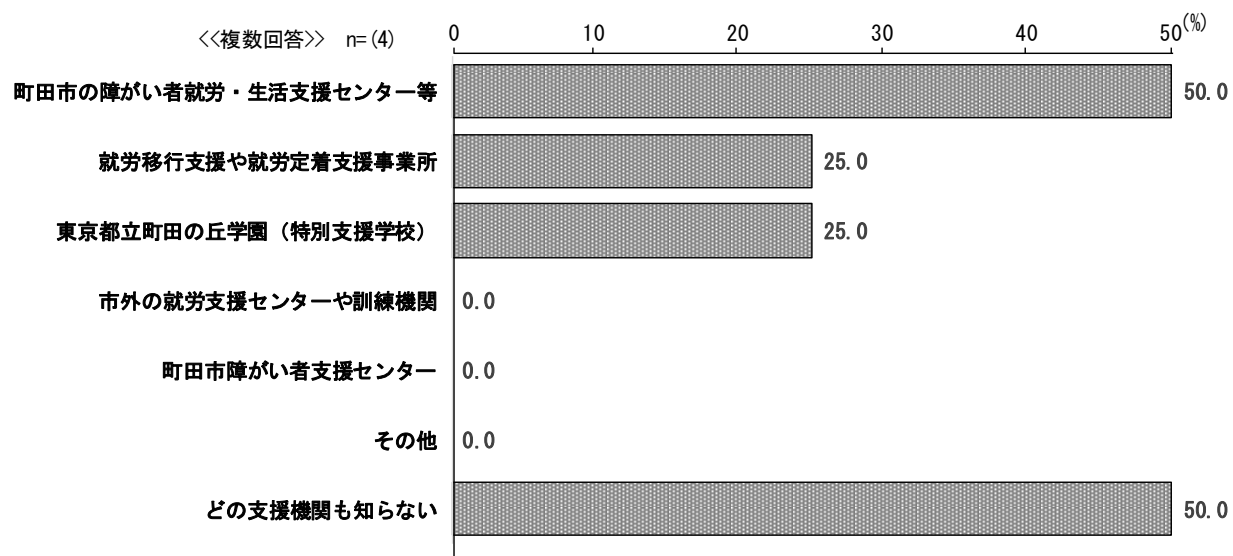
- ・ 現在進行形なので当てはまりません
- ・ これまでは取り組みをしていなかったため。現在、採用に取り組んでいます。

雇用しない（雇用できない）理由は、「できる仕事がない」、「職場環境を整備できない」、「障がいがある人をどう雇用すればよいか分からない」、「新たに雇用する予算がない」、「指導員や支援する従業員を配置できない」、「手話通訳者等を配置できない」及び「通勤のサポートができない」がそれぞれ25.0%となっている。それ以外は、「その他」を除き回答なしの結果となった。

(2) 支援機関について

【障がい者雇用をしたことがない企業のみ】

問17 知っている支援機関を選んでください。(あてはまるものすべて☑)

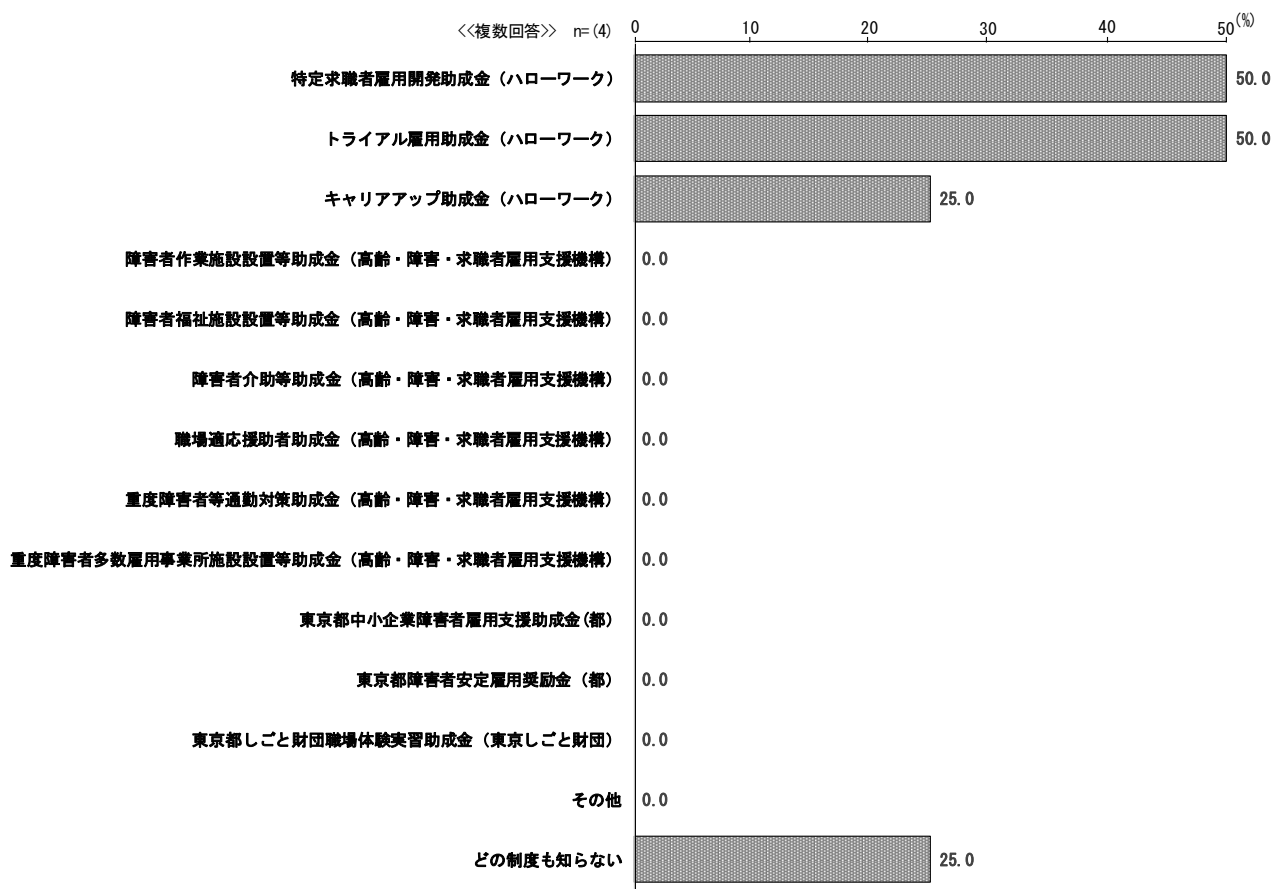


知っている支援機関は、「町田市の障がい者就労・生活支援センター等」が50.0%、次いで「就労移行支援や就労定着支援事業所」及び「東京都立町田の丘学園 (特別支援学校)」がそれぞれ25.0%となっている。一方、「どの支援機関も知らない」も50.0%となっている。

(3) 助成制度について

【障がい者雇用をしたことがない企業のみ】

問18 知っている助成制度を選んでください。(あてはまるものすべて☑)

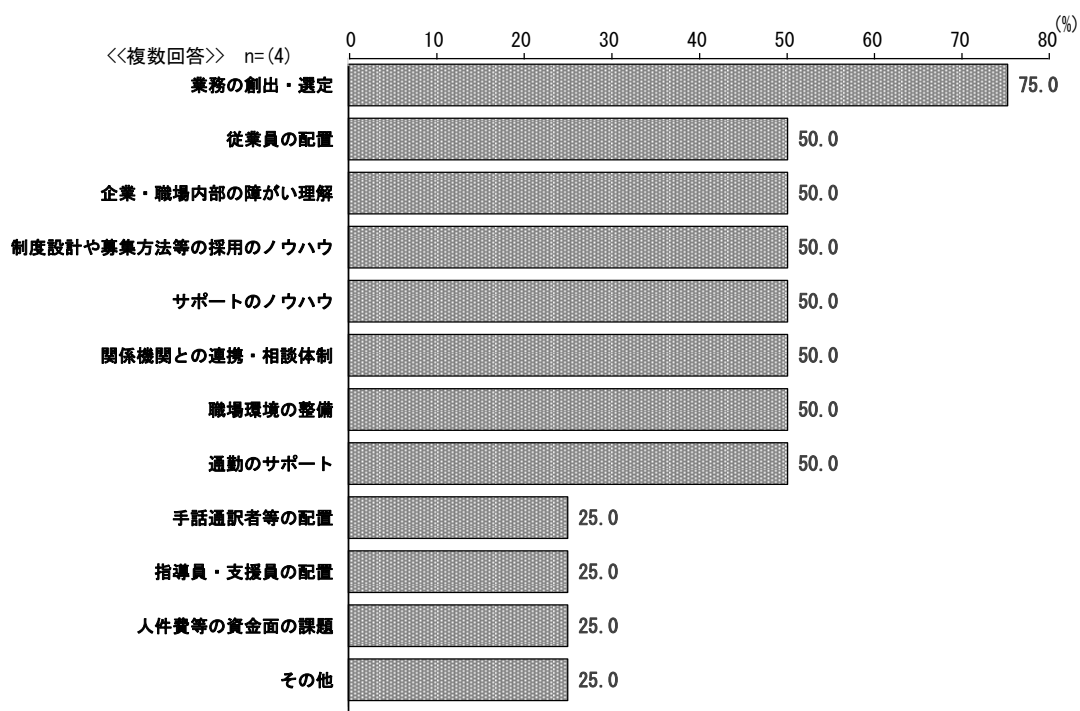


知っている助成制度は、「特定求職者雇用開発助成金 (ハローワーク)」及び「トライアル雇用助成金 (ハローワーク)」がそれぞれ50.0%、次いで「キャリアアップ助成金 (ハローワーク)」が25.0%となっている。一方で、「どの制度も知らない」も25.0%となっている。それ以外は、回答なしの結果となった。

(4) 雇用の課題

【障がい者雇用をしたことがない企業のみ】

問19 障がい者雇用を行うにあたって考えられる課題は何ですか。(あてはまるものすべて
☑)



「その他」の内容

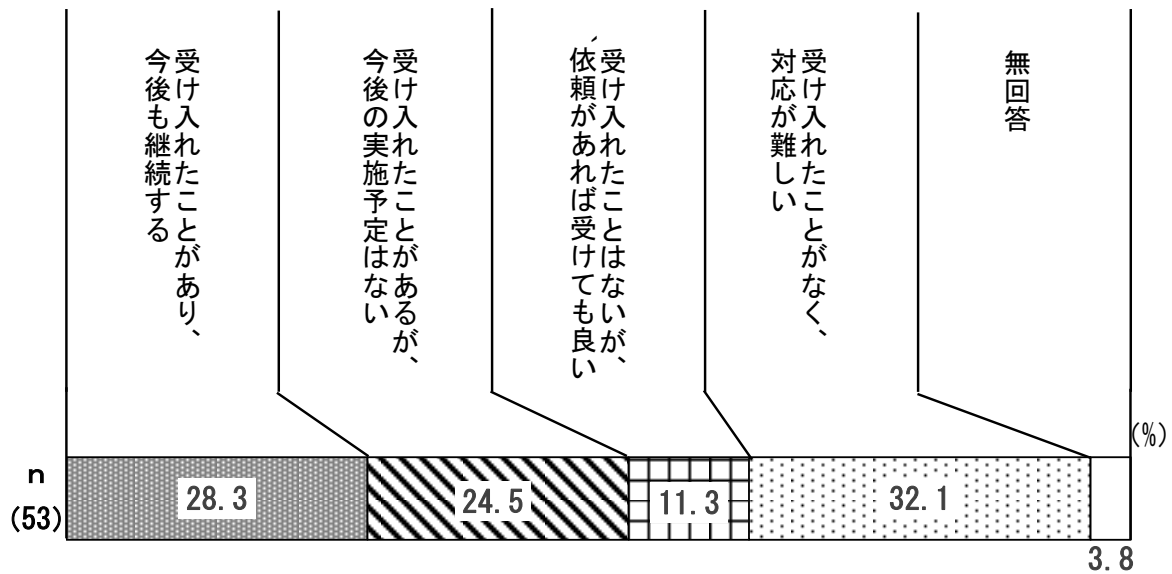
仕事の内容

障がい者雇用における課題は、「業務の創出・選定」が75.0%、次いで「従業員の配置」、「企業・職場内部の障がい理解」、「制度設計や募集方法等の採用のノウハウ」、「サポートのノウハウ」、「関係機関との連携・相談体制」、「職場環境の整備」及び「通勤のサポート」がそれぞれ50.0%となっている。

5. 採用活動について

(1) 実習等の受け入れ

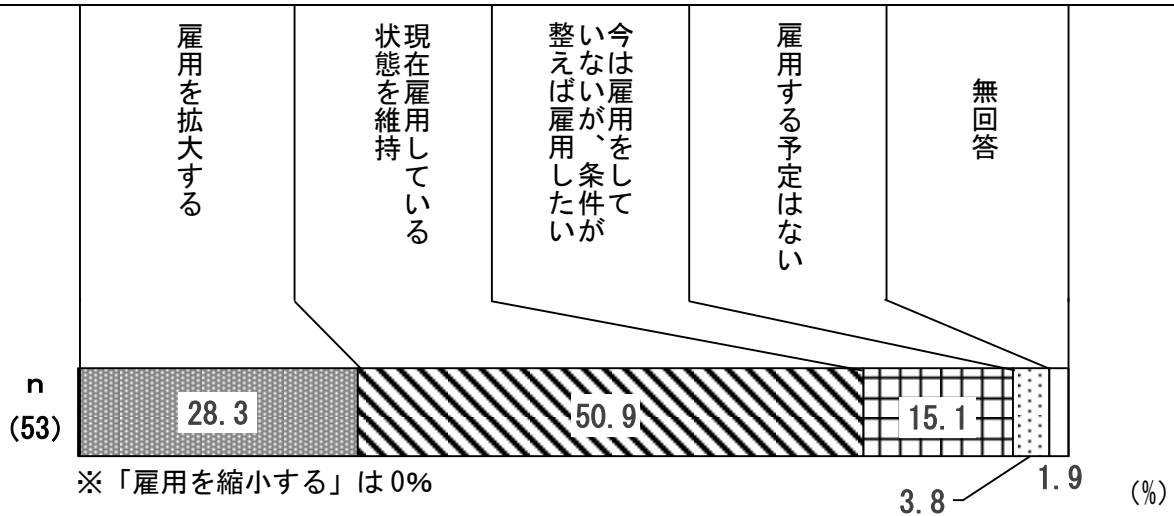
問20 障がいがある人やその関係機関からの企業見学や職場実習を受け入れたことはありますか。



実習等の受け入れは、「受け入れたことがなく、対応が難しい」が32.1%、次いで「受け入れたことがあり、今後も継続する」が28.3%となっている。

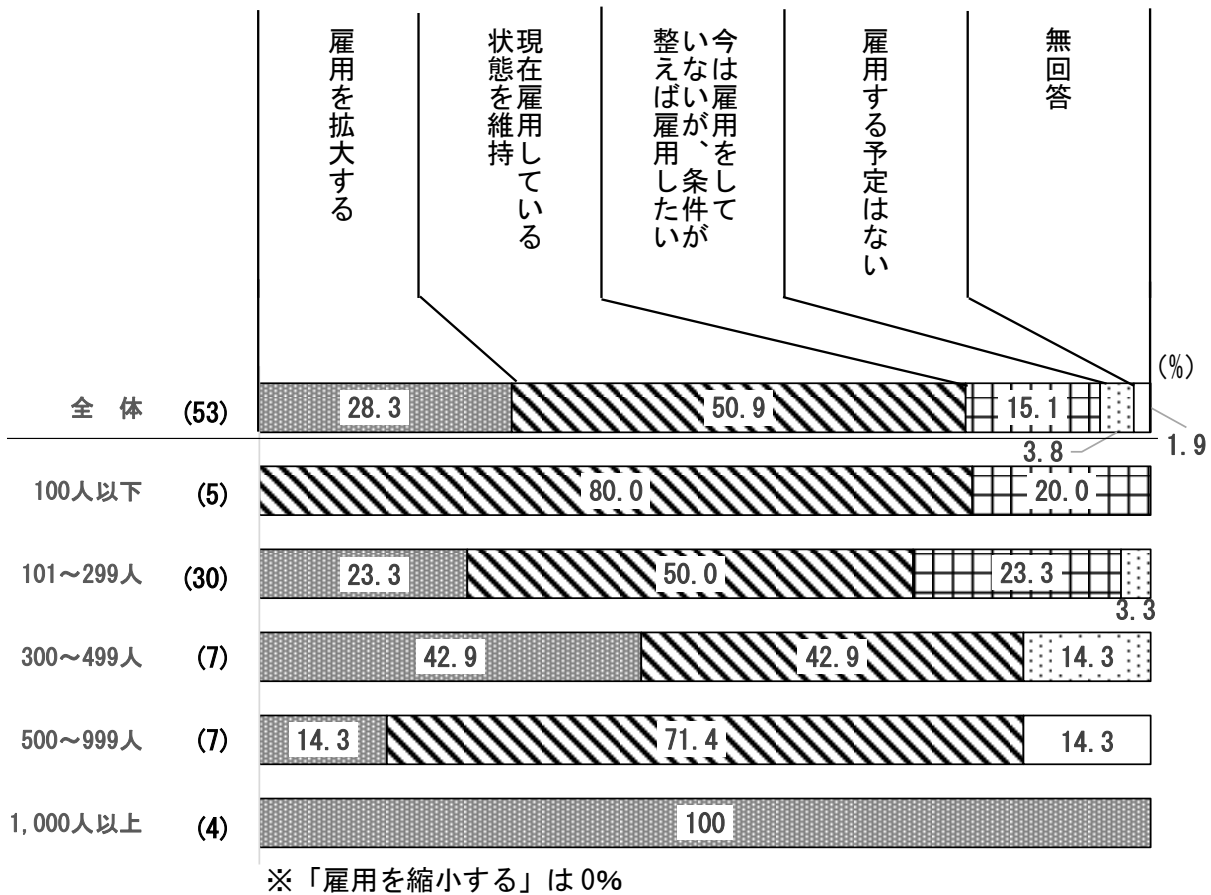
(2) 今後の採用活動

問21 障がい者雇用における今後の採用方針をお聞かせください。



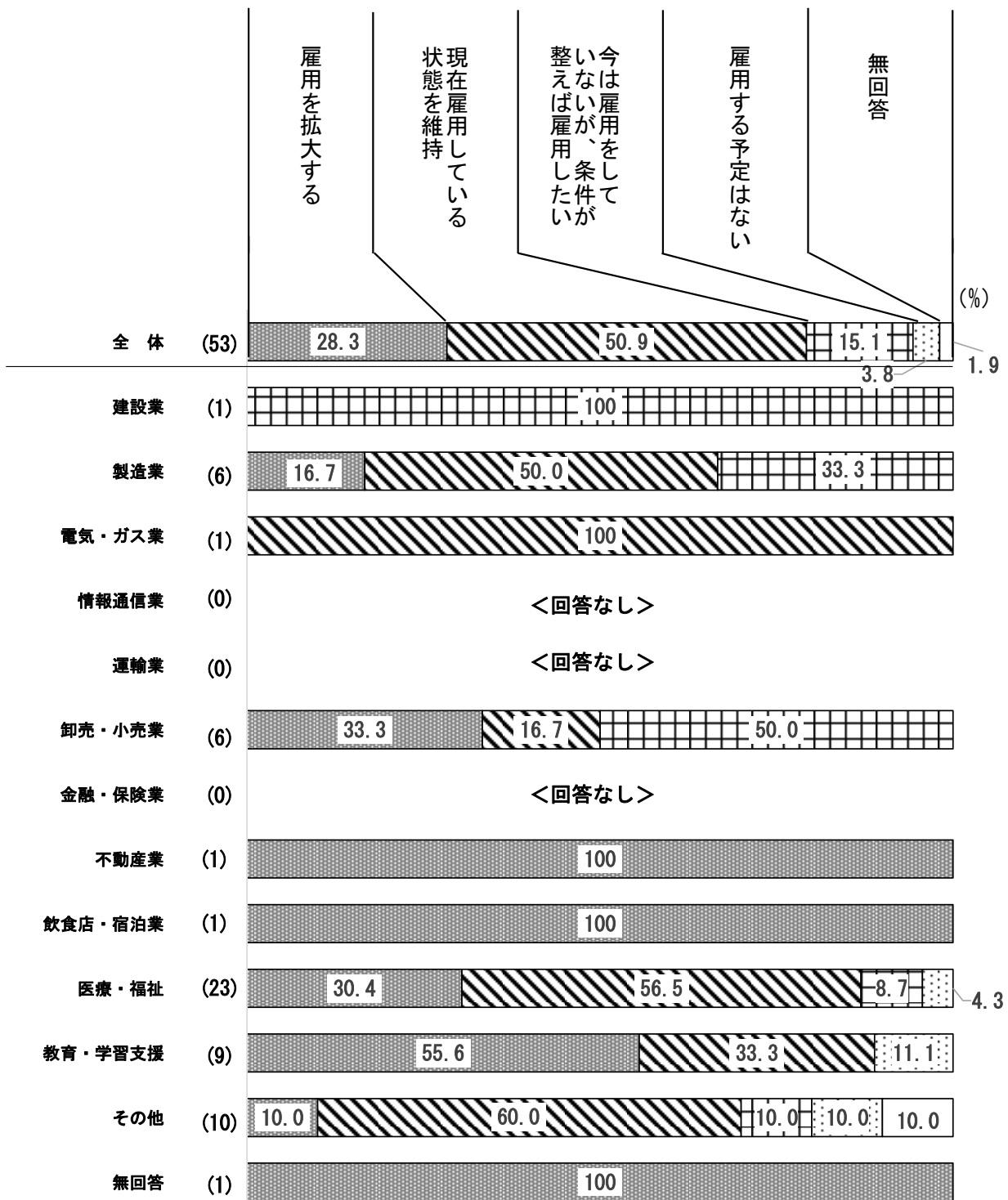
今後の採用方針は、「現在雇用している状態を維持」が50.9%、次いで「雇用を拡大する」が28.3%となっている。「雇用を縮小する」は回答なしの結果となった。

従業員数の規模別



従業員数の規模別で見ると、「現在雇用している状態を維持」は100人以下(80.0%)、101人から299人(50.0%)及び500人から999人(71.4%)で最も多い。「雇用を拡大する」は1,000人以上(100%)で最も多い。

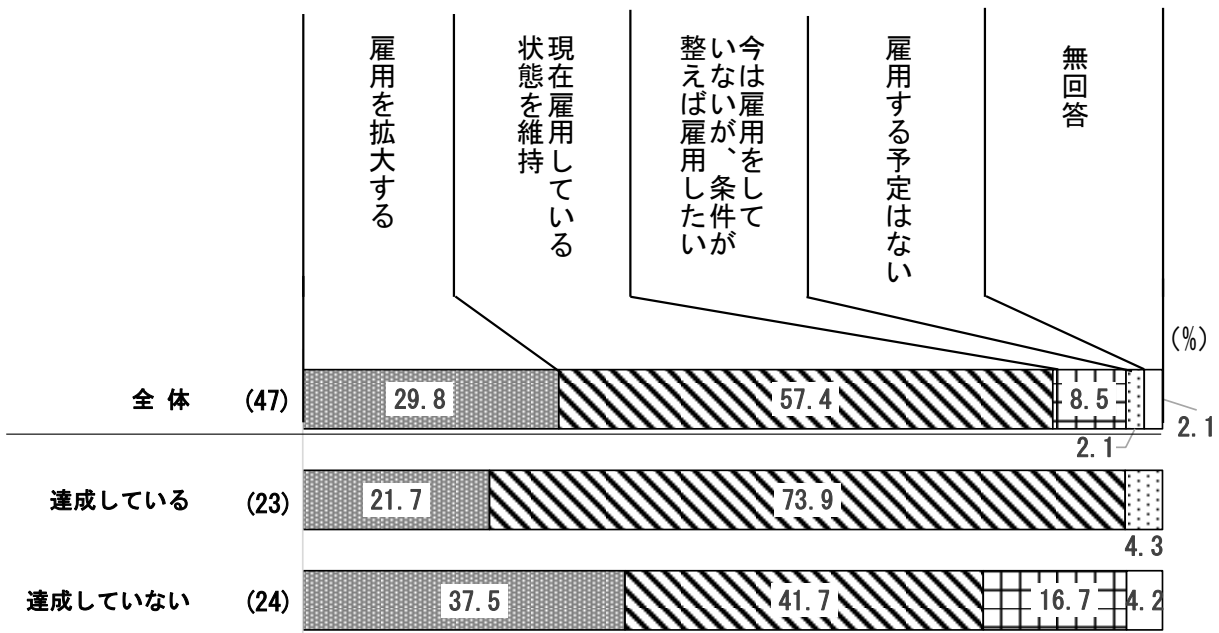
業種別



※「雇用を縮小する」は0%

業種別でみると、「現在雇用している状態を維持」は電気・ガス業で100%、医療・福祉で56.5%、製造業で50.0%、その他で60.0%となっている。「雇用を拡大する」は不動産業及び飲食店・宿泊業で100%、教育・学習支援で55.6%となっている。

法定雇用率の達成状況別

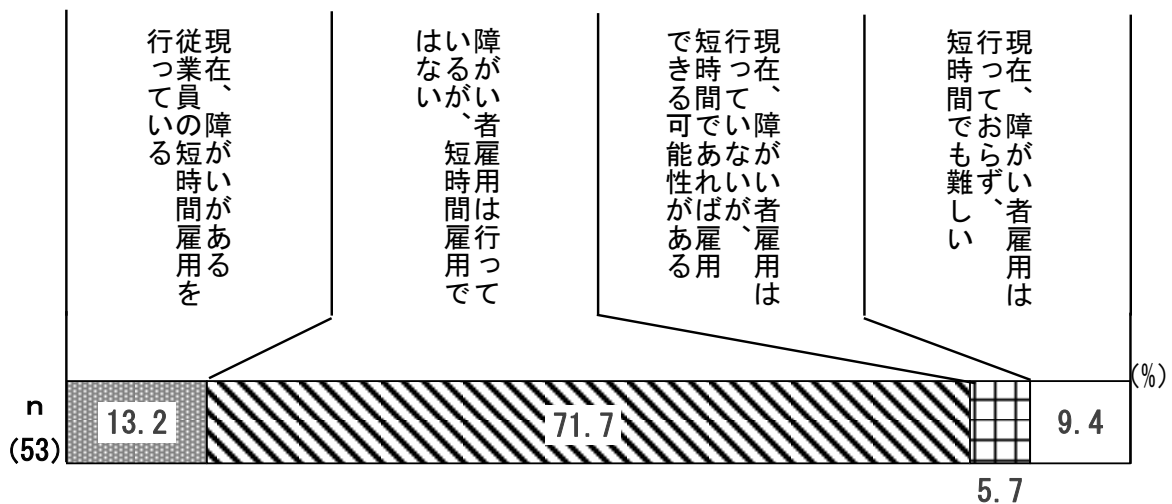


※「雇用を縮小する」は0%

法定雇用率の達成状況別でみると、「現在雇用している状態を維持」がいずれにおいても最も多い。

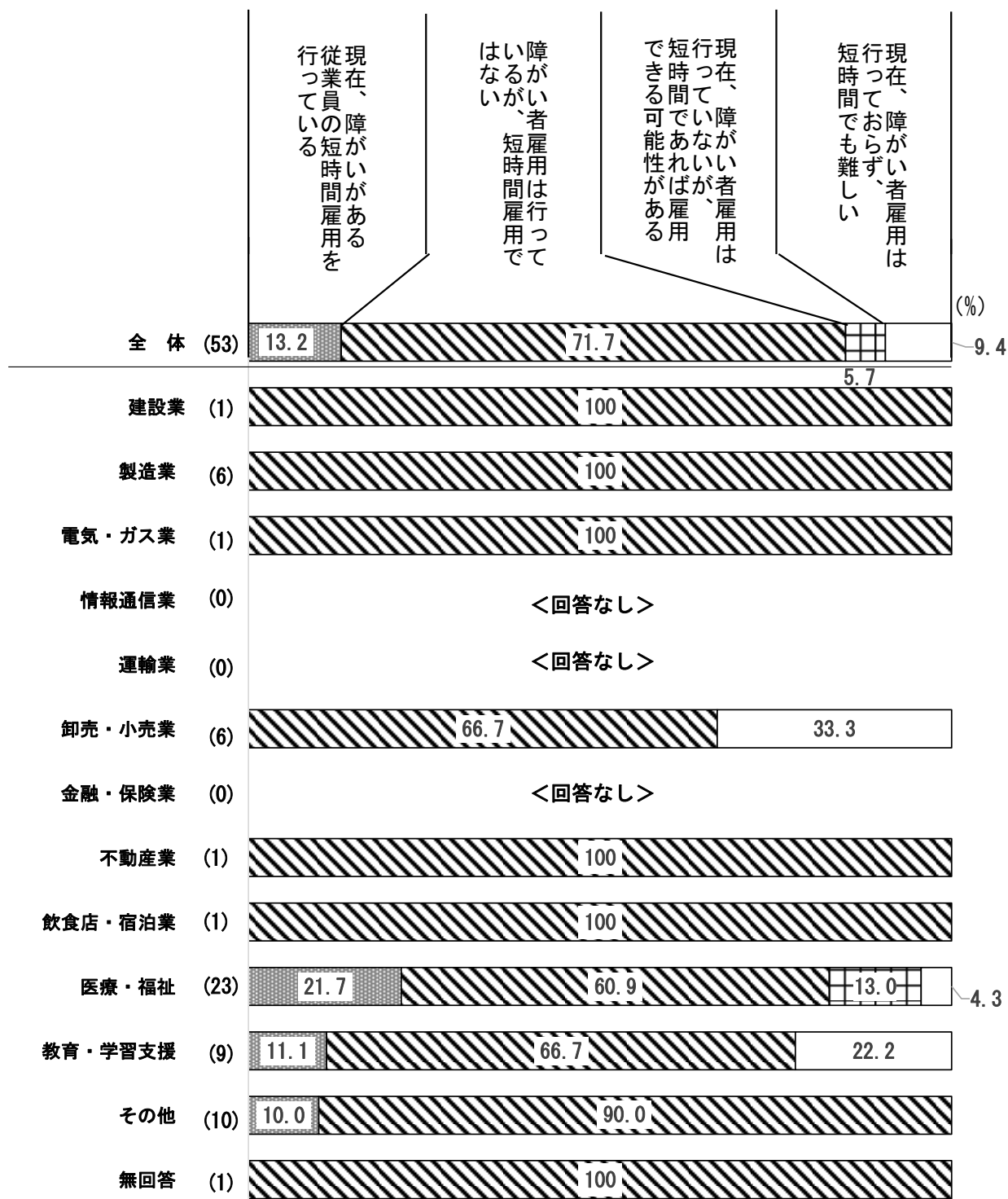
(3) 短時間雇用

問22 短時間雇用（週20時間未満）の状況やお考えについてお聞かせください。



短時間雇用は、「障がい者雇用は行っているが、短時間雇用ではない」が71.7%と突出している。次いで、「現在、障がいがある従業員の短時間雇用を行っている」が13.2%となっている。

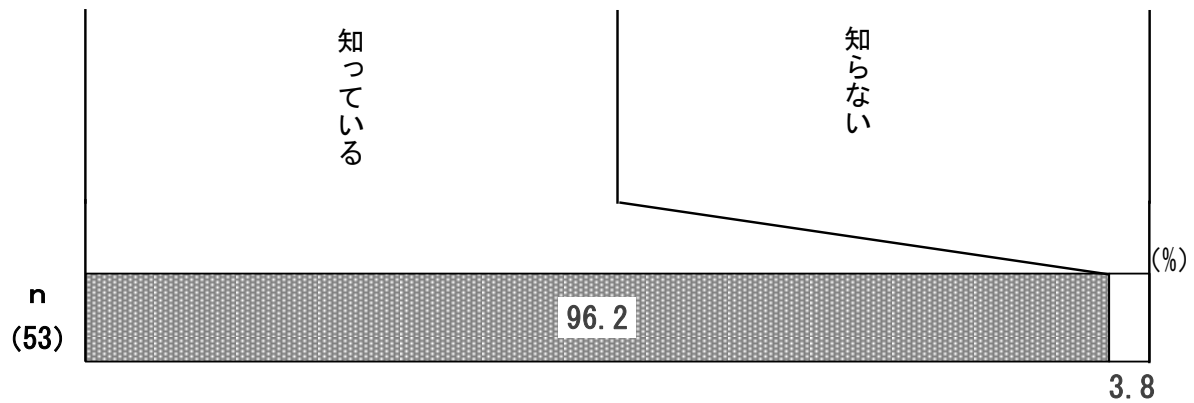
業種別



業種別で見ると、「障がい者雇用は行っているが、短時間雇用ではない」はいずれの業種（回答なしを除く）においても最も多い。

(4) 公的機関の相談対応

問23 障がいがある人の就労については、ハローワーク、市の支援機関、学校、福祉サービス事業所等、様々な機関が連携しながら支援し、企業からの相談にも対応していることを知っていますか。



公的機関の相談対応は、「知っている」(96.2%)が「知らない」(3.8%)を大幅に上回っている。

6. 障がい者雇用についての意見

問24 障がい者雇用について、ご意見がありましたらご記入ください。町田市障がい者就労・生活支援センター等やハローワーク町田へのご意見・期待することがありましたら、あわせてご記入ください。

<回答数10件>

①関係機関との連携

- ・町田市役所が市内事業所に率先して障がい者雇用を促進するためには、関係機関のご協力、ご支援が不可欠だと考えています。今後も、求職者の情報や採用・定着支援のノウハウ、研修などを情報共有させていただき、雇用推進につながる協力体制ができればと思います
- ・引き続き関係機関と連携し、障害者採用を進めていきます

②人材の紹介

- ・より積極的な人材紹介を希望。特に法定必要人数以上の雇用を目指しているものの未達の事業所に、優先的に紹介願いたい
- ・就労支援センター様から見学のご依頼もいただいております。大変ありがたく感じております。現状業務量がなく、残念ながら採用につなげられる状態にはなっておりませんが、時期を見てまたご紹介いただければと考えております。引き続きよろしく願いいたします
- ・会社の業務にあった人材の紹介（障害者側からではなく、企業側から）

③その他

- ・短時間雇用の方を認めて頂けると、雇用の幅が広がると思います
- ・その人物に合った職種を紹介してあげて欲しい
- ・困ったことがあると気軽に相談できるような窓口があるといい
- ・特になし（2件）

第4章 調査票

1. 町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査

町田市障がい者就労・生活支援センター等に関する調査

<ご回答にあたってのお願い>

●回答のしかた

宛名に書かれているご本人が回答してください。内容がわからない場合やご回答が難しい場合は、ご家族や支援されている方のご協力をいただきますようお願いいたします。

この調査票に直接ご記入いただくか、インターネットでご回答ください。どちらか一つで回答してください。

●インターネットで回答する場合

回答のウェブサイトについては別紙をご覧ください。QRコードを読み取っていただくと便利です。回答いただくときは、右記の

「調査票番号」を入力してください。

調査票番号

●回答期限

2022年7月22日（金曜日）まで

↑この番号は、個人情報との
関連は一切ありません。

●回答が終わったら（調査票にご記入いただいた場合）

一緒に入っている返信用封筒に、記入が終わった調査票を入れて郵便ポストへ出してください。お名前の記入や切手は必要ありません。

封筒には、調査票以外のものを入れないでください。

●視覚障がいのある方へ

申し訳ございませんが、点字や録音に対応した調査票をご用意しておりません。

ご回答いただくときは、支援されている方のご協力をいただきますようお願いいたします。

また、ご回答が難しい場合は、下に書かれている問合せ先にご連絡ください。

●回答に困ったら

わからないもの、答えたくないものは無理に答えなくてもかまいません。

【調査に関する問合せ先】

町田市 地域福祉部障がい福祉課 総務係 調査担当

電 話：042-724-2147 FAX：050-3101-1653

メール：mcity5620@city.machida.tokyo.jp

あなたのことや、利用しているセンターについてお答えください。

問1 あなたの障がいの内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 視覚障がい | 7. 発達障がい |
| 2. 聴覚・平衡機能障がい | 8. 高次脳機能障がい |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障がい | 9. 精神障がい・精神疾患 |
| 4. 肢体不自由・体幹機能障がい | 10. 難病 |
| 5. 内部障がい(心臓・呼吸器・肝臓・腎臓・直腸など) | 11. その他 |
| 6. 知的障がい | () |

問2 あなたが利用しているセンターを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. りんく(町田市障がい者就労・生活支援センター)
2. Let's(レッツ)(町田市障がい者就労・生活支援センター)
3. らいむ(就労支援センター)

問3 りんく・レッツ・らいむを利用したきっかけは何でしたか？

(あてはまるものすべてに○)

1. 就職活動・転職活動に不安がある
2. 仕事の悩みを相談したい
3. 生活の悩みを相談したい
4. たくさん支援をしてほしい
5. 周囲の人や支援機関等※から、利用するように言われた
6. 就労移行支援事業所や就労定着支援事業所※の利用が終わった
7. 会社の応募の条件になっていた
8. その他()

※家族、会社、学校、ハローワーク、市役所、障がい者支援センター、日中通っている(通っていた)事業所、病院などのことです。

※就労移行支援事業所や就労定着支援事業所とは？

ひあたり野津田、ソラール(つるかわ学園職業準備支援センター)、コルポート、ディーキャリア、ハンドシェイク、ルミノーズ、ウェルビー、ワン・ブリッジ町田、原町田スクエア、風、ジョブサ、マナビー、リタリコワークス、ミラトレ、カイエン などの施設のことです。

問4 りんく・レッツ・らいむは、どのくらい利用していますか？

最近の利用の頻度を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|------------|----------------|------------------|
| 1. 月に2回以上 | 3. 2~3ヶ月に1回くらい | 5. 年に1回くらい |
| 2. 月に1回くらい | 4. 半年に1回くらい | 6. 1年以内には利用していない |

問5 りんく・レッツ・らいむを利用している頻度について、どう思いますか？

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. ちょうどよい | 3. 多い、今より減らしたい |
| 2. 少ない、今より増やしたい | 4. わからない |

問6 就労移行支援事業所や就労定着支援事業所※を利用していますか？

または、利用したことがありますか？ (あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------|--------|-----------------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない・覚えていない |
|-------|--------|-----------------|

※就労移行支援事業所や就労定着支援事業所とは？

ひあたり野津田、ソラール(つるかわ学園職業準備支援センター)、コルポート、ディーキャリア、ハンドシェイク、ルミノーズ、ウェルビー、ワン・ブリッジ町田、原町田スクエア、風、ジョブサ、マナビー、リタリコワークス、ミラトレ、カイエン などの施設のことです。

▶ 【問6で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。】

問6-1 利用していない・利用しなかった理由は何ですか？

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 就労移行支援や就労定着支援の施設があることを知らなかったから |
| 2. 学校や会社から、りんく・レッツ・らいむに登録するように言われたから |
| 3. 利用できないと言われたから |
| 4. 支援に期限があるから |
| 5. 利用料がかかるのが嫌だから |
| 6. 施設に通うのが嫌だから |
| 7. すぐに就職したかったから |
| 8. その他() |

現在、就職している方のみお答えください。【就職していない方は、問11へ進んでください】

問7 現在の就職の状況について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 正社員 | 4. チャレンジ雇用 |
| 2. 契約・派遣社員 | 5. 自営業 |
| 3. パート・アルバイト | |

問8 現在の仕事の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|--------|----------|-------------|--------|
| 1. 事務 | 4. 物流・倉庫 | 7. 製造 | 10.その他 |
| 2. 軽作業 | 5. 調理 | 8. 技術 | () |
| 3. 清掃 | 6. 販売 | 9. 保育・介護・福祉 | |

問9 仕事のことで、りんく・レッツ・らいむに相談したくても、相談できない

(相談できなかった) ことはありますか？(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 体調(休みや遅刻、早退が増えた、仕事に行けないなど) |
| 2. 仕事の内容(難しい、自分に合わない、もっとレベルが高い仕事をしたいなど) |
| 3. 仕事の量(多い、きつい、減った、少ないなど) |
| 4. 職場の環境(働く時間や曜日が自分に合わない、通勤がづらい、休みがとりづらい、相談がづらいなど) |
| 5. 職場の人との関係(苦手な人、いじめなど) |
| 6. 障がいや病気への理解や配慮 |
| 7. 退職、転職(会社を辞めたい、違う会社に就職したいなど) |
| 8. 自分の将来(今の職場でステップアップしたい、給料を上げたいなど) |
| 9. その他() |
| 10. 相談したいことは特にない |

問10 仕事で困っていることについて、りんく・レッツ・らいむの他に、相談できる人や支援機関はありますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 家族
2. 友人・知人
3. 職場の人やジョブコーチ
4. 卒業した学校の教員
5. 就労継続支援、就労移行支援、自立訓練などの事業所
6. 障害者就業・生活支援センターTALANT(タラント)
7. ハローワーク
8. 労働基準監督署
9. 職業訓練機関※
10. 町田市の障がい者支援センター※
11. ホームヘルパーやグループホームの職員
12. 病院
13. その他()
14. いない・相談先がわからない

※障害者職業能力開発校、
職業リハビリテーションセンター
障害者職業センター
東京しごと財団
…などの機関があります。

※障がいに関する相談や手続きができる支援機関です。
堺・忠生・鶴川・町田・南の5つの地域にセンターがあります。

現在、就職していない方のみお答えください。【就職している方は、問14へ進んでください】

問11 就職のことで、りんく・レッツ・らいむに相談したくても、相談できない（相談できなかった）ことはありますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 就職への意欲(周囲の人から「働け」と言われたが、気がすすまないなど)
2. 就職への不安(就職が決まらない、働くために必要な力があるか自信がない、周囲の人から「就職はまだ早い」と言われたなど)
3. 仕事探し(自分に合う仕事が見つからない、働ける会社が少ない、ハローワークと一緒に行ってほしいなど)
4. 就職活動(応募の手続き、履歴書や職務経歴書、試験や面接、職場実習など)
5. 職場の環境(働く時間・曜日や通勤など)
6. 職場の人との関係(上司や同僚とうまくいか不安など)
7. 障がいや病気への理解や配慮
8. その他()
9. 相談したいことは特にない

問12 就職で困っていることについて、りんく・レッツ・らいむの他に、相談できる人や支援機関はありますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 家族
2. 友人・知人
3. 通っている学校もしくは卒業した学校の教員
4. 就労継続支援、就労移行支援、自立訓練などの事業所
5. 障害者就業・生活支援センターTALANT(タラント)
6. ハローワーク
7. 職業訓練機関※
8. 町田市の障がい者支援センター※
9. ホームヘルパーやグループホームの職員
10. 病院
11. その他()
12. いない・相談先がわからない

※障害者職業能力開発校、
職業リハビリテーションセンター
障害者職業センター
東京しごと財団
…などの機関があります。

※障がいに関する相談や手続きができる支援機関です。
堺・忠生・鶴川・町田・南の5つの地域にセンターがあります。

問13 どこの地域に就職したいですか？（最もあてはまるもの1つに○）

- | | | | |
|---------|--------|-----------|-----------|
| 1. 町田市内 | 3. 横浜市 | 5. 八王子市 | 7. その他() |
| 2. 相模原市 | 4. 川崎市 | 6. 東京23区内 | 8. どこでもよい |

生活のことについてお答えください。

問14 生活のことで、りんく・レッツ・らいむに相談したくても、相談できない
(相談できなかった) ことはありますか？ (あてはまるものすべてに○)

1. 体調(健康のこと、精神的なこと、病院や薬のことなど)
2. お金(管理できない、給料が少なく生活が厳しい、金銭トラブルなど)
3. 生活リズム(起床・就寝時間や食事など)
4. 暮らすことに必要な情報や手続き
(年金、健康保険、銀行、契約や、新型コロナウイルス、災害のことなど)
5. 住居(住んでいる家でのトラブル、引越、料理・洗濯・掃除といった家事など)
6. 仕事以外の時間の使い方(趣味、休日の過ごし方など)
7. 家族との関係
8. 知人・友人・恋人との関係
9. 自分の将来(結婚・出産、自分の夢など)
10. 自分の性(LGBTなど)
11. その他()
12. 相談したいことは特にない

問15 生活で困っていることについて、りんく・レッツ・らいむの他に、相談できる人や
支援機関はありますか？ (あてはまるものすべてに○)

1. 家族
2. 友人・知人
3. 職場の人やジョブコーチ
4. 通っている学校もしくは卒業した学校の教員
5. 就労継続支援、就労移行支援、自立訓練などの事業所
6. 障害者就業・生活支援センターTALANT(タラント)
7. ハローワーク
8. 職業訓練機関※
9. 町田市の障がい者支援センター※
10. ホームヘルパーやグループホームの職員
11. 病院
12. その他()
13. いない・相談先がわからない

※障害者職業能力開発校、
職業リハビリテーションセンター
障害者職業センター
東京しごと財団
…などの機関があります。

※障がいに関する相談や手続きができる支援機関です。
堺・忠生・鶴川・町田・南の5つの地域にセンターがあります。

センターへのご意見をお聞かせください。

問16 りんく・レッツ・らいむの対応や支援について、満足していますか？

(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|-------|--------------|--------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかという満足 | 3. どちらかという不満 | 4. 不満 |
|-------|--------------|--------------|-------|

問17 りんく・レッツ・らいむや、仕事についてのご意見を、ご自由に記入してください。

例： ●りんく・レッツ・らいむを利用して、よかったと思うこと

(生活の環境を含めてサポートしてくれる、悩んだときに一緒に考えてくれる など)

●りんく・レッツ・らいむに相談しても、解決しなかったこと

●りんく・レッツ・らいむに「もっとこうしてほしい」と思うこと

(困ったときにすぐに対応してほしい、もっと相談を聞いてほしい、駅から近い場所がいい、土曜日や夕方に相談できる時間を増やしてほしい、センターの職員を増やしてほしい など)

●仕事をしていて、最もよかったと思うこと など

調査はこれで終了です。ご回答いただきまして、ありがとうございました。

返信用の封筒に入れ、**2022年7月22日(金曜日)までに**

郵便ポストに投函してください。

2. 障がい者雇用に関する企業調査

問1 会社名を教えてください。

問2 回答者の方のお名前を教えてください。

問3 回答者の方の部署の系統を教えてください。

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 人事管理 | 3. 代表者 |
| 2. 現場担当 | 4. その他() |

問4 従業員数の規模について教えてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 100人以下 | 4. 500～999人 |
| 2. 101～299人 | 5. 1,000人以上 |
| 3. 300～499人 | |

問5 業種を教えてください。(あてはまるものすべて☑)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. 建設業 | 5. 運輸業 | 9. 飲食店・宿泊業 |
| 2. 製造業 | 6. 卸売・小売業 | 10. 医療・福祉 |
| 3. 電気・ガス業 | 7. 金融・保険業 | 11. 教育・学習支援 |
| 4. 情報通信業 | 8. 不動産業 | 12. その他() |

障がい者雇用の有無について

問6 障がい者雇用の有無について教えてください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 現在障がい者雇用をしている | 3. 障がい者雇用をしたことがない |
| 2. 現在は障がい者雇用をしていないが過去にしたことがある | |

問6-1 (問6で「現在障がい者雇用をしている」と回答した企業の方)

法定雇用率の達成状況を教えてください。

現在の法定雇用率は、民間企業が2.3%、地方公共団体が2.6%です。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 達成している | 2. 達成していない |
|-----------|------------|

問 6 - 2 (問 6 で「現在は障がい者雇用をしていないが過去にしたことがある」または問 6-1 で「達成していない」と回答した企業の方)

障がい者雇用をやめた理由、または法定雇用率を達成していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべて☑)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 離職者が多かった | 9. 通勤のサポートができない |
| 2. 今以上の業務の創出・選定が困難 | 10. 以前雇用していたが上手くいかなかった |
| 3. 今以上の環境整備が困難 | 11. 募集しているが応募がない |
| 4. 内部の理解が得られない | 12. 応募はあるが採用水準に合わない |
| 5. 現時点で人が足りている | 13. 応募はあるが雇用条件に合わない |
| 6. 新たに雇用する予算がない | 14. 内定の辞退があった |
| 7. 指導員や支援する従業員を配置できない | 15. その他() |
| 8. 手話通訳者等を配置できない | |

問 6 - 3 (問 6-2 で「以前雇用していたが上手くいかなかった」と回答した企業の方)

その理由は何ですか。

障がい者雇用をしている・または過去にしたことがある企業の方へ

【雇用をしたことがない企業の方は、問16へ移動】

問 7 障がい者雇用を始めた主な経緯・きっかけを教えてください。(あてはまるものすべて☑)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. ハローワークからの働きかけ | 8. 納付金を避けるため |
| 2. 医療機関からの働きかけ | 9. 企業の社会的責任・社会貢献を果たすため |
| 3. 就労・生活支援センター等からの働きかけ | 10. 事業拡大や人手不足のため |
| 4. 知り合いからの働きかけ | 11. 求人募集やホームページなどから直接応募があった |
| 5. 特別支援学校からの働きかけ | 12. 雇った従業員が障がい者に該当する人だった |
| 6. 代表者または従業員が障がい者雇用
意欲的なため | 13. 既存の従業員が障がい者になった |
| 7. 法定雇用率を満たすため | 14. その他() |

問 8 過去 3 年間で障がい者雇用をしましたか。

- | | |
|-------|----------|
| 1. した | 2. していない |
|-------|----------|

問 8 - 1 (問 8 で「した」と回答した企業の方)

過去 3 年間で雇用したことのある従業員の障がい種別を教えてください。

(あてはまるものすべて☑)

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 身体障がい | 2. 知的障がい | 3. 精神障がい | 4. その他() |
|----------|----------|----------|-----------|

問 8 - 2 (問 8 で「した」と回答した企業の方)

過去 3 年間で雇用した障がいがある従業員について、雇用形態ごとの人数を教えてください。

(あてはまるものすべて☑)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 正社員 1～3人 | 4. 非正規社員(アルバイト含む) 1～3人 |
| 2. 正社員 4～10人 | 5. 非正規社員(アルバイト含む) 4～10人 |
| 3. 正社員 11人以上 | 6. 非正規社員(アルバイト含む) 11人以上 |

問 8 - 3 (問 8 で「した」と回答した企業の方)

過去 3 年間で雇用した障がいがある従業員の業務内容を教えてください。

(あてはまるものすべて☑)

- | | | | |
|--------|----------|-------------|---------|
| 1. 事務 | 4. 物流・倉庫 | 7. 製造 | 10. その他 |
| 2. 軽作業 | 5. 調理 | 8. 技術 | () |
| 3. 清掃 | 6. 販売 | 9. 保育・介護・福祉 | |

問 9 過去 3 年間で退職した障がい者の方はいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 9 - 1 (問 9 で「いる」と回答した企業の方)

過去 3 年間で退職した従業員の障がい種別を教えてください。(あてはまるものすべて☑)

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 身体障がい | 2. 知的障がい | 3. 精神障がい | 4. その他() |
|----------|----------|----------|-----------|

問 9 - 2 (問 9 で「いる」と回答した企業の方)

過去 3 年間で退職した障がいがある従業員について、雇用形態ごとの人数を教えてください。

(あてはまるものすべて☑)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 正社員 1～3人 | 4. 非正規社員(アルバイト含む) 1～3人 |
| 2. 正社員 4～10人 | 5. 非正規社員(アルバイト含む) 4～10人 |
| 3. 正社員 11人以上 | 6. 非正規社員(アルバイト含む) 11人以上 |

問 9 - 3 (問 9 で「いる」と回答した企業の方)

過去 3 年間で退職した障がいがある従業員について、業務内容を教えてください。

(あてはまるものすべて☑)

1. 事務	4. 物流・倉庫	7. 製造	10. その他
2. 軽作業	5. 調理	8. 技術	()
3. 清掃	6. 販売	9. 保育・介護・福祉	

職場内で配慮していること

問 10 障がいがある従業員の雇用管理上、職場内で配慮していることはありますか。

1. ある	2. ない
-------	-------

問 10 - 1 (問 10 で「ある」と回答した企業の方)

配慮していることは何ですか。(あてはまるものすべて☑)

1. 勤務時間の配慮	12. 業務遂行を援助する従業員の配置
2. 休暇取得のしやすさなど休養の配慮	13. 企業内ジョブコーチの配置
3. 業務量の配慮	14. 企業全体に対する障がい理解の研修・啓発
4. 配置についての配慮	15. 障がいがある従業員への研修制度の配慮
5. 作業環境・施設・設備・機器の改善	16. 職業生活に関する相談対応や相談員の配置
6. 工程の単純化など職務内容への配慮	17. 産業医など健康管理の相談支援体制の確保
7. 作業指示の明確化	18. 採用時に就労・生活支援センターへの登録勧奨
8. 在宅勤務の対応	19. 外部の支援機関や関係者との連携体制の構築
9. コミュニケーションツールの導入	20. 通勤方法の配慮
10. 面談による振り返り・相談対応	21. その他()
11. 通院・服薬管理など医療上の配慮	

問 10 - 2 (問 10 で「ある」と回答した企業の方)

配慮していることの中で、特に工夫していることは何ですか。

--

職場内で配慮できない理由

問10-3 (問10で「ない」と回答した企業の方)

その理由は何ですか。(あてはまるものすべて☑)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 配慮の申出を受けていない | 4. 配慮の方法が分からない |
| 2. 特別に配慮しなくても支障はない | 5. その他() |
| 3. 配慮するための予算や仕組みがない | |

問11 障がい者雇用を行うにあたり、採用前の課題は何ですか。(あてはまるものすべて☑)

- | | | |
|---------------------------|------------------|-----------------|
| 1. 業務の創出・選定 | 5. サポートのノウハウ | 9. 職場環境の整備 |
| 2. 従業員の配置 | 6. 関係機関との連携・相談体制 | 10. 通勤のサポート |
| 3. 企業・職場内部の障がい理解 | 7. 手話通訳者等の配置 | 11. 人件費等の資金面の課題 |
| 4. 制度設計や募集方法等の
採用のノウハウ | 8. 指導員・支援員の配置 | 12. その他() |

問12 障がい者雇用を行うにあたり、採用後の定着や、経験年数の長い従業員についての課題は何ですか。(あてはまるものすべて☑)

- | | | |
|------------------------|------------------|-------------------|
| 1. 体調管理 | 5. 人事評価・昇給 | 9. 生活上のこと |
| 2. 人間関係 | 6. 業務能力の適性のマッチング | 10. 関係機関との連携・相談体制 |
| 3. 業務分担・仕事の創出 | 7. モチベーション、やりがい | 11. 正社員への登用 |
| 4. 職場の環境整備
(在宅勤務含む) | 8. 本人が休職した際の対応 | 12. その他() |

問13 障がいがある従業員の職場定着のための支援について、協力を得ている・または得たことがある外部の支援機関や関係者はいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問13-1 (問13で「いる」と回答した企業の方)

それは、どこの支援機関や関係者ですか。(あてはまるものすべて☑)

※市外の就労支援センターや訓練機関とは、障害者就業・生活支援センターTALANT(タラント)、障害者職業能力開発校、職業リハビリテーションセンター、障害者職業センター、東京しごと財団などをいいます。

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. ハローワーク | 7. 就労移行支援・就労定着支援事業所 |
| 2. 町田市の就労・生活支援センター等(りんく・レッツ・らいむ) | 8. 就労継続支援A型・B型事業所 |
| 3. 市外の就労支援センターや訓練機関※ | 9. 特別支援学校 |
| 4. 他の企業 | 10. 家族 |
| 5. 医療機関 | 11. その他() |
| 6. 町田市障がい者支援センター | |

問13-2 (問13で「いる」と回答した企業の方)

どのような協力を得ていますか。または得たことがありますか。

問14 使ったことのある助成制度を選んでください。(あてはまるものすべて☑)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. 特定求職者雇用開発助成金(ハローワーク) | 8. 重度障害者等通勤対策助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) |
| 2. 特定求職者雇用開発助成金(ハローワーク) | 9. 重度障害者多数雇用事業所施設設置等助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) |
| 3. キャリアアップ助成金(ハローワーク) | 10. 東京都中小企業障害者雇用支援助成金(都) |
| 4. 障害者作業施設設置等助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) | 11. 東京都障害者安定雇用奨励金(都) |
| 5. 障害者福祉施設設置等助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) | 12. 東京しごと財団職場体験実習助成金
(東京しごと財団) |
| 6. 障害者介助等助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) | 13. その他() |
| 7. 職場適応援助者助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) | 14. どの制度も使っていない |

問15 障がい者雇用を行って、特によかったことは何ですか。3つまでご記入ください。

障がい者雇用をしたことがない企業の方へ

【雇用している、雇用したことがある企業の方は、問20へ移動】

問16 雇用しない（雇用できない）理由を教えてください。（あてはまるものすべて☑）

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. できる仕事がない | 9. 指導員や支援する従業員を配置できない |
| 2. 職場環境を整備できない | 10. 手話通訳者等を配置できない |
| 3. 内部の理解が得られない | 11. 通勤のサポートができない |
| 4. 障がいに関する知識がない | 12. 募集しているが応募がない |
| 5. 障がいがある人をどう雇用すればよいか分からない | 13. 応募はあるが採用水準に合わない |
| 6. 関係機関との連携・相談方法が分からない | 14. 応募はあるが雇用条件に合わない |
| 7. 現時点で人が足りている | 15. 内定の辞退があった |
| 8. 新たに雇用する予算がない | 16. その他() |

問17 知っている支援機関を選んでください。（あてはまるものすべて☑）

- ※1 町田市の障がい者就労・生活支援センター等は、就職活動のアドバイスや就職後のサポートを受けられる支援機関です。町田市では、主に身体・知的障がいを対象とした「りんく」・主に精神・発達障がいを対象とした「レッツ」・障がい種別を問わない「らいむ」があります。
- ※2 市外の就労支援センターや訓練機関とは、障害者就業・生活支援センターTALANT（タラント）・障害者職業能力開発校・職業リハビリテーションセンター・障害者職業センター・東京しごと財団などをいいます。
- ※3 町田市障がい者支援センターは、障がいに関する相談や手続きができる支援機関です。堺・忠生・鶴川・町田・南の5地域にセンターがあります。
- ※4 就労移行支援は、一般企業等への就労を希望する人に、就労に必要な訓練を行う障害福祉サービスです。就職後も一定期間アフターケアを行います。
- ※5 就労定着支援は、一般企業等へ就労した人に対し、働き続けるために必要な指導、助言、連絡調整を行う障害福祉サービスです。就労移行支援と合わせて実施している事業所が多くあります。

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 町田市の障がい者就労・生活支援センター等※1 | 5. 東京都立町田の丘学園(特別支援学校) |
| 2. 市外の就労支援センターや訓練機関※2 | 6. その他() |
| 3. 町田市障がい者支援センター※3 | 7. どの支援機関も知らない |
| 4. 就労移行支援※4や就労定着支援事業所※5 | |

問18 知っている助成制度を選んでください。(あてはまるものすべて☑)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. 特定求職者雇用開発助成金(ハローワーク) | 8. 重度障害者等通勤対策助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) |
| 2. 特定求職者雇用開発助成金(ハローワーク) | 9. 重度障害者多数雇用事業所施設設置等助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) |
| 3. キャリアアップ助成金(ハローワーク) | 10. 東京都中小企業障害者雇用支援助成金(都) |
| 4. 障害者作業施設設置等助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) | 11. 東京都障害者安定雇用奨励金(都) |
| 5. 障害者福祉施設設置等助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) | 12. 東京しごと財団職場体験実習助成金
(東京しごと財団) |
| 6. 障害者介助等助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) | 13. その他() |
| 7. 職場適応援助者助成金
(高齢・障害・求職者雇用支援機構) | 14. どの制度も知らない |

問19 障がい者雇用を行うにあたって考えられる課題は何ですか。(あてはまるものすべて☑)

- | | | |
|---------------------------|------------------|-----------------|
| 1. 業務の創出・選定 | 5. サポートのノウハウ | 9. 職場環境の整備 |
| 2. 従業員の配置 | 6. 関係機関との連携・相談体制 | 10. 通勤のサポート |
| 3. 企業・職場内部の障がい理解 | 7. 手話通訳者等の配置 | 11. 人件費等の資金面の課題 |
| 4. 制度設計や募集方法等の
採用のノウハウ | 8. 指導員・支援員の配置 | 12. その他() |

全ての企業の方へ

問20 障がいがある人やその関係機関からの企業見学や職場実習を受け入れたことはありますか。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 受け入れたことがあり、今後も継続する |
| 2. 受け入れたことがあるが、今後の実施予定はない |
| 3. 受け入れたことはないが、依頼があれば受けても良い |
| 4. 受け入れたことはなく、対応が難しい |

問21 障がい者雇用における今後の採用方針をお聞かせください。

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 雇用を拡大する | 4. 今は雇用していないが、条件が整えば雇用したい |
| 2. 現在雇用している状態を維持 | 5. 雇用する予定はない |
| 3. 雇用を縮小する | |

問22 短時間雇用（週20時間未満）の状況やお考えについてお聞かせください。

※週20時間未満の労働者は雇用率に算定できませんが、短時間であれば働くことができる人の雇用機会の確保につながります。条件によっては、給付金の対象となる場合があります。

- | |
|--|
| 1. 現在、障がいがある従業員の短時間雇用を行っている |
| 2. 障がい者雇用は行っているが、短時間雇用ではない |
| 3. 現在障がい者雇用は行っていないが、短時間であれば雇用できる可能性がある |
| 4. 現在障がい者雇用は行っておらず、短時間でも難しい |

問23 障がいがある人の就労については、ハローワーク、市の支援機関、学校、福祉サービス事業所等、様々な機関が連携しながら支援し、企業からの相談にも対応していることを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問24 障がい者雇用に関するご意見をご記入ください。

町田市障がい者就労・生活支援センター等や、ハローワーク町田へのご意見・期待すること等がありましたら、あわせてご記入ください。

--